

委員ハ郡會ニ於テ之ヲ選舉ス其選舉ノ方法及任期ハ郡會ノ議決スル所ニ依ル
委員ハ名譽職トス

第四章 郡少會計

第六十條 郡有財産及營造物管理ノ費用郡會郡參事會及委員ノ費用第五十八條ノ郡吏員ノ
給料退隱料其他諸給與及法律勅令ニ依リ郡ノ負擔ト定ムル事件ノ費用ハ其郡ニ於テ之ヲ
支辨スヘシ

第六十一條 郡會議員名譽職參事會員及委員ニハ旅費及日當ヲ給スルコトヲ得但日當ハ一
日五十錢ヲ超ユルコトヲ得ス

第六十二條 郡ノ支出ニ充ツル費用ハ郡有財産ヨリ生ズル收入其他雜收入ヲ以テ充ツルモ
以テ外ハ郡内各町村ニ分賦ス各町村分賦ノ割合ハ各町村前年度ノ直接國稅府縣稅ノ徵收
額ニ據ル

各町村分賦ノ額ハ各町村ニ於テ之ヲ町村ノ豫算ニ編入シ町村稅トシテ徵收シ其總額ヲ郡
金庫ニ納ムヘシ

第六十三條 郡内ノ或ル部分ニ對シ特ニ利益アル土木事業ヲ起ストキハ郡會ノ議決ニ依リ
該部分ノ町村ニ對シ通常分賦額ノ外其利益ノ厚薄ニ應シ特ニ夫役現品ヲ增課スルコトヲ
得

第六十四條 郡ハ天災事變ノ爲已ヲ得サル支出又ハ其郡ノ永久ノ利益ト爲ルヘキ支出ヲ要
スルニ方リ通常ノ歲入ヲ増加スルトキハ郡内町村ノ負擔ニ堪ヘサルノ場合ニ限り勅令ノ

定ムル所ニ依リ郡會ノ議決ヲ以テ郡債ヲ起スコトヲ得

郡債ヲ起スル議決ヲ爲ストキハ併セテ起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定ムヘシ
郡債償還ノ初期ハ三年以内ト爲シ年々ノ償還歩合ヲ定メ起債ノ時ヨリ三十年以内ニ還了
スヘシ

歲入出豫算内ニ支出ヲ爲スカ爲必要ナル一時ノ借入金ニシテ其年度内ノ收入ヲ以テ償還
スヘキモノハ本條ノ例ニ依ルノ限ニ在ラス但郡參事會ノ議決ヲ經ルコトヲ要ス

第六十五條 郡長ハ毎年其翌年度ニ係ル歲入出豫算ヲ調製スヘシ但郡ノ會計年度ハ政府ノ
會計年度ニ同シ

豫算ハ郡會ノ議決ニ付スルノ前郡參事會ノ審査ニ付スヘシ若郡長ト郡參事會ト意見ヲ異
ニスルトキハ郡長ハ參事會ノ意見ヲ豫算ニ添ヘ郡會ニ提出スヘシ追加又ハ臨時ノ豫算ニ
付テモ亦同シ

內務大臣ハ省令ヲ以テ豫算調製ノ式ヲ定メ並ニ費目流用ニ關スル規定ヲ設クルコトヲ得
第六十六條 豫算ハ毎年郡會ノ議決ヲ取り之ヲ府縣知事ニ報告シ並ニ郡慣行ノ公告式ニ依
リ其要領ヲ告示スヘシ追加又ハ臨時ノ豫算ヲ議決シタル場合ニ於テモ亦同シ

郡ノ費用ヲ以テ支辨スル事業ニシテ數年ヲ期シテ施行スヘキモノ又ハ數年ヲ期シテ其費
用ヲ支出スヘキモノハ郡會ノ議決ヲ以テ其年期間各年度ノ支出額ヲ定メ繼續費ト爲スコ
トヲ得

豫算ヲ郡會ニ提出スルトキハ郡長ハ併セテ其郡有財産表ヲ提出スヘシ

第六十七條 歳入出豫算中ニ豫備費ヲ設クヘシ豫備費ハ郡長ニ於テ郡參事會ノ議決ヲ經テ已ムヲ得サル豫算外ノ支出又ハ豫算超過ノ支出ニ充ツルコトヲ得但郡會ノ否決シタル費途ニ充ツルコトヲ得ス

第六十八條 郡ノ收支命令ハ郡長之ヲ發スヘシ

第六十九條 會計事務ヲ管理スル郡役所會計吏ハ前條ノ命令アルニ非サルハ支拂ヲ爲スコトヲ得ス及其命令アルモ支出ノ豫算キカ又ハ豫備費支出及費目流用ノ規定ニヨラサルトキハ支拂ヲ爲スコトヲ得ス

第七十條 郡ノ出納ハ毎月例日ヲ定メテ検査シ及毎年少クトモ一回臨時検査ヲ爲スヘシ検査ハ郡長又ハ其代理者之ヲ爲シ臨時検査ニハ郡參事會員一名以上ノ立會ヲ要ス

第七十一條 決算ハ會計事務ヲ管理スル郡役所會計吏ニ於テ會計年度後三箇月以内ニ之ヲ郡長ニ提出シ郡長ハ郡參事會ヲシテ之ヲ検査セシメ次回ノ通常郡會ノ認定ニ付スヘシ

決算報告書並ニ之ニ關スル郡會ノ議決ハ郡長ヨリ之ヲ府縣知事ニ報告シ並ニ決算ハ郡慣行ノ公告式ニ依リ其要領ヲ告示スヘシ

第五章 内監督 第七十二條 郡ノ行政ハ第一次ニ於テ府縣知事之ヲ監督シ第二次ニ於テ内務大臣之ヲ監督ス

第七十三條 此法律中別段ノ規定アル場合ヲ除ク外郡ノ行政ニ關スル府縣知事又ハ府縣參事會ノ處分若ハ裁決ヲ不服スル者ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

郡ノ行政ニ關スル訴願ハ其事件ノ處分若ハ裁決ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ其理由ヲ具シテ之ヲ提出スヘシ

此法律ニ指定スル場合ニ於テ府縣知事ノ處分又ハ府縣參事會ノ裁決ニ不服アリテ行政裁判所ニ出訴シタル者ハ裁決ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ出訴スヘシ

行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ヘキ場合ニ於テハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得ス

第七十四條 監督官廳ハ郡行政ニ法律命令ニ背戾セサルヤ其事務錯亂滯滞セサルヤ否ヲ監視スヘシ監督官廳ハ之カ爲行政事務ニ關シテ報告ヲ爲サシメ豫算及決算等ノ書類帳簿ヲ徴シ並ニ實地ニ就テ事務ノ現況ヲ視察シ出納ヲ檢閲スルノ權ヲ有ス

第七十五條 郡會又ハ郡參事會ノ議決其權限ヲ越テ法律命令ニ背キ又ハ公益ヲ害スト認ムル時キハ郡長ハ自己ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ議決ノ執行ヲ停止シ之ヲ再議セシメ猶其議決ヲ更メサルトキハ直ニ府縣知事ノ裁決ヲ請フヘシ其權限ヲ越エ又ハ法律命令ニ背クニ依テ議決ヲ執行ヲ停止シタル場合ニ於テ府縣知事ノ裁決ニ不服ナル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第七十六條 郡會又ハ郡參事會ニ於テ法律命令又ハ慣行ニ依テ郡ノ負擔ニ屬スル行政上又ハ公益上必要ノ費用ヲ否決シ又ハ議決スト雖必要ノ給需ヲ缺クトキハ郡長ハ府縣知事ニ具狀シ其指揮ヲ請ヒ原案ヲ執行スルコトヲ得但府縣知事ハ原案金額ヲ不相當ト認ムルトキハ原案金額以内ニ於テ適當ノ金額ヲ定メ指揮スルコトヲ得

第七十七條 郡會召集ニ應セス又ハ成立セサルトキハ郡長ハ府縣知事ノ指揮ヲ請ヒ處分ス

郡

七百六十一

前項ノ處分ハ次回ノ會議ニ於テ之ヲ報告スヘシ

第七十八條 郡會又ハ郡參事會ニ於テ其議決スヘキ議案ヲ議決セサル場合ニ於テ其事緊急ヲ要スルトキハ郡長ハ府縣知事ニ具狀シ其指揮ヲ請ヒ原案ヲ執行スルコトヲ得但其議決セサル議案歳入出豫算ニ係リ府縣知事ニ於テ原案金額ヲ不相當ト認ムルトキハ原案金額以內ニ於テ適當ノ金額ヲ定メ指揮スルコトヲ得

第七十九條 府縣知事ハ郡ノ歳入出豫算中不適當ノ支出ト認ムル費目アルトキハ之ヲ削除シ及其郡ノ資力ニ比シ不急ノ支出ト認ムル費目アルトキハ之ヲ削除若ハ減殺スルコトヲ得此場合ニ於テハ收入科目中ニ就キ之ニ相當スル收入額ヲ減殺スヘシ

第八十條 郡會ハ内務大臣之ヲ解散セシムルコトヲ得此場合ニ於テハ三箇月以內ニ議員ヲ改選スヘシ

前項解散ノ場合ニ於テハ名譽職參事會員モ亦解職スルモノトス
郡委員ハ郡會ヲ解散ニ依リ解職スルノ限ニ在ラス但改選郡會ノ議決ヲ以テ之ヲ改選スルコトヲ得
郡會解散以後改選終了至翌迄ノ間急施ヲ要スル事件アルトキハ郡長之ヲ專決處分スル事ヲ得
前項ノ處分ニ於テハ郡會ノ議決ハ内務大臣及大藏大臣ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス

第八十一條 左ノ事件ニ關スル郡會ノ議決ハ内務大臣及大藏大臣ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス
一 新ニ郡債ヲ起シ又ハ其額ヲ増加シ若ハ償還ノ方法ヲ變更スル事

第八十二條 左ノ事件ニ關スル郡會ノ議決ハ府縣知事ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス
一 郡有不動産ノ賣却讓渡並ニ質入書入ノ事

二 第六十三條ニ依リ郡内ノ或ル部分ニ對シ特ニ夫役現品ヲ增課スル事
三 第六十六條第二項ニ依リ繼續費ヲ定メ及其年期内ニ議決ヲ變更スル事

第六章 附則

第八十三條 郡内總町村ヲ共有ニ屬スル財産及營造物ハ郡内總町村ノ聯合又ハ組合ヲ以テ設立セル小學校ヲ除クノ外此法律施行ノ日ヨリ郡ノ所有ニ歸シ其權利義務トモ同時ニ郡ニ移ルモノトス

第八十四條 府縣參事會及行政裁判所ヲ開設スル迄ノ間此法律ニ依リ府縣參事會ニ屬スル職務ハ府縣知事「行政裁判所ニ屬スル職務ハ現行ノ行政裁判手續ニ從ヒ控訴院ニ於テ之ヲ行フヘシ

第八十五條 鳴司ヲ置ケル鳴嶼ニ於テハ別ニ勅令ヲ以テ其制ヲ定ム

第八十六條 此法律ニ依リ始メテ議員ヲ選舉スルニ付郡會及郡參事會ノ職務ハ郡長ニ於テ之ヲ行フヘシ

第八十七條 町村制施行ヲ爲ニ定ムル直接税ノ種類ハ此法律ノ施行ニ付テモ亦適用ス

第八十八條 此法律施行ノ後ハ町村制第二百二十六條第三ニ定ムル附加稅徵收ノ許可ハ地租

二十三法律
第四十八號ニ
依リ施行中
消滅

第七分入(五十四分)三三三三超過スル部トシテ之ヲ要スルモ之トス
第八十九條 此法律ハ町村制ヲ施行シタル各府縣ニ施行スルモ然トス其施行ハ時期ハ府縣知事ヲ具申ニ依リ内務大臣之ヲ定ム

第九十條 明治三十年七月第十七號布告郡區町村編制法其他此法律ニ牴觸スル成規ハ此法律施行ノ地ニ於テ其施行ノ時期ヨリ總テ之ヲ廢止ス
第九十一條 内務大臣ハ此法律施行ノ責ニ任シ之カ爲必要ナル命令ヲ發布スヘシ

○郡歲入出豫算計製式并費用規定(內務省令第四號)
〔改正〕二十三年內務省令第十三號ヲ以テ第四條第五條ヲ改正ス

八〇府縣制郡制施行ニ際シ衆議院議員並府縣會議員ノ選舉區域地方稅收支豫算地方稅財產備荒儲蓄金處分方郡費支辨方法及府縣急施事業ニ關スル諸件 明治二十三年九月 法律第八十五號

一 產備荒儲蓄金處分方郡費支辨方法及府縣急施事業ニ關スル諸件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシキニ依リ
一 布告ニ依リ
一 選舉ハ仍舊從前ノ區域ニ依ル

八第一條 郡制施行ニ付郡ノ廢置分合若ハ郡市ノ境界ヲ變更スルコトアルモ衆議院議員
第二條 郡制施行ニ際シ郡ノ廢置分合若ハ郡市ノ境界ヲ變更スルコトアルモ府縣會議員

員ハ次回ノ定期改選ニ至ルマテ之ヲ改選セス又其ノ定數ヲ増減セス其ノ補闕選舉ヲ行フヘキトキハ仍舊從前ノ區域ニ依ル

第三條 府縣制施行前府縣會ニ於テ議定シタル歲入出豫算中府縣制施行ニ至リ法律命令ノ結果ニ依リ異動ヲ生シ更正ヲ要スルモノアルトキハ新ニ組織スル府縣會ニ於テ之ヲ更正ス余シ其ノ他ハ總テ從前府縣會議決ノ効ヲ存ス

第四條 東京府京都府大阪府ヲ除キ其ノ他ノ縣ニ在テ從來郡市地方稅ノ經濟ヲ異ニシ其ノ地方稅經濟ニ屬スル財產ヲ郡市ニ分屬セルモノハ府縣制施行ノ日ヨリ之ヲ共同
縣ノ縣有財產トス

第五條 東京府京都府大阪府ヲ除キ其ノ他ノ縣ニ在テ從來備荒儲蓄金ヲ郡市ニ分別セ
ルモ之ノ府縣制施行ノ日ヨリ之ヲ共同ノ備荒儲蓄金トス
第六條 郡制施行以後郡費ヲ收入スルニ至ルノ間必要ナル郡ノ支出ハ郡長ニ於テ概算

ヲ設ケ府縣知事以認可ヲ得テ假ニ地方稅ヲ以テ支辨シ追テ郡費ヲ以テ償還スヘシ
第七條 府縣制郡制施行ノ後府縣參事會郡參事會就職ニ至ルマテノ間其職務ニ屬スル
事項ニシテ急施ヲ要スルモノアルトキハ府縣參事會ノ職務ハ府縣知事郡參事會ノ職
務ハ郡長代之ヲ執行スヘシ

第一章 郡縣制
第一節 郡縣制ノ施行

第一〇 北海道區制 明治三十年五月 勅令第五百十八號

北海道區制

第一章 總則

第一款 區及其ノ區域

第二款 區住民及其ノ權利義務

第三款 區條例及區規則

第三章 區行政

第一款 區吏員ノ組織及選任

第二款 區長及區吏員ノ職務權限

第三款 給料及給與

第三章 區會

第一款 組織及選舉

第二款 職務權限及處務規程

第四章 區ノ財務

第二款 區有財產及區稅

第二款 區ノ歳入出豫算及決算

第五章 區内一部ノ行政

第六章 區行政ヲ監督

第七章 附則

北海道區別

第一章 總則

第一款 區及其ノ區域

第二款 區ノ住民及其ノ權利義務

第三款 區條例及區規則

第三章 區行政

第一款 區吏員ノ組織及選任

第二款 區長及區吏員ノ職務權限

第三款 給料及給與

第三章 區會

第一款 組織及選舉

第二款 職務權限及處務規程

第四章 區ノ財務

第二款 區有財產及區稅

第二款 區ノ歳入出豫算及決算

第五章 區内一部ノ行政

第六章 區行政ヲ監督

第七章 附則

北海道區制

第一章 總則

第一款 區及其ノ區域

第二款 區住民及其ノ權利義務

第三款 區條例及區規則

第三章 區行政

第一款 區吏員ノ組織及選任

第二款 區長及區吏員ノ職務權限

第三款 給料及給與

第三章 區會

第一款 組織及選舉

第二款 職務權限及處務規程

第四章 區ノ財務

第二款 區有財產及區稅

第二款 區ノ歳入出豫算及決算

第五章 區内一部ノ行政

第六章 區行政ヲ監督

第七章 附則

第四條 區内ニ住居ヲ占ムル者ハ總テ區住民トス

區住民タル者ハ此ノ勅令ニ從ヒ區有財產並區ノ營造物ヲ共用スル權利ヲ有シ及區ノ負擔ヲ分任スル義務ヲ有スルモノトス但シ特ニ民法上ノ權利義務ヲ有スル者アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第五條 帝國臣民ニシテ公權ヲ有スル獨立ノ男子三年以來(一)區ノ住民ト爲リ(二)區ノ負擔ヲ分任シ及(三)區内ニ於テ地租年額五十錢以上ヲ納メ若クハ直接國稅年額二圓五十錢以上ヲ納メ若クハ耕地宅地三町歩以上ヲ所有スル者ハ區公民トス但シ公費ヲ以テ貧民救助ヲ受ケタル後三年ヲ經サル者ハ此ノ限ニ在ラス

前項三年ノ制限ハ場合ニ依リ區會ノ議決ヲ經テ北海道廳長官ノ許可ヲ受ケ之ヲ特免スルコトヲ得

此ノ勅令ニ於テ獨立ト稱スルハ滿三十五歲以上ニシテ一戸ヲ構ヘ且治産ノ禁ヲ受ケサルモノト云フ

區公民ニシテ相當ノ理由ナクシテ各舉職ヲ拒辭シ又ハ任期中退職シ又ハ無任期ノ職務ヲ少クトシ三年間擔當セス又ハ其ノ職務ヲ實際ニ執行セサル者ニ對スル處分ノ規則ハ「拓殖務大臣」之ヲ定ム其ノ規則ニ區會ノ議決ニ依リ六年以内區公民タル權ヲ停止シ場合ニ依リ同年期間他ノ住民ノ負擔スヘキ區稅ノ率ニ比シ四分ノ一以下ヲ増加スル規程ヲ設クルコトヲ得

第六條 區公民タル者前條ニ掲載スル要件ノ一ヲ失フトキハ公民タル權ヲ失フモノトス

區公民タル者公權停止中若クハ租稅滯納處分中ハ公民タル權ヲ停止ス家資分散若クハ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキハ復權ノ決定アルマテ又公權剝奪若クハ停止ヲ附加スヘキ重罪輕罪ノ爲公判ニ付セラレタルトキハ其ノ裁判ノ確定ニ至ルマテ亦同シ

陸海軍ノ現役ニ服スル者ハ區ノ公務ニ參與セサルモノトス現役以外ノ兵役ニ在ル者ニシテ戰時若クハ事變ニ際シ召集セラレタルトキモ亦同シ

第三款 區條例及區規則

第七條 區ハ區住民ノ權利義務及區ノ事務ニ關シ此ノ勅令中文ナク又ハ條例ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ許シ若クハ規定スルコトヲ要スル事項ニ就テハ條例ヲ設クルコトヲ得

區ハ區有財產及區ノ營造物ニ關スル事項其ノ他此ノ勅令中規則ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ許シ若クハ規定スルコトヲ要スル事項ニ就テハ規則ヲ設クルコトヲ得

區條例及區規則ハ法律命令ニ牴觸スルコトヲ得ス

區條例及區規則ヲ發行スルニハ地方所定ノ公告式ニ依ル其ノ公告式ハ區規則ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第二章 區行政

第一款 區吏員ノ組織及選任

第八條 區ニ區長ノ外書記其ノ他必要ノ附屬員ヲ置キ有給吏員トス

書記ノ定員ハ北海道廳長官之ヲ定ム

書記ハ北海道廳長官之ヲ任免シ其ノ他ノ附屬員ハ區長之ヲ任免ス

第九條 區ニ收入役一名ヲ置キ書記ノ中ニ就キ北海道廳長官之ヲ命ス
收入役ハ身元保證ノ爲金圓若クハ物件ヲ差出スヘシ

第十條 區ハ處務便宜ノ爲區規則ヲ以テ區ノ區域ヲ數部ニ分チ每部部長及其ノ代理者各一名ヲ置クコトヲ得
部長及其ノ代理者ハ名譽職トス

部長及其ノ代理者ハ選舉權ヲ有スル區公民ノ中ニ就キ區長之ヲ任免ス

第十一條 區ハ區規則ヲ以テ臨時若クハ常設ノ委員ヲ置クコトヲ得
委員ハ名譽職トス

委員ハ區會議員若クハ區公民中選舉權ヲ有スル者ヲ以テ之ニ充テ又ハ區會議員及區公民中選舉權ヲ有スル者ヲ以テ之ニ充ツ其ノ合議體ニ組織シタル場合ニ於テハ區長若クハ其ノ委任ヲ受ケタル書記ヲ以テ委員長トス

委員ハ區會ニ於テ之ヲ選舉ス

委員ノ組織任期等ニ關スル事項ハ第一項ノ規則ニ之ヲ規定スヘシ

委員ニ關シテハ第四十六條ノ例ヲ適用ス

委員ニシテ公權剝奪若クハ停止ヲ附加スヘキ重罪輕罪ノ爲豫審ニ付セラレタルトキハ北海道廳長官ハ其ノ職ヲ停止スルコトヲ得

第二款 區長及區吏員職權限
第十二條 區長ハ區ヲ統轄シ其ノ行政事務ヲ擔任ス

區長ノ擔任スル事務ノ概目左ノ如シ

一 區會ノ議事ヲ準備シ並其ノ議決ヲ承認シ及執行スル事

二 區有財産及區ノ營造物ヲ管理スル事但シ特ニ之カ管理者アルトキハ其ノ事務ヲ監督スル事

三 區ノ權利ヲ保護スル事

四 區ノ歳入ヲ管理シ歳入出豫算其ノ他區會ノ議決ニ依テ定マリタル收入支出ヲ命令シ會計及出納ヲ監視スル事

五 區吏員ヲ監督シ書記委員ヲ除ク外其ノ他ニ對シ懲戒處分ヲ行フ事其ノ懲戒處分ハ罰責及十圓以下ノ過怠金トス

六 區ノ諸證書及公文書類ヲ保管スル事

七 外部ニ對シテ區ヲ代表シ及區ノ名義ヲ以テ他廳若クハ一個人ト交渉スル事

八 法律命令若クハ區會ノ議決ニ依リ使用料加入金手数料區稅及夫役現品ヲ賦課徵收スル事

九 其ノ他法律命令若クハ上司ノ指令ニ依テ區長ニ委任シタル事務ヲ處理スル事

第十三條 區長若クハ監督官廳ニ於テ區會ノ議決其ノ權限ヲ越エ又ハ法律命令ニ背クト認ムルトキハ區長ハ自己ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指令ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付シ若クハ取消スヘシ

前項再議ニ付スルモ仍其ノ議決ヲ改メサルトキハ區長ヨリ北海道廳長官ニ申立テ其ノ決

定ヲ請フヘシ又前項取消ニ不服アル區會ハ北海道廳長官ニ訴願スルコトヲ得
 前項北海道廳長官ノ決定若クハ裁決ニ不服アル區會ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
 區長若クハ監督官廳ニ於テ區會ノ議決公益ニ害アリト認ムルトキハ區長ハ自己ノ意見ニ
 依リ又ハ監督官廳ノ指令ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付スヘシ
 前項再議ニ付スルモ仍其ノ議決ヲ改メサルトキハ區長ヨリ北海道廳長官ニ申立テ其ノ決
 定ヲ請フヘシ其ノ北海道廳長官ノ決定ニ不服アル區會ハ「拓殖務大臣」ニ訴願スルコトヲ
 得

本條ノ決定若クハ裁決ハ其ノ確定ニ至ルマテ執行ヲ停止ス但シ當該官廳ニ於テ停止ノ爲
 ニ公益ニ害アリト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十四條 區會ニ於テ必要ノ收支ニ關シ否決シタルトキ又ハ區長若クハ監督官廳ニ於テ區
 會ノ議決必要ノ收支ニ關シ不當ノ削減ヲ爲スト認ムルトキハ區長ハ自己ノ意見ニ依リ又
 ハ監督官廳ノ指令ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付シ仍其ノ議決ヲ改メサルトキハ北海
 道廳長官ニ申立テ指揮ヲ請フヘシ但シ場合ニ依リ再議ニ付セスシテ直ニ北海道廳長官ノ
 指揮ヲ請フコトヲ得

前項北海道廳長官ノ處分ニ不服アル區會ハ「拓殖務大臣」ニ訴願スルコトヲ得

本條ノ處分ハ其ノ確定ニ至ルマテ執行ヲ停止ス但シ當該官廳ニ於テ停止ノ爲ニ公益ニ害
 アリト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十五條 區會招集ニ應セス若クハ成立セサルトキハ區長ハ北海道廳長官ニ申立テ指揮ヲ

請ヒ其ノ議決スヘキ事件ヲ處分スルコトヲ得

區會ニ於テ其ノ議決スヘキ事件ヲ議決セス若クハ議了セサルトキハ前項ノ例ニ依ル

第一項ノ處分ハ次回ノ會議ニ於テ之ヲ區會ニ於テ之ヲ區會ニ報告スヘシ

第十六條 第五十四條但書若クハ第五十六條第二項ノ場合ニ於テ全ク會議ヲ開クコト能ハ
 サルトキハ前條ノ例ニ依ル

第十七條 書記ハ區長ノ命令ヲ承ケ國ノ行政及區ノ行政ニ係ル庶務ヲ從事ス

區長故障アルトキハ上席書記國ノ行政及區ノ行政ニ付其ノ職務ヲ代理ス

區長ハ書記ヲシテ國ノ行政事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコトヲ得

第十八條 收入役ハ區ノ收入ヲ受領シ其ノ費用ノ支拂ヲ爲シ其ノ他會計事務ヲ掌ル

第十九條 部長及其ノ代理者ハ區長ノ命令ヲ承ケ部内ニ關スル國ノ行政及區ノ行政ニ付區
 長ノ事務ヲ補助執行ス

第二十條 委員ハ區長ノ監督ニ屬シ區有財產若クハ區ノ營造物ヲ管理シ其ノ他區行政事務
 ノ一部ヲ分掌シ又ハ一時ノ委託ニ依リ事務ヲ處辨ス

委員ノ職務權限ニ關スル細則ハ區規則ヲ以テ之ヲ規定スヘシ

第二十一條 區役所ノ處務規程ハ北海道廳長官之ヲ定メ其ノ他區吏員ノ處務規程ハ北海道
 廳長官ノ許可ヲ得テ區長之ヲ定ム

區吏員ノ服務紀律ハ北海道廳長官之ヲ定ム

第三款 給料及給與

第二十二條 名譽職吏員ハ職務取扱ノ爲ニ要スル實費ノ辨償ヲ受クルコトヲ得
部長及其ノ代理者並委員ニハ實費辨償以外區會ノ議決ヲ經テ勤務ニ相當スル報酬ヲ給ス
ルコトヲ得

實費辨償額報酬額及其ノ支給方法ハ區會ノ議決ヲ經テ北海道廳長官ノ許可ヲ受クヘシ
第二十三條 書記ノ給料額旅費額及其ノ支給方法ハ北海道廳長官ノ決定メ其ノ他有給吏員
ノ給料額旅費額及其ノ支給方法ハ區規則ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

區條例ヲ以テ書記其ノ他有給吏員ノ退隱料及遺族扶助料ヲ設クルコトヲ得
第二十四條 有給吏員ノ給料旅費退隱料遺族扶助料其ノ他第二十二條ノ給與ニ關シ異議ア
ル者ハ北海道廳長官ニ訴願シ其ノ北海道廳長官ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴
スルコトヲ得

本條ノ訴願若クハ訴訟ノ爲ニ處分ノ執行ヲ停止セス

第二十五條 給料旅費退隱料遺族扶助料報酬辨償等ハ區ノ負擔トス

第三章 區會

第一款 組織及選舉

第二十六條 區會議員ハ區ノ選舉人其ノ被選舉權アル者ヨリ之ヲ選舉ス其ノ定員ハ人口五
萬未滿ノ區ニ於テハ二十四人以下トシ人口五萬以上ノ區ニ於テハ三十人以下トシ區規則
ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第二十七條 區公民ハ總テ選舉權ヲ有ス但シ公民權停止中ノ者及第六條第三項ノ場合ニ當
ル者ハ此ノ限ニ在ラス

直接區稅ヲ納ムル者其ノ額區公民ノ最多ク直接區稅ヲ納ムル三名中ノ一名ヨリモ多キト
キハ區住民ニ非サル者又ハ三年以來ノ區住民ニ非サル者ト雖第五條ニ掲載スル其ノ他ノ
要件ヲ具備スルトキハ選舉權ヲ有ス但シ第六條第二項ノ公民權停止ノ條件又ハ同條第三
項ノ場合ニ當ル者ハ此ノ限ニ在ラス

第二十八條 選舉人ハ分テ三級トス

選舉人中直接區稅ノ納額最多キ者ヲ合セテ選舉人總員ノ納ムル總額ノ三分ノ一ニ當ルヘ
キ者ヲ一級トス
一級選舉人ヲ除ク外直接區稅ノ納額多キ者ヲ合セテ選舉人總員ノ納ムル總額ノ三分ノ一
ニ當ルヘキ者ヲ二級トシ爾餘ノ選舉人ヲ三級トス
各級ノ開納稅額兩級ニ跨ル者アルトキハ上級ニ入ルヘシ又兩級ノ間ニ同額ノ納稅者二名
以上アルトキハ區内ニ住居スル年數ノ多キ者ヲ以テ上級ニ入ル若住居ノ年數ニ依リ難キ
トキハ年長者ヲ以テ年數ニ依リ難キトキハ區長自ラ抽籤シテ之ヲ定ムヘシ
選舉人每級各別ニ議員ノ三分ノ一ヲ選舉ス其ノ被選舉人ハ同級内ノ者ニ限ラサルモノ
トス

第二十九條 區域廣濶又ハ人口稠密ナル區ニ於テハ區會ノ議決ヲ經テ區畫ヲ定メ選舉分會
ヲ設クルコトヲ得但シ特ニ二級三級選舉ノ爲之ヲ設クルモ妨ナシ
分會ニ於テ爲シタル投票ハ投票函ノ儘本會ニ集メテ之ヲ合算シ總數ヲ以テ當選ヲ定ム

分會ハ本會ト同日時ニ之ヲ開クヘシ其ノ他選舉ノ手續會場ノ取締等總テ本會ノ例ニ依ル
第三十條 特別ノ事情アル區ニ於テハ區條例ヲ以テ選舉區ヲ設クルコトヲ得

選舉區ノ數及其ノ區域並各選舉區ヨリ選舉スヘキ議員ノ員數ハ選舉人ノ員數ニ準シ前項
ノ條例ニ之ヲ規定スヘシ

選舉人ハ住居ヲ占ムル地ニ依テ所屬ノ選舉區ヲ定ム其ノ區内ニ住居ヲ占メサル者ハ直接
區稅ノ賦課ヲ受ケタル物件ノ所在ニ依テ之ヲ定ム若數選舉區ニ互リ賦課ヲ受ケタル物件
アルトキハ稅額ノ最多キ物件ノ所在ニ依テ之ヲ定ム又直接區稅ノ賦課ヲ受ケタル物件ヲ
キトキハ住居ヲ構ヘ若クハ滞在スル地ニ依テ之ヲ定ムヘシ但シ本文ノ場合ニ於テ稅額ノ
相同キトキ又ハ數選舉區ニ互リ住居ヲ構ヘ若クハ滞在スルトキハ本人ノ申出ニ依テ之ヲ
定ムヘシ

選舉區ヲ設クルトキハ各選舉區ニ於テ選舉人ノ等級ヲ分ツヘシ

各選舉區ヨリ選舉スヘキ議員ノ員數各級ニ等分シ難キトキハ各選舉區各級ヨリ選舉スヘ
キ議員ノ員數ヲ第一項ノ條例ニ規定スヘシ

被選舉人ハ其ノ選舉區内ノ者ニ限ラサルモノトス

第三十一條 選舉權ヲ有スル區公民ハ總テ被選舉權ヲ有ス

左ニ掲クル者ハ被選舉權ヲ有セス

- 一 北海道廳ノ官吏
- 二 區長及有給ノ區吏員

三 檢事及警察官吏

四 神官僧侶其ノ他諸宗教師

五 小學校教員

其ノ他官吏ニシテ當選シ之ニ應セントスルキトハ所屬長官ノ許可ヲ受クヘシ

父子兄弟タル緣故アル者ハ同時ニ區會議員タルコトヲ得ス若同時ニ選舉セラレタルトキ
ハ投票ノ數ニ依テ其ノ多キ者一人ヲ當選トシ同數ナレハ年長者ヲ當選トシ同年ナレハ抽
籤ヲ以テ之ヲ定ム其ノ時ヲ異ニシテ選舉セラレタル者ハ後者議員タルコトヲ得ス

區長トノ間父子兄弟タル緣故アル者ハ之ト同時ニ區會議員タルコトヲ得ス若議員トノ間
ニ其ノ緣故アル者區長ノ任命ヲ受ケタルトキハ其ノ緣故アル議員ハ其ノ職ヲ失フモノト
ス

第三十二條 區會議員ハ名譽職トス其ノ任期ハ六年トシ毎三年各級ニ於テ其ノ半數ヲ改選

ス若各級ノ議員二分シ難キトキハ初回ニ於テ多數ノ一半ヲ退職セシム初回ニ於テ退職セ
シムヘキ者ハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

前項議員ノ任期ハ總選舉ヲ行ヒタル日選舉ノ數日ニ互ル又ハ定期改選期日選舉ノ數日ニ互ル

ヨリ起算シ曆ニ從フ但シ總選舉ノ場合ニ於テ一部ノ議員後レテ選舉セラレ又ハ定期改選
ノ場合ニ於テ一部若クハ全部ノ議員其ノ期日後ニ選舉セララルコトアルモ先ニ總選舉ヲ
行ヒタル日又ハ定期改選期日ヨリ起算ス
退職ノ議員ハ再選セララルコトヲ得

議員ニ關シテ第二十二條第一項第三項第二十四條第二十五條ノ例ヲ適用ス

第三十三條 區會議員中關員アルトキハ毎三年定期改選ノ時ニ至リ同時ニ補闕選舉ヲ行フヘシ若定員三分ノ一以上關員アルトキ又ハ區長若クハ區會ニ於テ臨時補闕ヲ必要ト認ムルトキハ定期前ト雖補闕選舉ヲ行フヘシ
補闕議員ハ前任者ノ殘任期間在職スルモノトス
定期改選及補闕選舉ハ前任者ノ選舉セラレタル選舉等級及選舉區ニ從テ之カ選舉ヲ行フヘシ

第三十四條 區長ハ選舉ヲ行フ毎ニ其ノ選舉前六十日ヲ期トシ其ノ日ノ現在ニ依リ選舉人ノ資格ヲ記載セル選舉原簿ヲ調製シ此ノ原簿ニ依リ選舉人名簿ヲ調製スヘシ但シ選舉區ヲ設ケルトキハ每選舉區各別ニ原簿及名簿ヲ調製スヘシ
選舉人名簿ハ其ノ選舉前五十日ヲ期トシ其ノ日ヨリ七日間區役所ニ於テ關係者ノ縦覽ニ供スヘシ若關係者ニ於テ異議アルトキハ縦覽期限内ニ之ヲ區長ニ申立ツルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ區長ハ其ノ申立ヲ受ケタル日ヨリ七日以内ニ之ヲ決定スヘシ

前項區長ノ決定ニ不服アル者ハ北海道廳長官ニ訴願シ其ノ北海道廳長官ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
本條ノ異議訴願若クハ訴訟ノ爲ニ處分決定若クハ裁決ノ執行ヲ停止セス

區長ハ第二項異議ノ決定又ハ第三項訴願ノ裁決若クハ訴訟ノ判決ニ依リ名簿ノ修正ヲ要スルトキハ選舉ノ日ヨリ五日前三修正スベキモノトス
何人タリトモ選舉ヲ行フコトヲ得ス

本條ニ依リ確定シタル名簿ハ其ノ確定シタル日ヨリ一年以内ニ於テ選舉ヲ行フトキモ亦之ヲ適用ス但シ名簿確定後訴願ノ裁決若クハ訴訟ノ判決ニ依リ修正ヲ要スルトキハ選舉ノ日ヨリ五日前三修正スベキモノトス

選舉人名簿ヲ修正シタルトキハ直ニ其ノ要領ヲ公告スヘシ

第三十五條 選舉ヲ行フトキハ區長ハ選舉ノ日ヨリ少クトモ七日前ニ選舉ノ場所日時並每選舉區及每級ヨリ選舉スベキ議員ノ員數ヲ公告スヘシ

各級ニ於テ選舉ヲ行フ順序ハ先ツ三級ノ選舉ヲ行ヒ次ニ二級ノ選舉ヲ行ヒ次ニ一級ノ選舉ヲ行フヘシ

第三十六條 選舉掛ハ名譽職トシ區長ニ於テ臨時ニ選舉人中ヨリ二名若クハ四名ヲ選任シ區長若クハ其ノ代理者ハ掛長ト爲リ選舉會ヲ開閉シ會場ノ取締ニ任ス但シ選舉分會若クハ選舉區ヲ設ケルトキハ各別ニ選舉掛ヲ設ケヘシ

第三十七條 選舉開會中ハ選舉人ヲ除ク外選舉會場ニ入ルコトヲ得ス選舉人ハ選舉會場ニ於テ協議若クハ勸誘ヲ爲スコトヲ得ス

第三十八條 選舉ハ投票ヲ以テ之ヲ行フ投票ニハ被選舉人ノ氏名又ハ其ノ住所氏名ヲ記シ封緘ノ上選舉人自ラ之ヲ掛長ニ差出スヘシ但シ選舉人ノ氏名ハ投票ニ記入スルコトヲ得ス

區住民ニ非スシテ第二十七條第二項ニ依リ選舉權ヲ有スル者ハ代人ヲ以テ選舉ヲ行フコ

トテ得

代人ハ帝國臣民ニシテ公權ヲ有シ且公權停止中ニ非サル獨立ノ男子ニ限ル但シ一人ニシテ數人ノ代理ヲ爲スコトヲ得ズ又代人ハ委任狀ヲ選舉掛ニ示スヘシ

選舉人投票ヲ差出ストキハ自己ノ氏名及住所ヲ掛長ニ申立テ掛長ハ選舉人名簿ニ照シテ之ヲ受ケ封緘ノ儘投票函ニ投入スヘシ但シ投票函ハ投票ヲ終ルマテ之ヲ開クコトヲ得ス第三十九條 單名投票ニシテ左ノ各號ニ該當スルモノハ之ヲ無効トス連名投票ニシテ第一號第五號第六號ニ該當スルモノモ亦同シ又連名投票ニシテ第二號乃至第四號ニ該當スルモノハ其ノ部分ノミヲ無効トス

- 一 氏名ヲ記載セサルモノ
 - 二 記載シタル氏名ノ讀ミ難キモノ
 - 三 被選舉人ノ何人タルヲ確認シ難キモノ
 - 四 被選舉權ナキ者ノ氏名ヲ記載シタルモノ
 - 五 被選舉人ノ住所氏名ノ外他事ヲ記入シタルモノ但シ位階敬稱ノ類ヲ記入スルハ此限ニ在ラス
 - 六 投票用紙ヲ一定シタル場合ニ於テ其ノ用紙ヲ用井サルモノ
- 投票ニ記載ノ人員其ノ選舉スヘキ定數ヲ過タルトキハ末尾ニ記載シタルモノヲ順次ニ棄却スヘシ
- 投票ノ受理並効力ニ關スル事項ハ選舉掛之ヲ議決ス可否同數ナルトキハ掛長之ヲ決ス

第四十條 區會議員ノ選舉ハ有效投票ノ多數ヲ得タル者ヲ以テ當選トス投票ノ數相同キトキハ年長者ヲ取り同年ナルトキハ掛長自ラ抽籤シテ其ノ當選ヲ定ム

同時ニ補闕議員數名ヲ選舉スルトキハ投票數ノ多キ者ヲ以テ殘任期ノ長キ前任者ノ補闕ト爲シ投票ノ數相同キトキハ掛長自ラ抽籤シテ其ノ順序ヲ定ム

第四十一條 選舉掛ハ選舉錄ヲ製シテ選舉ノ願末ヲ記録シ選舉ヲ終リタル後之ヲ朗讀シ選舉人名簿其ノ他關係書類ヲ合綴シテ選舉掛長選舉掛ノ一名若クハ數名ト共ニ之ニ署名捺印シ少クトモ六年間之ヲ保存スヘシ

投票ハ選舉ヲ終リタル後之ヲ取纏メ封緘シ上選舉掛長選舉掛ノ一名若クハ數名ト共ニ之ニ捺印シ少クトモ六年間之ヲ保存スヘシ

第四十二條 選舉ヲ終リタルトキハ選舉掛長ハ直ニ當選者ニ當選ノ旨ヲ告知スヘシ其ノ當選ヲ辭センドスル者ハ當選ノ告知ヲ發シタル日ヨリ五日以内ニ之ヲ區長ニ申立ツヘシ一人ニシテ數級若クハ數選舉區ノ選舉ニ當リタルトキハ當選ノ告知ヲ最終ニ發シタル日ヨリ五日以内ニ何レノ選舉ニ應スヘキコトヲ區長ニ申立ツヘシ其ノ期限内ニ之ヲ申立テタル者ハ總テ其ノ當選ヲ辭シタル者ト看做スヘシ

定期改選ト補闕選舉トヲ同時ニ行ヒタル場合ニ於テ一人ニシテ其ノ兩選舉ニ當リタルトキモ亦前項ノ例ヲ適用ス

本條ニ依リ當選ヲ辭シタル者アルトキハ更ニ選舉ヲ行フヘシ

選舉ヲ終リ當選者定マリタルトキハ區長ハ直ニ其ノ住所氏名ヲ公告シ同時ニ選舉錄ノ寫

ヲ添ヘ之ヲ北海道廳長官ニ報告スヘシ
 第四十三條 選舉人選舉ノ效力ニ關シ異議アルトキハ選舉ノ日ヨリ七日以内ニ北海道廳長官ニ訴願シ其ノ北海道廳長官ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
 北海道廳長官ニ於テ選舉ノ效力ニ關シ異議アルトキハ訴願ノ有無ニ拘ラス前條ノ報告ヲ受ケタル日ヨリ二十一日以内ニ選舉ヲ取消スヘシ

前項北海道廳長官ノ處分ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
 本條ノ訴願若クハ訴訟ノ爲ニ處分ノ執行ヲ停止セズ

第四十四條 選舉ノ規程ニ違背スルコトアルトキハ其ノ選舉ヲ無効トシ又當選者中其ノ資格ノ要件ヲ有セサル者アルトキハ其ノ當選ヲ無効トスヘキモノトス但シ選舉ノ規程ニ違背スル所アルモ其ノ事以輕微ニシテ選舉ノ結果ニ異動ヲ生セサルモノハ此ノ限ニ在ラス

第四十五條 選舉若クハ當選無効ト確定シタルトキハ更ニ選舉ヲ行フヘシ

第四十六條 區會議員中其ノ資格ノ要件ヲ有セサル者アルトキハ其ノ職ヲ失フモノトス
 區長若クハ區會ニ於テ前項ニ該當スル者アルコトヲ發見シタルトキハ北海道廳長官ニ申立ツヘシ

第一項資格要件ノ有無ハ北海道廳長官ニ於テ前項ノ申立ニ依リ又ハ其ノ職權ヲ以テ之ヲ決定ス

前項北海道廳長官ノ決定ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
 本條ノ場合ニ於テ資格要件ヲ有セストスル決定ハ其ノ決定確定シ又ハ訴訟ノ判決アルマ

マテ其ノ執行ヲ停止ス

第二款 職務權限及處務規程

第四十七條 區會ノ議決ヲ經ヘキ事件左ノ如シ

- 一 區條例及區規則ヲ設定スル事
- 二 區費ヲ以テ支辨スヘキ事業但シ國ノ行政事務ニ屬スルモノハ此ノ限ニ在ラス
- 三 歲入出豫算ヲ定ムル事
- 四 法律命令ニ定ムルモノヲ除ク外使用料加入金手数料區稅及夫役現品ノ賦課徵收ノ法ヲ定ムル事
- 五 區有不動產ノ賣買交換讓受渡並質入書入ヲ爲ス事
- 六 基本財産及積立金穀等ノ處分ヲ爲ス事
- 七 歲入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除ク外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ及權利ノ棄却ヲ爲ス事
- 八 區有財産及區ノ營造物ノ管理方法ヲ定ムル事
- 九 區吏員ノ身元保證ヲ徵シ並其ノ額ヲ定ムル事
- 十 區ニ係ル訴訟及和解ニ關スル事

其ノ他區會ノ職權ハ法律命令ノ定ムル所ニ依ル

第四十八條 區會ハ區ノ事務ニ關スル書類及計算書ヲ檢閲シ區長ノ報告書ヲ請求シテ事務ノ管理議決ノ施行並收入支出ノ正否ヲ檢查スルコトヲ得
 區會ハ前項ノ目的ヲ爲シ五名以下ノ委員ヲ議員中ヨリ選舉シ區長若クハ其ノ指命シタル

吏員立會ノ上關係書類並金庫ヲ檢閲セシムルコトヲ得

區會ハ區ノ公益ニ關スル事件ニ付意見書ヲ區長若クハ監督官廳ニ差出スコトヲ得

第四十九條 議員タル者ハ選舉人ノ指示若クハ委囑ヲ受クヘカラサルモノトス

第五十條 區會ハ區長ヲ以テ議長トス

區會ハ區會議員中ヨリ議長代理者一名ヲ選舉スヘシ

議長代理者ハ區會議員ノ定期改選期日ノ前日マテ在職スルモノトス但シ議員ノ職ヲ退ク
トキハ其ノ職ヲ失フモノトス

第二項ノ選舉ハ總選舉ヲ行ヒタル場合ハ初會ニ於テ其ノ他ハ前任者退職當時ノ會議又ハ
退職後ノ初會ニ於テ之ヲ行フ

第五十一條 議長故障アルトキハ其ノ代理者之ニ代リ議長及其ノ代理者共ニ故障アルトキ
ハ區會ハ年長ノ議員ヲ以テ假議長トスヘシ但シ臨時ニ假議長ヲ選舉スルモ妨ナシ

第五十二條 區長及其ノ委任ヲ受ケタル吏員ハ何時ニテモ會議ニ出席シ及發言スルコトヲ
得但シ議員ノ演說ヲ中止スルコトヲ得ス

前項ノ出席者ハ議員ノ職ニ在ル者ヲ除ク外議決ニ加ハルコトヲ得ス

第五十三條 區會ハ會議ノ必要アル毎ニ區長會期ヲ定メテ之ヲ招集ス議員四分ノ一以上ヨ
リ請求アル場合ニ於テ相當ノ理由アリト認ムルトキモ亦同シ
招集並會議ノ事件ヲ告知スルハ急施ヲ要スル場合ヲ除ク外少クトモ會議ノ三日前タルハ

區會ハ區長之ヲ開閉ス

第五十四條 區會ハ議員定員ノ半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス但シ同
一ノ事件ニ付集會再回ニ至ルモ議員仍半數ニ滿タサルトキハ比ノ限ニ在ラス

第五十五條 區會ノ議事ハ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ可否スル所ニ依ル

第五十六條 議長及議員ハ自己若クハ其ノ父母妻子兄弟姊妹ノ一身上ニ關スル事件ニ就テ
ハ區會ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ議事ニ參與スルコトヲ得ス

前項除席ノ爲ニ議員ノ數減少シテ會議ヲ開ク定數ニ滿タサルトキモ仍會議ヲ開クコトヲ
得

第五十七條 區會ノ會議ハ公開ス但シ議長ノ意見ヲ以テ傍聽ヲ禁スルコトヲ得又區長ヨリ
要求アリタルトキハ傍聽ヲ禁スヘシ

第五十八條 議長ハ會議ノ事ヲ總理シ會議ノ順序ヲ定メ其ノ日ノ會議ヲ開閉シ議場ノ秩序
ヲ保持ス

第五十九條 會議及傍聽ノ紀律並取締ニ關スル規則ハ「拓殖務大臣」之ヲ定ム其ノ規則ニハ
之ニ違背シタル議員ニ對シ區會ノ議決ニ依リ五日以前出席ヲ停止シ又ハ二圓以下ノ過怠
金ヲ科スル規程ヲ設クルコトヲ得

第六十條 前條依ニリ「拓殖務大臣」ノ定ムル規則ノ外區會ハ北海道廳長官ノ許可ヲ得テ會議
規則及傍聽規則ヲ設クヘシ其ノ會議規則ニハ之ニ違背シタル議員ニ對シ區會ノ議決ニ依

リ五日以内出席ヲ停止シ又ハ二圓以下ノ過怠金ヲ科スル規程ヲ設クルコトヲ得
區會ニ於テ行フ選舉ノ方法ハ會議規則ニ之ヲ規定スヘキモノトス
第六十一條 區會ノ書記ハ區吏員ノ中ニ就キ區長之ヲ命ス

書記ハ議長ニ隸屬シテ庶務ニ從事ス

議長ハ書記ヲシテ會議錄ヲ製シテ會議ノ顛末竝出席議員ノ氏名ヲ記錄セシムヘシ

會議錄ハ議長及議員二名以上之ニ署名捺印スヘキモノトス

議長ハ會議錄ヲ添ヘ會議ノ結果ヲ區長ニ報告スヘシ

第四章 區ノ財務

第一款 區有財産及區稅

第六十二條 區ハ不動産積立金穀等ヲ以テ基本財産ト爲シ之ヲ維持スル義務アリ

北海道廳長官ハ區ノ經濟ノ狀況ニ依リ必要ト認ムルトキハ額ヲ定メテ基本財産ヲ蓄積セシムルコトヲ得

臨時ニ收入シタル金穀等ハ基本財産ニ加入スヘシ但シ寄附金穀等寄附者別ニ其ノ使用ノ目的ヲ定ムルモノハ此ノ限ニ在ラス

區ハ區規則ノ規程ニ依リ或ル事業ヲ爲シ特別ノ基本財産若クハ積立金穀等ヲ設クルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ區會ノ議決ヲ經テ前項收入ノ一部若クハ全部ヲ特別ノ基本財産若クハ積立金穀等ニ加入スルコトヲ得但シ寄附金穀等寄附者別ニ其ノ使用ノ目的ヲ定ムルモノハ此ノ限ニ在ラス

モノハ此ノ限ニ在ラス

第六十三條 區有財産ハ其ノ收益ヲ以テ區ノ收入ト爲スカ爲ニ管理スルモノトス但シ區ノ直接ノ公用若クハ區住民ノ直接ノ共用ニ供シタル區有財産ニシテ其ノ公用若クハ共用ニ妨スルトキ及特ニ民法上ノ權利ヲ有スル者アル場合ニ於テ其ノ權利ニ牴觸スルトキハ此ノ限ニ在ラス

第六十四條 區有財産ヲ區住民ノ全部若クハ一部ノ直接ノ共用ニ供スルニハ區規則ノ規程ニ依ルヘシ

前項ノ規則ニハ使用料ノ外場合ニ依リ加入金徴收ノ規程ヲ設クルコトヲ得

第六十五條 區有財産ノ賣却貸與又ハ區ノ工事及物件調達ノ請負ハ公ノ入札ニ付スヘシ但シ臨時急施ヲ要スルトキ又ハ入札ノ價額其ノ費用ニ比シテ得失相償ハサルトキ又ハ區會ノ承諾ヲ得ルトキハ此ノ限ニ在ラス

第六十六條 區ハ北海道廳長官ノ許可ヲ得テ國區町村其ノ他公共團體若クハ一個人ノ事業ニ對シ寄附若クハ補助ヲ爲スコトヲ得

第六十七條 區ハ其ノ必要ナル支出及法律命令ニ依リ賦課セラルル支出負擔スル義務アリ

區ハ區有財産ヨリ生スル收入使用料手数料過怠金其ノ他法律命令ニ依リ區ニ屬スル收入ヲ以テ前項ノ支出ニ充テ仍不足アルトキハ區稅及夫役現品ヲ賦課徴收スルコトヲ得

第六十八條 區ハ區有財産若クハ區ノ營造物ノ使用ニ付又ハ特ニ一個人ノ爲ニスル事務ニ付使用料又ハ手数料ヲ徴收スルコトヲ得

第六十九條 區稅トシテ賦課スルコトヲ得ヘキ目左ノ如シ

一 國稅ノ附加稅

二 直接若クハ間接ノ特別稅

附加稅ハ直接ノ國稅ニ附加シ均一ノ稅率ヲ以テ區ノ全部ニ賦課スルヲ常例トス

特別稅ハ別ニ區限リ稅目ヲ設ケ課稅スルコトヲ要スルトキ賦課スルモノトス

第七十條 此ノ勅令中別ニ規程アルモノヲ除ク外特別稅ニ關スル細則ハ區條例又使用料手數料ニ關スル細則ハ區規則ヲ以テ之ヲ規定スヘシ

第七十一條 區住民ニ非スト雖三箇月以上區内ニ住居ヲ構ヘ若クハ滞在スル者ハ其ノ住居ヲ構ヘタル初若クハ滞在ノ初ニ遡リ區稅ヲ納ムル義務アルモノトス

區住民ニ非ス又三箇月以上區内ニ住居ヲ構ヘ若クハ滞在スルコトナキ者ト雖區内ニ於テ土地家屋ヲ所有シ若シクハ使用シ又ハ區内ニ於テ營業所ヲ定メテ營業ヲ爲シ又ハ區内ニ於テ或ル行爲ヲ爲ス者ハ土地家屋營業若クハ其ノ所得ニ對シ又ハ行爲ニ對シテ賦課スル區稅ヲ納ムル義務アルモノトス其ノ法人タルトキモ亦同シ但シ官業ハ此ノ限ニ在ラス

第七十二條 所得稅ノ附加稅ヲ賦課シ及區ニ於テ特別ニ所得稅ヲ賦課スルトキハ納稅義務者ノ區外ニ於テ所有シ若クハ使用スル土地家屋又ハ區外ニ於テ營業所ヲ定メタル營業ヨリ收入スル所得ハ之ヲ控除スヘキモノトス

數市區町村ニ住居ヲ構ヘ若クハ滞在スル者ニ前項ノ區稅ヲ賦課スルトキハ其ノ所得ヲ各市區町村ニ平分シ其ノ一部分ニノミ課稅スヘシ但シ土地家屋又ハ營業所ヲ定メタル營業

ヨリ收入スル所得ハ此ノ限ニ在ラス

第七十三條 所得稅法第三條ニ掲クル所得ニ對シテハ區稅ヲ賦課スルコトヲ得ス

國區町村其ノ他公共團體ノ直接ノ公用ニ供スル土地家屋營造物ニ對シテハ國區町村其ノ他公共團體ニ區稅ヲ賦課スルコトヲ得ス

社寺ノ用ニ供シ又ハ官立公立ノ學校病院ノ用ニ供シ又ハ官其ノ他公共ノ施設ニ係リ學藝美術慈善ノ用ニ供スル土地家屋營造物ニ對シテハ社寺又ハ國區町村其ノ他公共團體ニ區稅ヲ賦課スルコトヲ得ス

國有ノ山林若クハ荒蕪地ニ對シテハ國ニ區稅ヲ賦課スルコトヲ得ス

屯田兵土地給與規則及屯田兵移住給與規則ニ依リ給與シタル公有ノ財産ニ對シテハ第一百三條ニ掲クル期間中ハ區稅ヲ賦課スルコトヲ得ス

本條ノ外區稅ヲ賦課スルコトヲ得サルモノハ別段ノ法律勅令ニ定ムル所ニ從フ

皇族ニ係ル區稅ノ賦課ハ追テ法律勅令ヲ以テ定ムルマテ現今ノ例ニ依ル

第七十四條 區有財産ヲ區住民ノ一部ノ直接ノ共用ニ供シタル場合ニ於テハ其ノ使用權ヲ有スル者ヲシテ使用ノ多寡ニ準シテ其ノ財産ニ係ル必要ナル費用ヲ負擔セシムルコトヲ得

第七十五條 區住民ノ一部ノミヲ利スル營造物ノ建設維持ノ費用ハ其ノ關係者ニ負擔セシムルコトヲ得

區ノ一部ヲミヲ利スル營造物ノ建設維持ノ費用ハ其ノ部内ニ住居ヲ構ヘ若クハ滞在シ又

ハ其ノ部内ニ於テ土地家屋ヲ所有シ若クハ使用シ又ハ其ノ部内ニ於テ營業所ヲ定メテ營業ヲ爲シ又ハ其ノ部内ニ於テ或ル行爲ヲ爲スニ依リ區稅ヲ納ムル義務アル者ニ負擔セシムルコトヲ得但シ其ノ一部ノ收入アルトキハ先ツ其ノ收入ヲ以テ其ノ費用ニ充ツヘシ

第七十六條 地租ノ附加稅ハ其ノ納期ヲ定メ納期納期ノ數日ニ亘ルニ於ケル土地臺帳ノ記名者ヨリ徵收スルモノトス但シ賃入ノ土地ニ對シテハ賃取主ヨリ徵收スルモノトス

地租ノ附加稅ハ免租地若クハ無租地ノ有租地ト爲リタルトキハ其ノ翌月ヨリ有租地ノ免租地若クハ無租地ト爲リタルトキハ其ノ前月マテ又地租地目ノ變換等ニ依リ地租ニ異動ヲ生シタルトキハ其ノ月ヨリ月割ヲ以テ徵收スルモノトス

所得稅ノ附加稅ハ本稅ノ納期ニ於テ本稅ヲ納ムル義務アル者ヨリ徵收スルモノトス

本條ニ規定スルモノヲ除ク外附加稅徵收ノ方法ハ區規則ヲ以テ之ヲ規定スヘシ

第七十七條 區ハ其ノ必要ニ依リ夫役現品ヲ以テ別段ノ規程ヲ設クルコトヲ得

美術手工ニ關スル勞役ヲ賦課スルコトヲ得ス

夫役現品ハ急迫ノ場合ヲ除ク外直接區稅ヲ準率ト爲シ且之ヲ金額ニ算出シテ賦課スヘシ

夫役ヲ賦課セラレタル者ハ其ノ便宜ニ從ヒ本人自ラ之ニ當リ又ハ適當ノ代人ヲ出スコトヲ得又夫役現品ハ急迫ノ場合ヲ除ク外金額ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第七十八條 區ニ於テ徵收スル使用料加入金手数料區稅夫役現品ニ代フル金額其ノ他區ノ

公法上ノ收入ヲ定期内ニ納メサル者アルトキハ區長ハ國稅ノ滯納處分ニ關スル規程ニ依リ之ヲ處分スヘシ其ノ督促及手数料ニ關シテハ區規則ヲ以テ別段ノ規程ヲ設クルコトヲ得

納稅義務者中無資力ナル者アルトキハ區長ノ意見ヲ以テ會計年度内ニ限り納稅延期ヲ許スコトヲ得其ノ年度ヲ超ユル場合ニ於テハ區會ノ議決ニ依ル本條ニ記載スル徵收金ノ追徵還付期滿免除及先取特權ニ就テハ國稅ニ關スル一般ノ例ヲ適用ス

第七十九條 區稅ノ賦課ヲ受ケタル者ニシテ其ノ課目課額ニ錯誤アリト認ムルトキハ納稅ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ三箇月以内ニ區長ニ異議ヲ申立ツルコトヲ得

區有財産若クハ區ノ營造物ヲ使用スル權利ニ關シ異議アル者ハ之ヲ區長ニ申立ツルコトヲ得

本條ノ異議ハ區長之ヲ決定ス其ノ區長ノ決定ニ不服アル者ハ北海道廳長官ニ訴願シ其ノ北海道廳長官ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

本條ノ異議訴願若クハ訴訟ノ爲ニ處分ノ執行ヲ停止セス

第八十條 區ハ其ノ負債ヲ償還スル爲メ又ハ天災事變等已ムテ得サル支出若クハ區ノ永久ノ利益ト爲ルヘキ支出ヲ要スルニ方リ通常ノ歳入ヲ増加スルトキハ區住民ノ負擔ニ堪ヘサル場合ニ限り區債ヲ起スコトヲ得

區債ヲ起スニ付區會ノ議決ヲ經ル下キハ併セテ借入ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法ニ付議決ヲ經ヘキモノトス其ノ變更ヲ要スルトキ又ハ此ノ勅令ヲ行フ前ニ起シタル負債ニ關

シ變更ヲ要スルトキモ亦同シ
區債償還ノ初期ハ起債ノ時ヨリ三年以内ト爲シ年々償還歩合ヲ定メ起債ノ時ヨリ三十
年以内ニ還了スルヲ以テ常例トス

區債ノ總額ハ毎年ノ利子額其ノ區經常支出既往三年起債ノ都度其ノ前平均額ノ二分ノ一
ヲ超過セザルヲ限度トス

區ハ債券ヲ發行セザルヲ常例トス又如何ナル場合ニ於テモ無記名債券ヲ發行スルコトヲ
得ス

豫算内ノ支出ヲ爲スニ付必要ナル一時ノ借入金ハ本條ノ例ニ依ラス其ノ年度ノ收入ヲ以
テ償還スヘキモノトス但シ此ノ場合ニ於テハ區會ノ議決ヲ經ヘシ

第三款 區ノ歳入出豫算及決算

第八十一條 區長ハ每會計年度收入支出ノ豫知シ得ヘキ金額ヲ見積リ歳入出豫算ヲ調製シ
少クトモ年度二箇月前ニ區會ノ議決ヲ經ヘシ但シ區ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ同
シ

豫算ヲ區會ニ提出スルトキハ區長ハ併セテ區ノ事務報告書及財産明細表ヲ提出スヘシ

第八十二條 區長ハ必要ノ場合ニ於テハ區會ノ議決ヲ經テ既定豫算ノ追加若クハ更正ヲ爲
スコトヲ得

第八十三條 豫算外ノ支出若クハ豫算超過ノ支出ニ充ツル爲ニ豫備費ヲ設クヘシ但シ區會
ノ否決シタル費目ニ充ツルコト得ス

豫備費ノ支出ハ後日區會ノ認定ヲ求ムルコトヲ要ス

區ノ費用ヲ以テ支辨スヘキ事業ニシテ數年ヲ期シ施行スヘキモノ又ハ數年ヲ期シテ其ノ
費用ヲ支出スヘキモノハ區會ノ議決ヲ經テ其ノ年期间各年度ノ支出額ヲ定メ繼續費ト爲
スコトヲ得

區ハ區規則ヲ以テ特別會計ヲ設クルコトヲ得

豫算調製ノ式並費目流用ニ關スル規程ハ「拓殖務大臣」ノ許可ヲ得テ北海道廳長官之ヲ定

豫算ハ區會ノ議決ヲ經タル後直ニ之ヲ北海道廳長官ニ報告シ並地方所定ノ公告式ニ依リ
其ノ要領ヲ公告スヘシ

第八十四條

豫算ノ議決ヲ經タルトキハ區長ヨリ其ノ謄本ヲ收入役ニ交付スヘシ其ノ豫算
中監督官廳ノ許可ヲ受クヘキ事項アルトキハ先ツ其ノ許可ヲ受クヘシ

收入役ハ區長ノ命令アルニ非サレハ支拂ヲ爲スコトヲ得ス區長ノ命令ヲ受クルモ其ノ
支出豫算中豫定キガ又ハ其ハ命令前條第一項ノ規程ニ依ラサルトキハ支拂ヲ爲スコト
ヲ得ス

前項ノ規程ニ背キタル支拂ハ總テ收入役ノ責任ニ歸ス

第八十五條 區ノ出納ハ毎月例日ヲ定メテ検査ヲ行ヒ又毎年少クトモ一回臨時検査ヲ行フ
第六十六條 區ノ出納ハ毎月例日ヲ定メテ検査ヲ行ヒ又毎年少クトモ一回臨時検査ヲ行フ

検査ハ區長若クハ其ノ代理者之ヲ行ヒ臨時検査ハ區會ノ選舉シタル議員一名以上ノ立會

并要ス 預算書ハ其ノ外監査ニ付 調査會ハ區會ノ選舉ニ付 議員一員以上ノ立會

第八十六條 區ノ出納閉鎖ハ翌年度六月三十日ヲ以テ期限トス

決算ハ出納閉鎖期限後一箇月以内ニ證書類ヲ併セテ收入役ヨリ之ヲ區長ニ提出スヘシ區長ハ之ヲ審査シ意見ヲ附シ次ノ通常豫算會議ニ於テ之ヲ區會ニ報告スヘシ

區長ハ決算報告書及之ニ關スル區會ノ議決ヲ北海道廳長官ニ報告シ並テ地方所定ノ公告式ニ依リ決算ノ要領ヲ公告スヘシ

第五章 區内ノ一部ノ行政

第八十七條 區内ノ一部ニシテ所有財産若クハ營造物ニ就キ其ノ部限リ特ニ其ノ費用ヲ負擔スルトキハ北海道廳長官ハ區會ノ意見ヲ聞キ「拓殖務大臣」ノ許可ヲ得テ財産營造物ニ關スル事務ノ爲部會ヲ設クルコトヲ得

前項部會ノ組織選舉職務權限處務規程等ハ「拓殖務大臣」ノ許可ヲ得テ北海道廳長官之ヲ定ム

第八十八條 前條ニ記載スル事務ニ就キ此ノ勅令ノ規程ニ依リ難キ事項其ノ他部ニ關シ特ニ必要ナル事項ハ「拓殖務大臣」ノ許可ヲ得テ北海道廳長官之ヲ定ム

第六章 區行政ノ監督

第八十九條 區行政ハ第一次ニ於テ北海道廳長官之ヲ監督シ第二次ニ於テ「拓殖務大臣」之ヲ監督ス

第九十條 此ノ勅令ニ規定スル異議 訴願若クハ訴訟ハ處分ヲ爲シ又ハ決定書若クハ裁決書ヲ交付シタル日ヨリ二十日以内ニ提起スヘシ但シ此ノ勅令中別ニ期限ヲ定メタルモハハ此ノ限ニ在ラス

第九十一條 監督官廳ハ區行政ノ法律命令ニ背戾セサルヤ其ノ事務錯亂滯滞セサルヤ否ヲ監視スヘシ監督官廳公之カ爲ニ行政事務ニ關シテ報告ヲ爲サシメ豫算決算等ノ書類帳簿ヲ徴シ並テ實地ニ就テ事務ヲ視察シ出納ヲ檢閲スル權ヲ有ス

監督官廳ハ區行政ヲ監督スル爲ニ必要ナル命令ヲ發シ處分ヲ爲ス權ヲ有ス

「拓殖務大臣」ハ北海道廳長官ノ區行政ニ關シテ爲シタル命令若クハ處分ヲ停止シ若クハ取消スコトヲ得

第九十二條 北海道廳長官ハ區ノ豫算中不適當ノ支出ト認ムルモノアルトキハ之ヲ削減スルコトヲ得其ノ支出ヲ削減シタル場合ニ於テハ之ニ相當スル收入ヲ削減スヘシ

前項北海道廳長官ノ處分ニ不服アル區會ハ「拓殖務大臣」ニ訴願スルコトヲ得

第九十三條 區會ノ解散ハ「拓殖務大臣」之ヲ命ス此ノ場合ニ於テハ三箇月以内ニ議員ヲ選舉スヘシ

北海道廳長官ハ十日以内ニ於テ區會ノ停會ヲ命スルコトヲ得

第九十四條 區條例及設定「拓殖務大臣」ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

第九十五條 左ニ掲グル事件ハ「拓殖務大臣」及大藏大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

第六十區債ヲ起シ並借入方法利息及償還方法ヲ定メ若クハ變更スル事但シ第八
條第六十條未項ヲ借入金以此限ニ在リテ之ヲ借入シ得ル事

三 直接國稅二分ノ一ヲ超過スル附加稅ヲ賦課スル事

第四十間接國稅ヲ附加稅ヲ賦課スル事

第九十六條 左ニ掲ケル事件ハ北海道廳長官ノ許可ヲ受ケルコトヲ要ス

一 區規則ヲ設定スル事

二 區規則ヲ改定スル事

三 區道廳ヨリ交付スル補助金ニ對シ支出金額ヲ定メ若クハ變更スル事

四 學藝美術ニ關シ又ハ歷史上貴重ナル物件ノ賣却交換讓渡質入書入若クハ大ナル變更

五 區有不動産ノ賣却交換讓渡質入書入ヲ爲ス事

六 基本財産及積立金穀等ノ處分ヲ爲ス事

七 各種ノ保證ヲ與スル事

八 繼續費ヲ定メ若クハ變更スル事

九 均一ノ稅率ニ依ラズシテ國稅ノ附加稅ヲ賦課スル事

第十 第七十四條第七十五條ニ依リ區住民ノ一部若クハ區内ノ一部ニ費用ヲ負擔セシムル

第四節 附則

第十 第七十七條 依テ夫役現品ヲ賦課スル事

第九十七條 北海道廳長官ハ書記部長委員其ノ他區吏員ニ對シ懲戒處分ヲ行フ其懲戒處分

前項解職ノ處分ニ違背シ若クハ職務ヲ曠廢スル者又ハ行狀ヲ亂リ廉恥ヲ失フ者ニ

對シ之ヲ行ハシムル事

隨時解職スル事

依テ之ヲ決得其以訴願ノ爲ニ處分ノ執行ヲ停止セス

第七章 附則

第九十八條 此ヲ勅令施行スル時期ニ拓殖務大臣之ヲ定ム

第九十九條 此ヲ勅令ヲ施行スル場合ニ於テ初メテ區ト爲ス地ハ「拓殖務大臣」之ヲ指定ス

第一百條 此ヲ勅令ニ依リ初メテ議員ヲ選舉スルニ付區會ノ職務ハ區長之ヲ行フヘシ

第一百一條 此勅令ニ記載セル人口ハ最終ノ人口調査ニ依ル但シ現役軍人ヲ除ク

第一百二條 一現役及豫備役ノ屯田兵村ニ於テ此ヲ勅令ヲ施行セス

第一百三條 屯田兵土地給與規則及屯田兵移住給與規則ニ依リ給與シタル公有ノ財産ニ關シ

テハ屯田兵服役期限中及其ノ滿期ノ年ヨリ十箇年間ハ此ノ勅令ヲ適用セス

第一百四條 此ノ勅令ニ於テ直接稅若クハ間接稅トスル種類ハ「拓殖務大臣」及「大藏大臣」之ヲ

報告示ス

本條ノ處分ニ付財產處分ノ要件ニキハ關係アル區會及町村會ノ意見ヲ聞キ北海道廳長官之受定ナリ

町村ノ境界明去ラザルハ其ノ中キハ北海道廳長官之受定ニ但シ郡若クハ區ノ境界ニ涉ル場合ニ於テハ「拓殖務大臣」ノ許可ヲ受ケルニ依リテ之ヲ變更スルコトハ其ノ
第三款 第二款 町村住民及其ノ權利義務ノ變更ニ關シテハ其ノ中キハ北海道廳長官之受定ニ依リテ之ヲ變更スルコトハ其ノ
第四條 町村内ニ住居ヲ占ムル者ハ總テ町村住民トス
町村住民タル者ハ此ノ勅令ニ從テ町村有財產並町村ノ營造物ヲ共用スル權利ヲ有シ及町
村ノ負擔ヲ分任スル義務ヲ有スルコトヲ試ス但シ特別民法上ノ權利義務ヲ有スル者アルハ
此ノ制限ニ在ラズ

第五條 帝國國民ニシテ公權ヲ有スル獨立ノ男子三年以來(一)町村ノ住民ト爲リ(二)町村ノ負擔ヲ分任シ及(三)町村内ニ於テ地租年額四十錢以上ヲ納メ若クハ直接國稅年額二圓
非以上ヲ納メ若クハ耕地宅地三町歩以上ヲ所有スル者ハ町村公民トス但シ公費ヲ以テ貧民
救助ヲ受ケル後三年ヲ經サル者ハ此ノ限ニ在ラス
前項三年ノ制限ニ場合ニ依リ町村會ノ議決ヲ經テ郡長ノ許可ヲ受ケ之ヲ特免スルコトヲ
得ルニ依リテ之ヲ得ル

此ノ勅令ニ於テ獨立ト稱スルハ滿二十五歳以上ニシテ一戸ヲ構ヘ且治産ノ禁ヲ受ケサル
モト云フニ依リテ之ヲ得ル
町村ノ負擔ヲ分任シ及町村公民トシテハ第一項(一)ノ要件ヲ缺クト雖其ノ他ノ
要件ヲ具備スル者ハ町村公民トス

町村公民ニシテ相當ノ理由ナクシテ名譽職ヲ拒辭シ又ハ任期中退職シ又ハ無任期ノ職務
ヲ少クトモ三年間擔當セス又ハ其ノ職務ヲ實際ニ執行セサル者ニ對スル處分ノ規則ハ「拓
殖務大臣」之ヲ定ム其ノ規則ニ依リ町村會ノ議決ニ依リ六年以內町村公民タル權ヲ停止シ
場合ニ依リ同年期間他ノ住民ノ負擔スベキ町村稅ノ率ニ比シ四分ノ二以下ヲ増加スル規
程ヲ設クルコトヲ得

第六條 町村公民タル者前條ニ掲載スル要件ノ一ヲ失フトキハ公民タル權ヲ失フモノトス
町村公民タル者公權停止中若クハ租稅滯納處分中ハ公民タル權ヲ停止ス家資分散若クハ
破産ノ宣告ヲ受ケタルトキハ復權ノ決定アルマテ又公權剝奪若クハ停止ヲ附加スヘキ重
罪輕罪ノ爲公判ニ付セラレタルトキハ其ノ裁判ノ確定ニ至ルマテ亦同シ
陸海軍ノ現役ニ服スル者ハ町村ノ公務ニ參與セサルモノトス現役以外ノ兵役ニ在ル者ニ
シテ戰時若クハ事變ニ際シ召集セラレタルトキモ亦同シ

第三款 町村條例及町村規則
第七條 町村ハ町村住民ノ權利義務及町村ノ事務ニ關シ此ノ勅令中明文ナク又ハ條例ヲ以
テ特別ヲ設クルコトヲ許シ若クハ規定スルコトヲ要スル事項ニ就テハ條例ヲ設クルコト
ヲ得
町村ハ町村有財產及町村ノ營造物ニ關スル事項其ノ他此ノ勅令中規則ヲ以テ特別ヲ設ク
ルコトヲ許シ若クハ規定スルコトヲ要スル事項ニ就テハ規則ヲ設クルコトヲ得

町村條例及町村規則ニ法律命令ニ牴觸スルコトヲ得スハ制限ヲ設ケルコトヲ得
町村條例及町村規則ヲ發行スルニハ地方所定ノ公告式ニ依ル其ノ公告式ハ町村規則ヲ以
テ之ヲ定ムヘシ

第二章 町村行政

第一款 町村吏員ノ組織及選任

第八條 町村ニ町村長書記其ノ他必要ノ附屬員ヲ置キ有給吏員トス

町村長ハ每町村若クハ町村組合ニ一名トシ書記ノ定員ハ北海道廳長官之ヲ定ム

町村長ハ北海道廳長官之ヲ任免シ書記ハ郡長之ヲ任免シ其ノ他ノ附屬員ハ町村長之ヲ任
免ス

第九條 町村ニ收入役一名ヲ置キ書記ノ中ニ就キ郡長之ヲ命ス

第十條 町村ハ處務便宜ノ爲町村規則ヲ以テ町村ノ區域ヲ數部ニ分チ每部部長及其ノ代理
者各一名ヲ置クコトヲ得

部長及其ノ代理者ハ名譽職トス

部長及其ノ代理者ハ選舉權ヲ有スル町村公民ノ中ニ就キ町村長之ヲ任免ス

第十一條 町村ハ町村規則ヲ以テ臨時若クハ常設ノ委員ヲ置クコトヲ得

委員ハ名譽職トス

委員ハ町村會議員若クハ町村公民中選舉權ヲ有スル者ヲ以テ之ニ充テ又ハ町村會議員及
町村公民中選舉權ヲ有スル者ヲ以テ之ニ充ツ其ノ合議體ニ組織シタル場合ニ於テ町村ハ

長若クハ其ノ委任ヲ受ケタル書記ヲ以テ委員長トス

委員ハ町村會ニ於テ之ヲ選舉ス

委員ノ組織任期等ニ關スル事項ハ第一項ノ規則ニ之ヲ規定スヘシ

委員ニ關シテハ第四十七條ノ例ヲ適用ス

委員ニシテ公權剝奪若クハ停止ヲ附加スヘキ重罪輕罪ノ爲豫審ニ付セラレタルトキハ郡
長ハ其ノ職ヲ停止スルコトヲ得

第二款 町村吏員ノ職務權限

第十二條 町村長ハ町村ヲ統轄シ其ノ行政事務ヲ擔任ス

町村長ノ擔任スル事務ノ概目左ノ如シ

- 一 町村會ノ議事ヲ準備シ並其ノ議決ヲ承認シ及執行スル事
- 二 町村有財産及町村ノ營造物ヲ管理スル事但シ特ニ之カ管理者アルトキハ其ノ事務ヲ
監督スル事
- 三 町村ノ權利ヲ保護スル事
- 四 町村ノ歳入ヲ管理シ歳入出豫算其ノ他町村會ノ議決ニ依テ定マリタル收入支出ヲ命
令シ會計及出納ヲ監視スル事
- 五 町村吏員ヲ監督シ書記委員ヲ除ク外其ノ他ニ對シ懲戒處分ヲ行フ事其ノ懲戒處分ハ
譴責及五圓以下ノ過怠金トス
- 六 町村ノ諸證書及公文書類ヲ保管スル事

七 外部ニ對シテ町村代表シ及町村人名義ヲ以テ他廳若クハ一個人ト交渉スル事
 八 法律命令若クハ町村會ノ議決ニ依リ使用料加入金手数料町村稅及夫役現品ヲ賦課徵收スル事
 九 其ノ他法律命令若クハ上司ノ指令ニ依テ町村長ニ委任シタル事務ヲ處理スル事
 第十三條 町村長ハ法律命令ニ從ヒ左ノ事務ヲ管掌ス

- 一 司法警察官ノ職務
- 二 浦役場ノ事務
- 三 國ノ行政ニシテ町村ニ屬スル事務但シ別ニ吏員ノ設アルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ事務ヲ執行スルガ爲ニ要スル費用ハ町村ノ負擔トス
 第十四條 町村長若クハ監督官廳ニ於テ町村會ノ議決其ノ權限ヲ越エ又ハ法律命令ニ背クト認ムルトキハ町村長ハ自己ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指令ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付シ若クハ取消スヘシ

前項再議ニ付スルモ仍其ノ議決ヲ改メサルトキハ町村長ヨリ郡長ニ申立テ其ノ決定ヲ請フヘシ又前項取消ニ不服アル町村會ハ郡長ニ訴願スルコトヲ得
 前項郡長ノ決定若クハ裁決ニ不服アル町村會ハ北海道廳長官ニ訴願シ其ノ北海道廳長官ノ裁決ニ不服アル町村會ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
 町村長若クハ監督官廳ニ於テ町村會ノ議決公益ニ害アリト認ムルトキハ町村長ハ自己ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指令ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付スヘシ

前項再議ニ付スルモ仍其ノ議決ヲ改メサルトキハ町村長ヨリ郡長ニ申立テ其ノ決定ヲ請フヘシ其ノ郡長ノ決定ニ不服アル町村會ハ北海道廳長官ニ訴願シ其ノ北海道廳長官ノ裁決ニ不服アル町村會ハ「拓殖務大臣」ニ訴願スルコトヲ得
 本條ノ決定若クハ裁決ハ其ノ確定ニ至ルマテ執行ヲ停止ス但シ當該官廳ニ於テ停止ノ爲ニ公益ニ害アリト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十五條 町村會ニ於テ必要ノ收支ニ關シ否決シタルトキ又ハ町村長若クハ監督官廳ニ於テ町村會ノ議決必要ノ收支ニ關シ不當ノ削減ヲ爲スト認ムルトキハ町村長ハ自己ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指令ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付シ仍其ノ議決ヲ改メサルトキハ郡長ニ申立テ指揮ヲ請フヘシ但シ場合ニ依リ再議ニ付セスシテ直ニ郡長ノ指揮ヲ請フコトヲ得
 前項郡長ノ處分ニ不服アル町村會ハ北海道廳長官ニ訴願シ其ノ北海道廳長官ノ裁決ニ不服アル町村會ハ「拓殖務大臣」ニ訴願スルコトヲ得
 本條ノ處分ハ其ノ確定ニ至ルマテ執行ヲ停止ス但シ當該官廳ニ於テ停止ノ爲ニ公益ニ害アリト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十六條 町村會召集ニ應ジテ若クハ成立セザルトキハ町村長ハ郡長ニ申立テ指揮ヲ請ヒ其ノ議決スヘキ事件ヲ處分スルコトヲ得
 町村會ニ於テ其ノ議決スヘキ事件ヲ議決セス若クハ議了セザルトキハ前項ノ例ニ依ル
 第二項ノ處分ハ次同ノ會議ニ於テ之ヲ町村會ニ報告スヘシ

第七條 第五十六條但書若クハ第五十八條第三項ノ場合ニ於テ全ク會議ヲ開クコト能ハサルトキハ前條ノ例ニ依ル

第十八條 書記ハ町村長ヲ命令テ承ケ國ノ行政及町村ノ行政ニ係ル庶務ニ從事ス

町村長ハ書記ヲシテ國ノ行政若クハ町村ノ行政事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコトヲ得

第十九條 収入役ハ町村ノ收入ヲ受領シ其ノ費用ノ支拂ヲ爲シ其ノ他會計事務ヲ掌ル

第二十條 部長及其ノ代理者ハ町村長ノ命令ヲ承ケ部内ニ關スル國ノ行政及町村ノ行政ニ付町村長ノ事務ヲ補助執行ス

第二十一條 委員ハ町村長ノ監督ニ屬シ町村有財産若クハ町村ノ營造物ヲ管理シ其ノ他町村行政事務ノ一部ヲ分掌シ又ハ一時ノ委託ニ依ル事務ヲ處辨ス

委員ノ職務權限ニ關スル細則ハ町村規則ヲ以テ之ヲ規定スヘシ

第三十二條 町村役場及町村吏員ノ處務規程ハ北海道廳長官ノ許可ヲ得テ郡長之ヲ定ム

町村吏員ノ服務紀律ハ北海道廳長官之ヲ定ム

第三款 給料及給與

第二十三條 名譽職吏員ハ職務取扱ノ爲ニ要スル實費ノ辨償ヲ受クルコトヲ得

部長及其ノ代理者並委員ハ實費辨償ノ外町村會ノ議決ヲ經テ勤務ニ相當スル報酬ヲ給スルコトヲ得

實費辨償額報酬額及其ノ支給方法ハ町村會ノ議決ヲ經テ郡長ノ許可ヲ受クヘシ

第二十四條 町村長及書記ノ給料額旅費額及其ノ支給方法ハ北海道廳長官之ヲ定メ其ノ他有給吏員ノ給料額旅費額及其ノ支給方法ハ町村規則ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

町村條例ヲ以テ有給吏員ノ退隱料及遺族扶助料ヲ設クルコトヲ得

第三十五條 有給吏員ノ給料旅費退隱料遺族扶助料其ノ他第二十三條ノ給與ニ關シ異議アル者ハ郡長ニ訴願シ其ノ郡長ノ裁決ニ不服アル者ハ北海道廳長官ニ訴願シ其ノ北海道廳長官ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

本條ノ訴願若クハ訴訟ノ爲ニ處分ノ執行ヲ停止セス

第二十六條 給料旅費退隱料遺族扶助料報酬辨償等ハ町村ノ負擔トス但シ町村長ノ給料及旅費ハ國庫ヨリ支給ス

第三章 町村會

第一款 組織及選舉

第二十七條 町村會議員ハ町村ノ選舉人其ノ被選舉權アル者ヨリ之ヲ選舉ス其ノ定員左ノ如シ

一人口千五百未滿ノ町村ニ於テハ 議員八人

一人口千五百以上五千未滿ノ町村ニ於テハ 議員十二人

一人口五千以上一萬未滿ノ町村ニ於テハ 議員十六人

一人口一萬以上三萬未滿ノ町村ニ於テハ 議員二十人

一人口三萬以上ノ町村ニ於テハ 議員二十四人

前項以定員ハ町村規則ヲ以テ之ヲ減スルコトヲ得

議員二十四人

第二十八條 町村公民ハ總テ選舉權ヲ有ス但シ公民權停止中ノ者及第六條第三項ノ場合ニ當ル者ハ此以限ニ在ラズ

直接町村稅ヲ納ムル者其以額町村公民ノ最多ク直接町村稅ヲ納ムル三名中ノ一名ヨリモ多キトキハ町村住民ニ非サル者又ハ三年以來ノ町村住民ニ非サル者ト雖第五條ニ掲載スル其ノ他ノ要件ヲ具備スルトキハ選舉權ヲ有ス但シ第六條第二項ノ公民權停止ノ條件又ハ同條第三項ノ場合ニ當ル者ハ此以限ニ在ラズ

第二十九條 選舉人ハ分級ニ級トス

選舉人中直接町村稅ノ納額多キ者ヲ合セテ選舉人總員ノ納ムル總額ノ半ニ當ルヘキ者ヲ一級トシ爾餘ノ選舉人ヲ二級トス

各級ノ間納稅額兩級ニ跨ル者アルトキハ上級ニ入ルヘシ又兩級ノ間ニ同額ノ納稅者二名以上アルトキハ町村内ニ住居スル年數ノ多キ者ヲ以テ上級ニ入ル若シ住居ノ年數ニ依リ難キトキハ年長者ヲ以テシ年數ニモ依リ難キトキハ町村長自ラ抽籤シテ之ヲ定ムヘシ

選舉人每級各別ニ議員ノ半數ヲ選舉ス其以被選舉人ハ同級内ノ者ニ限ラサルモノトス

第三十條 區域廣濶又ハ人口稠密ナル町村ニ於テハ町村會ヲ議決シテ經テ區畫ヲ定メ選舉分會ヲ設クルコトヲ得但シ持三級選舉區爲之ヲ設クルモ妨ナシ

分會ニ於テ爲シ投票ハ投票函ヲ儘本會ニ集メテ之ヲ合算シ總數ヲ以テ當選ヲ定ム

分會ハ本會ト同日時ニ之ヲ開クヘシ其以他選舉ノ手續會場ヲ取締等總テ本會ノ例ニ依ル

第三十一條 特別ノ事情アル町村ニ於テハ町村條例ヲ以テ選舉區ヲ設クルコトヲ得

選舉區ノ數及其ノ區域並各選舉區ヨリ選舉スヘキ議員ノ員數ハ選舉人ノ員數ニ準シ前項ノ條例ニ之ヲ規定スヘシ

選舉人ハ住居ヲ占ムル地ニ依テ所屬ノ選舉區ヲ定ム其ノ町村内ニ住居ヲ占ムサル者ハ直接町村稅ノ賦課ヲ受ケタル物件ノ所在ニ依テ之ヲ定ム若シ數選舉區ニ亘リ賦課ヲ受ケタル物件アルトキハ稅額ノ最多キ物件ノ所在ニ依テ之ヲ定ム又直接町村稅ノ賦課ヲ受ケタル物件ナキトキハ住居ヲ構ヘ若クハ滞在スル地ニ依テ之ヲ定ムヘシ但シ本文ノ場合ニ於テ稅額ノ相同キトキ又ハ數選舉區ニ亘リ住居ヲ構ヘ若クハ滞在スルトキハ本人ノ申出ニ依テ之ヲ定ムヘシ

選舉區ヲ設クルトキハ各選舉區ニ於テ選舉人ノ等級ヲ分ツヘシ

各選舉區ヨリ選舉スヘキ議員ノ員數各級ニ等分シ難キトキハ各選舉區各級ヨリ選舉スヘキ議員ノ員數ヲ第一項ノ條例ニ規定スヘシ

被選舉人ハ其ノ選舉區内ノ者ニ限ラサルモノトス

第三十二條 選舉權ヲ有スル町村公民ハ總テ被選舉權ヲ有ス

- 左ニ掲クル者ハ被選舉權ヲ有セス
- 一 北海道廳及所屬郡ノ官吏
- 二 有給ノ町村吏員
- 三 檢事及警察官吏

四 神官僧侶其官他諸宗教師

五 小學校教員

其ノ他官吏ニシテ當選シ之ニ應セントスルトキハ所屬長官ノ許可ヲ受クヘシ
父子兄弟タル緣故アル者ハ同時ニ町村會議員タルコトヲ得ス若同時ニ選舉セラレタルト
キハ投票ノ數ニ依テ其ノ多キ者一人ヲ當選トシ同數ナレハ年長者ヲ當選トシ同年ナレハ
抽籤ヲ以テ之ヲ定ム其ノ時ヲ異ニシテ選舉セラレタル者ハ後者議員タルコトヲ得ス
町村長トノ間父子兄弟タル緣故アル者ハ之ト同時ニ町村會議員タルコトヲ得ス若議員ト
ノ間ニ其ノ緣故アル者町村長ノ任命ヲ受ケタルトキハ其ノ緣故アル議員ハ其ノ職ヲ失フ
モノトス

第三十三條 町村會議員ハ名譽職トス其ノ任期ハ六年トシ每三年各級ニ於テ其ノ半數ヲ改
選ス若各級ノ議員二分ヲ難キトキハ初回ニ於テ多數ノ一半ヲ退職セシム初回ニ於テ退職
セシムヘキ者ハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム
前項議員ノ任期ハ總選舉ヲ行ヒタル日選舉ノ數日ニ亘ル又ハ定期改選期日選舉ノ數日ニ亘ル
ヨリ起算シ曆ニ從フ但シ總選舉ノ場合ニ於テ一部ノ議員後レテ選舉セラレ又ハ定期改選
ノ場合ニ於テ一部若クハ全部ノ議員其ノ期日後ニ選舉セララルルコトアルモ先ニ總選舉ヲ
行ヒタル日又ハ定期改選期日ヨリ起算ス
退職ノ議員ハ再選セララルルコトヲ得
議員ニ關シテハ第二十三條第一項第三項第二十五條第二十六條ノ例ヲ適用ス

第三十四條 町村會議員中關員アルトキハ每三年定期改選ノ時ニ至リ同時ニ補闕選舉ヲ行
フヘシ若定員三分ノ一以上關員アルトキ又ハ町村長若クハ町村會ニ於テ臨時補闕ヲ必要
ト認ムルトキハ定期前下雖補闕選舉ヲ行フヘシ
補闕議員ハ前任者ノ殘任期間在職スルモノトス
定期改選及補闕選舉ハ前任者ノ選舉セラレタル選舉等級及選舉區ニ從テ之カ選舉ヲ行フ
ヘシ

第三十五條 町村長ハ選舉ヲ行フ毎ニ其ノ選舉前六十日ヲ期トシ其ノ日ノ現在ニ依リ選舉
人ノ資格ヲ記載セル選舉原簿ヲ調製シ此ノ原簿ニ依リ選舉人名簿ヲ調製スヘシ但シ選舉
區ヲ設クルトキハ每選舉區各別ニ原簿及名簿ヲ調製スヘシ
選舉人名簿ハ其ノ選舉前五十日ヲ期トシ其ノ日ヨリ七日間町村役場ニ於テ關係者ノ縦覽
ニ供スヘシ若關係者ニ於テ異議アルトキハ縦覽期限內ニ之ヲ町村長ニ申立ツルコトヲ得
此ノ場合ニ於テハ町村長ハ其ノ申立ヲ受ケタル日ヨリ七日以内ニ之ヲ決定スヘシ
前項町村長ノ決定ニ不服アル者ハ郡長ニ訴願シ其ノ郡長ノ裁決ニ不服アル者ハ北海道廳
長官ニ訴願シ其ノ北海道廳長官ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
本條ノ異議、訴願若クハ訴訟ノ爲ニ處分、決定若クハ裁決ノ執行ヲ停止セス
町村長ハ第二項異議ノ決定又ハ第三項訴願ノ裁決若クハ訴訟ノ判決ニ依リ名簿ノ修正ヲ
要スルトキハ選舉ノ日ヨリ五日以前ニ修正ヲ加ヘテ確定名簿ト爲シ之ニ登録セラレサル者
ハ何人モ下ニ選舉ヲ行フコトヲ得ス

本條ニ依リ確定シタル名簿ハ其ノ確定シタル日ヨリ一年以内ニ於テ選舉ヲ行フトキモ亦之ヲ適用ス但シ名簿確定後訴願ノ裁決若クハ訴訟ノ判決ニ依リ修正ヲ要スルトキハ選舉ノ日ヨリ五日前ニ修正スヘキモノトス

選舉人名簿ヲ修正シタルトキハ直ニ其ノ要領ヲ公告スヘシ

第三十六條 選舉ヲ行フトキハ町村長ハ選舉ノ日ヨリ少クトモ七日前ニ選舉ノ場所日時並ニ每選舉區及毎級ヨリ選舉スヘキ議員ノ員數ヲ公告スヘシ

各級ニ於テ選舉ヲ行フ順序ハ先ツ二級ノ選舉ヲ行ヒ次ニ一級ノ選舉ヲ行フヘシ

第三十七條 選舉掛ハ名譽職トシ町村長ニ於テ臨時ニ選舉人中ヨリ二名若クハ四名ヲ選任シ町村長若クハ其ノ代理者ハ掛長ト爲リ選舉會ヲ開閉シ會場ノ取締ニ任ス但シ選舉分會若クハ選舉區ヲ設クルトキハ各別ニ選舉掛ヲ設クヘシ

第三十八條 選舉開會中ハ選舉人ヲ除ク外選舉會場ニ入ルコトヲ得ス選舉人ハ選舉會場ニ於テ協議若クハ勸誘ヲ爲スコトヲ得ス

第三十九條 選舉ハ投票ヲ以テ之ヲ行フ投票ニハ被選舉人ノ氏名又ハ其ノ住所氏名ヲ記シ封緘ノ上選舉人自ラ之ヲ掛長ニ差出スヘシ但シ選舉人ノ氏名ハ投票ニ記入スルコトヲ得ス

町村住民ニ非スシテ第二十八條第二項ニ依リ選舉權ヲ有スル者ハ代人ヲ以テ選舉ヲ行フコトヲ得

代人ハ帝國臣民ニシテ公權ヲ有シ且公權停止中ニ非サル獨立ノ男子ニ限ル但シ一人ニシ

テ數人ノ代理ヲ爲スコトヲ得ス又代人ハ委任狀ヲ選舉掛ニ示スヘシ

選舉人投票ヲ差出ストキハ自己ノ氏名及住所ヲ掛長ニ申立テ掛長ハ選舉人名簿ニ照シテ之ヲ受ケ封緘ノ儘投票函ニ投入スヘシ但シ投票函ハ投票ヲ終ルマテ之ヲ開クコトヲ得ス

第四十條 單名投票ニシテ左ノ各號ニ該當スルモノハ之ヲ無効トス連名投票ニシテ第一號

第五號第六號ニ該當スルモノモ亦同シ又連名投票ニシテ第二號乃至第四號ニ該當スルモノハ其ノ部分ノミヲ無効トス

一 氏名ヲ記載セサルモノ

二 記載シタル氏名ノ讀ミ難キモノ

三 被選舉人ノ何人タルヲ確認シ難キモノ

四 被選舉權ナキ者ノ氏名ヲ記載シタルモノ

五 被選舉人ノ住所氏名ノ外他事ヲ記入シタルモノ但シ位階敬稱ノ類ヲ記入スルハ此ノ限ニ在ラス

六 投票用紙ヲ一定シタル場合ニ於テ其ノ用紙ヲ用非サルモノ

投票ニ記載ノ人員其ノ選舉スヘキ定數ヲ過クルトキハ末尾ニ記載シタルモノヲ順次ニ棄却スヘシ

投票ノ受理並効力ニ關スル事項ハ選舉掛之ヲ議決ス可否同數ナルトキハ掛長之ヲ決ス

第四十一條 町村會議員ノ選舉ハ有效投票ノ多數ヲ得タル者ヲ以テ當選トス投票ノ數相同キトキハ年長者ヲ取り同年ナルトキハ掛長自ラ抽籤シテ其ノ當選ヲ定ム

同時ニ補闕議員數名ヲ選舉スルトキハ投票數ノ多キ者ヲ以テ殘任期ノ長キ前任者ノ補闕
 下爲シ投票ノ數相同キトキハ掛長自ラ抽籤シテ其ノ順序ヲ定ム
 第四十二條 選舉掛ハ選舉錄ヲ製シテ選舉ノ顛末ヲ記錄シ選舉ヲ終リタル後之ヲ朗讀シ選
 舉人名簿其ノ他關係書類ヲ合綴シテ選舉掛ノ一名若クハ數名ト共ニ之ニ署名捺印シ少ク
 トモ六年間之ヲ保存スヘシ
 投票ハ選舉ヲ終リタル後之ヲ取纏封緘ノ上選舉掛長選舉掛ノ一名若クハ數名ト共ニ之
 ニ捺印シ少クトモ六年間之ヲ保存スヘシ

第四十三條 選舉ヲ終リタルトキハ選舉掛長ハ直ニ當選者ニ當選ノ旨ヲ告知スヘシ其ノ當
 選ヲ辭セシトスル者ハ當選ノ告知ヲ發シタル日ヨリ五日以内ニ之ヲ町村長ニ申立ツヘシ
 三人ニシテ數級若クハ數選舉區ノ選舉ニ當リタルトキハ當選ノ告知ヲ最終ニ發シタル日
 ヨリ五日以内ニ何レノ選舉ニ應スヘキコトヲ町村長ニ申立ツヘシ其ノ期限内ニ之ヲ申立
 サル者ハ總テ其ツ當選ヲ辭シタル者ト看做スヘシ
 定期改選ト補闕選舉トヲ同時ニ行ヒタル場合ニ於テ一人ニシテ其ノ兩選舉ニ當リタルト
 キモ亦前項ノ例ヲ適用ス
 本條ニ依リ當選ヲ辭シタル者アルトキハ更ニ選舉ヲ行フヘシ
 選舉ヲ終リ當選者定メタルトキハ町村長ハ直ニ其ノ住所氏名ヲ公告シ同時ニ選舉錄ノ
 寫ヲ添ヘ之ヲ郡長ニ報告スヘシ
 第四十四條 選舉人選舉ノ效力ニ關シ異議アルトキハ選舉ノ日ヨリ七日以内ニ郡長ニ訴願
 シ其ノ郡長ノ裁決ニ不服アル者ハ北海道廳長官ニ訴願シ其ノ北海道廳長官ノ裁決ニ不服
 アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
 郡長ニ於テ選舉ノ效力ニ關シ異議アルトキハ訴願ノ有無ニ拘ラス前條ノ報告ヲ受ケタル
 日ヨリ二十一日以内ニ選舉ヲ取消スヘシ
 前項郡長ノ處分ニ不服アル者ハ北海道廳長官ニ訴願シ其ノ北海道廳長官ノ裁決ニ不服ア
 ル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
 本條ノ訴願若クハ訴訟ノ爲ニ處分ノ執行ヲ停止セス

第四十五條 選舉ノ規程ニ違背スルコトアルトキハ其ノ選舉ヲ無効トシ又當選者中其ノ資
 格ノ要件有セサル者アルトキハ其ノ當選ヲ無効トスヘキモノトス但シ選舉ノ規程ニ違
 背スル所アルモ其ノ事ノ輕微ニシテ選舉ノ結果ニ異動ヲ生セサルモノハ此ノ限ニ在ラス
 第四十六條 選舉若クハ當選無効ト確定シタルトキハ更ニ選舉ヲ行フヘシ
 第四十七條 町村會議員中其ノ資格ヲ要件ナ有セサル者アルトキハ其ノ職ヲ失フモノトス
 町村長若クハ町村會ニ於テ前項ニ該當スル者アルコトヲ發見シタルトキハ郡長ニ申出ソ
 第一項資格要件ヲ有無郡長ニ於テ前項ノ申立ニ依リ又ハ其ノ職權ヲ以テ之ヲ決定ス
 前項郡長ノ決定ニ不服アル者ハ北海道廳長官ニ訴願シ其ノ北海道廳長官ノ裁決ニ不服ア
 ル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
 本條ノ場合ニ於テ資格要件ナ有セストスル決定ハ其ノ決定確定シ又ハ訴訟ノ判決アルマ

テ其ノ執行ヲ停止スル事ヲ裁可スルニシテ其ノ裁可ハ其ノ裁可官ニテ之ヲ裁可スルニテ又ハ裁可官ノ裁可ニテ之ヲ裁可スルコトヲ得

第四十八條 特別ノ事情アル場合ニ於テハ町村條例ヲ以テ選舉ニ關シ特例ヲ設クルコトヲ得

第一項 第二款ノ職務權限及處務規程

第四十九條 町村會ノ議決ヲ經ヘキ事件左ノ如シ

- 一 町村條例及町村規則ヲ設定スル事
 - 二 町村費ヲ以テ支辨スヘキ事業但シ國ノ行政事務ニ屬スルモノハ此ノ限ニ在ラス
 - 三 歳入出豫算ヲ定ムル事
 - 四 法律命令ニ定ムルモノヲ除ク外使用料加入金手数料町村税及夫役現品ノ賦課徵收ノ法律ヲ定ムル事
 - 五 町村有不動産ノ賣買交換讓受讓渡並賃入書入ヲ爲ス事
 - 六 基本財産及積立金穀等ノ處分ヲ爲ス事
 - 七 歳入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除ク外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ及權利ノ棄却ヲ爲ス事
 - 八 町村有財産及町村ノ營造物ノ管理方法ヲ定ムル事
 - 九 町村吏員ノ身元保證ヲ徵シ並其ノ額ヲ定ムル事
 - 十 町村ニ係ル訴訟及和解ニ關スル事
- 其ノ他町村會ノ職權ハ法律命令ヲ定ムル所ニ依ル
- 第五十條 町村會ハ町村ノ事務ニ關スル書類及計算書ヲ檢閲シ町村長ノ報告書ヲ請求シテ

事務ノ管理議決ノ施行並收入支出ノ正否ヲ檢査スルコトヲ得

町村會ハ前項ノ目的ヲ爲シ五名以下ノ委員ヲ議員中ヨリ選舉シ町村長若クハ其ノ指命シタル吏員立會ノ上關係書類並金庫ヲ檢閲セシムルコトヲ得

町村會ハ町村ノ公益ニ關スル事件ニ付意見書ヲ町村長若クハ監督官廳ニ差出スコトヲ得 町村會ハ町村長若クハ官廳ニ諮問セシムルコトヲ得

第五十一條 議員タル者ハ選舉人ノ指示若クハ委囑ヲ受クヘカラサルモノトス

第五十二條 町村會ハ町村長ヲ以テ議長トス 町村會ハ町村會議員中ヨリ議長代理者一名ヲ選舉スヘシ

議長代理者ハ町村會議員ノ定期改選期日ノ前日ニテ在職スルモノトス但シ議員ノ職ヲ退クトキハ其ノ職ヲ失フモノトス

第二項ノ選舉ハ總選舉ヲ行ヒタル場合ハ初會ニ於テ其ノ他ハ前任者退職當時ノ會議又ハ退職後ノ初會ニ於テ之ヲ行フ

第五十三條 議長故障アルトキハ其ノ代理者之ニ代リ議長及其ノ代理者共ニ故障アルトキハ町村會ハ年長ノ議員ヲ以テ假議長トスヘシ但シ臨時ニ假議長ヲ選舉スルモ妨ナシ

第五十四條 町村長及其ノ委任ヲ受ケタル吏員ハ何時ニテモ會議ニ出席シ及發言スルコトヲ得但シ議員ノ演說ヲ中止スルコトヲ得ス

前項ノ出席者ハ議員ノ職ニ在ル者ヲ除ク外議決ニ加ルルコトヲ得

第五十五條 町村會ハ會議ノ必要アル毎ニ町村長會期ヲ定メ之ヲ招集ス議員四分ノ一以

上ヨリ請求スル場合ニ於テ相當ノ理由アリテ認容セズモ亦同シ
召集並會議ノ事件ヲ告知スルハ急施ヲ要スル場合ヲ除ク外少クモ會議ノ三日前行ハ
シ召集ノ議員ノ出席キ中五スルコトヲ得ス

町村會ハ町村長之ヲ開閉スルハ町村長ノ命ニ依リテ之ヲ行フコトヲ得ス

第五十六條 町村會ハ議員定員ノ半数以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス但シ

同一ノ事件ニ付集會再回ニ至ルモ議員仍半数ニ滿タサルトキハ此ノ限ニ在ラス

第五十七條 町村會ノ議事ハ過半数ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ可否スル所ニ依

ル

第五十八條 議長及議員ハ自己若クハ其ノ父母妻子兄弟姉妹ノ一身上ニ關スル事件ニ就テ

ハ町村會ノ承諾ヲ得ズニ非サレハ其ノ議事ニ參與スルコトヲ得ス

前項除席ノ爲ニ議員ノ數減少シテ會議ヲ開ク定數ニ滿タサルトキモ仍會議ヲ開クコトヲ

得

第五十九條 町村會ノ會議ハ公開ス但シ議長ノ意見ヲ以テ傍聽ヲ禁スルコトヲ得又町村長

ヨリ要求アリタルトキハ傍聽ヲ禁スヘシ

第六十條 議長ハ會議ノ事ヲ總理シ會議ノ順序ヲ定メ其ノ日ハ會議ヲ開閉シ議場ノ秩序ヲ

保持ス

第六十一條 前會議及傍聽ノ紀律並取締ニ關スル規則ハ「拓殖務大臣」之ヲ定ム其ノ規則ニハ

之ニ違背シタル議員ニ對シ町村會ノ議決ニ依リ五日以内出席ヲ停止シ又ハ二圓以下ノ過

怠金ヲ科スル規程ヲ設ケルコトヲ得

第六十二條 前條ニ依リ「拓殖務大臣」ノ定ムル規則ノ外町村會ハ北海道廳長官ノ許可ヲ得

テ會議規則及傍聽規則ヲ設ケヘシ其ノ會議規則ニ違背シタル議員ニ對シ町村會ノ

議決ニ依リ五日以内出席ヲ停止シ又ハ二圓以下ノ過怠金ヲ科スル規程ヲ設ケルコトヲ得

町村會ニ於テ行フ選舉ノ方法ハ會議規則ニ之ヲ規定スヘキコトヲ得

第六十三條 町村會ノ書記ハ町村吏員ノ中ニ就キ町村長之ヲ命ス

書記ハ議長ニ隸屬シテ庶務ニ從事ス

議長ハ書記ヲシテ會議録ヲ製シテ會議ノ顛末並出席議員ノ氏名ヲ記録セシムヘシ

會議録ハ議長及議員三名以上之ニ署名捺印スヘキコトヲ得

議長ハ會議録ヲ添ヘ會議ノ結果ヲ町村長ニ報告スヘシ

第四章 町村ノ財務

第六十四條 町村ハ不動産積立金穀等ヲ以テ基本財産下爲シ之ヲ維持スル義務アリ

北海道廳長官ハ町村ノ經濟ノ狀況ニ依リ必要ト認ムルトキハ額ヲ定メテ基本財産ヲ蓄積

セシムルコトヲ得

臨時ニ收入シタル金穀等ハ基本財産ニ加入スヘシ但シ寄附金穀等寄附者別ニ其ノ使用ノ

目的ヲ定ムルモノハ此ノ限ニ在ラス

町村ハ町村規則ハ規程ニ依リ或ル事業ハ爲シ特別ノ基本財産若クハ積立金穀等ヲ設ケル

町村會ノ議決ヲ經テ前項收入ノ一部若クハ全部ヲ特別ノ基本財産若クハ積立金穀等ニ加入スルモトヲ得但シ寄附金穀等寄附者別ニ其ノ使用ノ目的ヲ定ムルモノハ此ノ限ニ在ラス

第六十五條 町村有財産ハ其ノ收益ヲ以テ町村ノ收入ト爲スカ爲ニ管理スルモノトス但シ町村ノ直接ノ公用若クハ町村住民ノ直接ノ共用ニ供シタル町村有財産ニシテ其ノ公用若クハ共用ニ妨アルホキ及特ニ民法上ノ權利ヲ有スル者アル場合ニ於テ其ノ權利ニ牴觸スルトキハ此ノ限ニ在ラス

第六十六條 町村有財産ヲ町村住民ノ全部若クハ一部ノ直接ノ共用ニ供スルニハ町村規則ノ規程ニ依ルヘシ

前項ノ規則ニハ使用料ノ外場合ニ依リ加入金徴收ノ規程ヲ設クルコトヲ得

第六十七條 町村有財産ノ賣却貸與又ハ町村ノ工事及物件調達ノ請負ハ公ノ入札ニ付スヘシ但シ臨時急施ヲ要スルトキ又ハ入札ノ價額其ノ費用ニ比シテ得失相償ハサルトキ又ハ町村會ノ承諾ヲ得ルトキハ此ノ限ニ在ラス

第六十八條 町村ハ北海道廳長官ノ許可ヲ得テ國區町村其ノ他公共團體若クハ一個人ノ事業ニ對シ寄附若クハ補助ヲ爲スコトヲ得

第六十九條 町村ハ國庫ヨリ支給スルモノヲ除ク外其ノ必要ナル支出及法律命令ニ依リ賦課セラルル支出ニ負擔スル義務アリ

町村ハ町村有財産ヨリ生スル收入使用料手数料過怠金其ノ他法律命令ニ依リ町村ニ屬スル收入ヲ以テ前項ノ支出ニ充テ仍不足アルトキハ町村税及夫役現品ヲ賦課徴收スルコトヲ得

第七十條 町村ハ町村有財産若クハ町村ノ營造物以使用ニ付又ハ特ニ一個人ノ爲ニスル事務ニ付使用料又ハ手数料ヲ徴收スルコトヲ得

第七十一條 町村税ハ町村會ノ議決ニ依リ町村會ノ規則ニ據リて賦課スルコトヲ得

一 國稅ノ附加稅

二 直接若クハ間接ノ特別稅

附加稅ハ直接ノ國稅ニ附加シ均一ノ稅率ヲ以テ町村ノ全部ニ賦課スルヲ常例トス

特別稅ハ別ニ町村限外稅目ヲ設ケ課稅スルコトヲ要スルトキ賦課スルモノトス

第七十二條 此ノ勅令中別ニ規程アルモノヲ除ク外特別稅ニ關スル細則ハ町村條例又使用料手数料ニ關スル細則ハ町村規則ヲ以テ之ヲ規定ス

第七十三條 町村住民ニ非ズト雖三箇月以上町村内ニ住居ヲ構ヘ若クハ滞在スル者ハ其ノ住居ヲ構ヘタル初若クハ滞在ノ初ニ週リ町村税ヲ納ムル義務アルモノトス

町村住民ニ非ズ又三箇月以上町村内ニ住居ヲ構ヘ若クハ滞在スルコトナキ者ト雖町村内ニ於テ土地家屋ヲ所有シ若クハ使用シ又ハ町村内ニ於テ營業所ヲ定メテ營業ヲ爲シ又ハ町村内ニ於テ或ル行爲ヲ爲ス者ハ土地家屋營業若クハ其ノ所得ニ對シ又ハ行爲ニ對シテ賦課スル町村税ヲ納ムル義務アルモノトス其ノ法人タルトキモ亦同シ但シ官業ハ此ノ限

第七十四條 所得稅ノ附加稅ヲ賦課シ及町村ニ於テ特別ニ所得稅ヲ賦課スルトキハ納稅義務者ノ町村外ニ於テ所有シ若クハ使用スル土地家屋又ハ町村外ニ於テ營業所ヲ定メタル營業ヨリ收入スル所得之ヲ控除スルモトス

數市區町村ニ住居ヲ構ヘ若クハ滞在スル者ニ前項ノ町村稅ヲ賦課スルトキハ其ノ所得ヲ各市區町村ニ平分シ其ノ一部分ニシテ課稅スルモ但シ土地家屋又ハ營業所ヲ定メタル營業ヨリ收入スル所得ハ此ノ限ニ在ラス

第七十五條 所得稅法第三條ニ掲グル所得ニ對シテハ町村稅ヲ賦課スルコトヲ得ス

國區町村其ノ他公共團體ヲ直接以公用ニ供スル土地家屋營造物ニ對シテハ國區町村其ノ他公共團體ニ町村稅ヲ賦課スルコトヲ得ス

社寺ノ用ニ供シ又ハ官立公立ノ學校病院ノ用ニ供シ又ハ官其ノ他公共ノ施設ニ係リ學藝美術慈善ノ用ニ供スル土地家屋營造物ニ對シテハ社寺又ハ國區町村其ノ他公共團體ニ町村稅ヲ賦課スルコトヲ得ス

國有ノ山林若クハ荒蕪地ニ對シテハ國ニ町村稅ヲ賦課スルコトヲ得ス

屯田兵土地給與規則及屯田兵移住給與規則ニ依リ給與シタル公有ノ財産ニ對シテハ第一百十一條ニ掲グル期間中ハ町村稅ヲ賦課スルコトヲ得ス

本條ノ外町村稅ヲ賦課スルコトヲ得ル若シテ別段以法律勅令ニ定ムル所ニ從フ

皇族ニ係ル町村稅ノ賦課ハ追テ法律勅令ヲ以テ定ムルマテ現今ノ例ニ依ル

第七十六條 町村有財産ハ町村民ノ一部ヲ直接以て供シタル場合ニ於テハ其ノ使用

權ヲ有スル者ヲシテ使用ノ多寡ニ準シテ其ノ財産ニ係ル必要ナル費用ヲ負擔セシムルコトヲ得

第七十七條 町村民ノ一部ノミテ利スル營造物ノ建設維持ノ費用ハ其ノ關係者ニ負擔セシムルコトヲ得

町村ノ一部ニテ利スル營造物以建設維持ノ費用ハ其ノ一部ニ住居ヲ構ヘ若クハ滞在シ又ハ其ノ一部ニ於テ土地家屋ヲ所有シ若クハ使用シ又ハ其ノ一部ニ於テ營業所ヲ定メタル營業ヲ爲シ又ハ其ノ一部ニ於テ或ル行爲ヲ爲スニ依リ町村稅ヲ納ムル義務アル者ニ負擔セシムルコトヲ得但シ其ノ一部ノ收入アル下ニ先シテ其ノ費用ニ充ツヘシ

第七十八條 地租ノ附加稅ハ其ノ納期ヲ定メ納期場合同ハ其ノ日ニ於ケル土地臺帳ノ記名者ヨリ徵收スルモトス但シ賃入ノ土地ニ對シテハ賃取主ヨリ徵收スルモノトス

地租ノ附加稅ハ免租地若クハ無租地ノ有租地ト爲リタルトキハ其ノ翌月ヨリ、有租地ノ免租地若クハ無租地ト爲リタルトキハ其ノ前月マテ又地租目ノ變換等ニ依リ地租ニ異動ヲ生シタルトキハ其ノ月ヨリ月割ヲ以テ徵收スルモノトス

所得稅ノ附加稅ハ本稅ノ納期ニ於テ本稅ヲ納ムル義務アル者ヨリ徵收スルモノトス

本條ニ規定スルモノヲ除ク外附加稅徵收ノ方法ハ町村規則ヲ以テ之ヲ規定スヘシ

第七十九條 町村ハ其ノ必要ニ依リ夫役現品ヲ以テ納稅義務者ニ賦課スルコトヲ得但シ學藝美術手工ニ關スル勞役ヲ賦課スルコトヲ得

夫役現品ハ急迫シ場合外直接町村税ヲ準率ト爲シ且之ヲ金額ニ算出シテ賦課スヘ
 夫役ヲ賦課セラシメル者ハ其ノ便宜ニ從ヒ本人自ラ之ニ當リ又ハ適當ノ代人ヲ出スコト
 ヲ得又夫役現品ハ急迫シ場合ヲ除ク外金圓ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得
 第八十條ノ町村ニ於テ徵收反財使用料加入金手数料町村税夫役現品ニ代フル金圓其ノ他町
 村ノ公法上ノ收夫ヲ定期内ニ納ムル者アルキハ町村長ハ國稅ノ滞納處分ニ關スル規
 程ニ依亦之ヲ處分スル其ノ督促及手数料ニ關シテハ町村規則ヲ以テ別段ノ規程ヲ設ク
 カコトヲ得
 納稅義務者中無資力ナル者アルキハ町村長ハ意見ヲ以テ會計年度内ニ限リ納稅延期ヲ
 許スコトヲ得其ノ年度ヲ超ユル場合ニ於テハ町村會ノ議決ニ依ル
 本條ニ記載スル徵收金ノ追徵還付期滿免除及先取特權ニ就テハ國稅ニ關スル一般ノ例ヲ
 適用スルニ又ハ其ノ内ニ規定スル者ニ從フ
 第八十條町村税ヲ賦課ヲ受ケタル者若シテ其ノ課目課額ニ錯誤アリト認ムルコトキハ納
 稅告知書受ケタル日ヨリ三箇月以内町村長ハ異議ヲ申立ツルコトヲ得
 町村有財産若シハ町村ノ營造物ヲ使用スル權利ニ關シ異議アル者ハ之ヲ町村長ニ申立ツ
 本條以異議ハ町村長之ヲ決定ス其ノ町村長ノ決定ニ不服アル者ハ郡長ニ訴願シ其ノ郡長
 以裁決ニ不服アル者ハ北海道廳長官ニ訴願シ其ノ北海道廳長官ノ裁決ニ不服アル者ハ行
 政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

本條以異議訴願若シハ訴訟ヲ爲シ處分ヲ執行ヲ停止セズ
 第八十三條 町村ハ其ノ負債ヲ償還スル爲メ又ハ天災事變等已メテ得サル支出若クハ町村ノ
 永久ノ利益ト爲ルヘキ支出ヲ要スルニ方リ通常ノ歳入ヲ増加スルトキハ町村住民ノ負擔
 ニ堪ヘサル場合ニ限リ町村債ヲ起スニキテ得
 町村債ヲ起スニ付町村會ノ議決ヲ經ルトキハ併セテ借入ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法
 三付議決ヲ經ヘキ且シ亦其ノ變更ヲ要スルトキ又ハ此ノ勅令ヲ行フ前ニ起シタル負債
 ニ關シ變更ヲ要スルトキモ亦同シ
 町村債償還ノ初期ハ起債ノ時ヨリ三年以内ト爲シ年年以償還歩合ヲ定メ起債ノ時ヨリ三
 十年以内ニ還了スルヲ以テ常例トス
 町村債ノ總額ハ毎年ノ利子額其ノ町村經常支出既往三年
 平均額ノ三分
 一ヲ超過セサルヲ限度トス
 町村ハ債券ヲ發行スルコトヲ得
 豫算内ノ支出ヲ爲スニ付必要ナル一時ノ借入金ハ本條ノ例ニ依ラス其ノ年度ノ收入ヲ以
 テ償還スヘキモノトス但シ此ノ場合ニ於テハ町村會ノ議決ヲ經ヘシ
 第二款 町村ノ歳入出豫算及決算
 第八十三條 町村長ハ每會計年度收入支出ノ豫知シ得ヘキ金額ヲ見積リ歳入出豫算ヲ調製
 シ少クトモ年度二箇月前ニ町村會ノ議決ヲ經ヘシ但シ町村ノ會計年度ハ政府ノ會計年度

三同シキ事出ニ付其間ニ同村會ノ議決ヲ經テ豫算ヲ町村會ニ提出スル事ハ町村長ハ併シ町村事務報告書及財産明細表ヲ提出スヘシ

第八十四條 町村長ハ必要ノ場合ニ於テハ町村會ヲ議決ヲ經テ既定豫算ノ追加若クハ更正ヲ爲シヨリ得ル事ニ付町村會ハ其ノ追加ノ額ハ其ノ追加ノ額ノ額ニ充ツル爲ニ豫備費ヲ設クヘシ但シ町村會ノ否決シタル費目ニ充ツルコトヲ得ス

第八十五條 豫算外ノ支出若クハ豫算超過ノ支出ニ充ツル爲ニ豫備費ヲ設クヘシ但シ町村會ヲ否決シタル費目ニ充ツルコトヲ得ス
豫備費ノ支出ハ後日町村會ヲ認定テ求ムルコトヲ要ス
町村會ハ費用ヲ以テ支辨スル事業ニシテ數年ヲ期シ施行スヘキモノ又ハ數年ヲ期シテ其ノ費用ヲ支出スルモノハ町村會ヲ議決ヲ經テ其ノ年各年度ノ支出額ヲ定メ繼續費ヲ爲ス事ヲ得ルコトヲ要ス

町村ハ町村規則ヲ以テ特別會計ヲ設クテ之ヲ得ル事ヲ得ルニ付其ノ豫算調製ノ式並費目流用ニ關スル規程ハ拓殖務大臣ハ許可ヲ得テ北海道廳長官之ヲ定ム
豫算ハ町村會ヲ議決ヲ經テ其後直ニ之ヲ郡長ニ報告シ並地方所定ノ公告式ニ依リ其ノ要領ヲ公告スル事ヲ得ルコトヲ要ス
第八十六條 豫算ノ議決ヲ經テ其後直ニ町村長其ノ其ノ騰本ヲ收入役ニ交付スヘシ其ノ豫算中監督官廳ヲ許可ヲ受クヘキ事項タル者ハ先ヅ其ノ許可ヲ受クヘシ
收入役ハ町村長ヲ命令アルニ非サレハ支拂ヲ爲スコトヲ得ス町村長ノ命令ヲ受クルモ其

ハ支出豫算中豫定ヲキカ又ハ其ノ命令前條第一項ノ規程ニ依ラサルトキハ支拂ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規程ヲ背キタル支拂ハ總テ收入役之責任ニ歸スル事ヲ得
第八十七條 町村ハ出納ノ毎月例日ヲ定メテ検査ヲ行ヒ又毎年少クとも一回臨時検査ヲ行フ事ヲ得
検査ハ町村長若クハ其ノ代理人之ヲ行ヒ臨時検査ハ町村會ノ選舉シタル議員一名以上ノ立會ヲ要ス

第八十八條 町村ノ出納閉鎖ハ翌年度六月三十日ヲ以テ期限トス
決算ハ出納閉鎖期限後一箇月以内ニ證書類ヲ併セテ收入役ヨリ之ヲ町村長ニ提出スヘシ町村長ハ之ヲ審査シ意見ヲ附シ次ニ通常豫算會議ニ於テ之ヲ町村會ニ報告スヘシ
町村長ハ決算報告書及之ニ關スル町村會ヲ議決ヲ郡長ニ報告シ並地方所定ノ公告式ニ依リ決算ヲ要領ヲ公告スル事ヲ得

第五章 町村内一部ノ行政
第八十九條 町村内ノ一部ニシテ所有財産若クハ營造物ニ就キ其ノ部限リ特ニ其ノ費用ヲ負擔スルトキハ北海道廳長官ハ町村會ノ意見ヲ聞キ「拓殖務大臣」ノ許可ヲ得テ財産營造物ニ關スル事務ヲ爲部會ヲ設クルコトヲ得

前項部會ノ組織選舉職務權限處務規程等ハ「拓殖務大臣」ノ許可ヲ得テ北海道廳長官之ヲ定ム

第九十條 前條ニ記載スル事務ニ就キ此ノ勅令ノ規程ニ依リ難キ事項其ノ他部ニ關シ特ニ必要ナル事項ハ「拓殖務大臣」ノ許可ヲ得テ北海道廳長官之ヲ定ムル事ニ依リテ之ヲ行フ

第六節 町村組合
第九十一條 郡長ハ公益上必要ト認ムル場合ニ於テハ數町村ノ事務ヲ共同處理セシムル爲北海道廳長官ノ許可ヲ得テ町村組合ヲ設テルコトヲ得ルニシテ其ノ組織及事務ハ該組合ノ規程ニ依リテ之ヲ定ムル事ニ依リテ之ヲ行フ

第九十二條 町村組合ニ就テハ町村ニ關スル規程ヲ準用ス其ノ準用ニ難キ事項其ノ他町村組合ニ關シ特ニ必要ナル事項ハ前條ノ組合規程ニ之ヲ規定スヘシ

第九十三條 町村組合ハ郡長ニ於テ北海道廳長官ノ許可ヲ得ルニ非サレハ之ヲ解除スルコトヲ得ズ

第九十四條 一級町村ト二級町村トノ組合ニ關シテモ亦本章ノ例ヲ適用ス

第七章 町村行政ノ監督
第九十五條 町村行政ハ第一次ニ於テ郡長之ヲ監督シ第二次ニ於テ北海道廳長官之ヲ監督シ第三次ニ於テ「拓殖務大臣」之ヲ監督ス

第九十六條 此ノ勅令ニ規定スル異議ヲ訴願若クハ訴訟ニ付シテ爲シ又ハ決定書若クハ裁決書ヲ交付シタル日ヨリ二十一日以内ニ提起スヘシ但シ此ノ勅令中別ニ期限ヲ定メタルモノハ此ノ限ニ在ラズ

第九十七條 監督官廳ハ町村行政ノ法律命令ニ背反セサルヤ其ノ事務錯亂滯滞セサルヤ否ヲ監視スヘシ監督官廳ハ之ヲ爲シ行政事務ニ關シテ報告ヲ爲サシメ豫算決算等ノ書類帳簿ヲ徴シ並實地ニ就テ事務ヲ視察シ出納ヲ檢閲スル權ヲ有ス

第九十八條 郡長ハ町村ノ豫算中不適當ノ支出ト認ムルモノアルトキハ之ヲ削減スルコトヲ得其ノ支出ヲ削減シタル場合ニ於テハ之ニ相當スル收入ヲ削減スヘシ

第九十九條 町村會ハ解散ハ「拓殖務大臣」之ヲ命ス此ノ場合ニ於テハ三箇月以内ニ議員ヲ選舉スヘシ

第一百條 町村條例ヲ設定ハ「拓殖務大臣」ノ許可ヲ受ケルコトヲ要ス
第一百一條 左ニ掲グル事件ハ「拓殖務大臣」及大藏大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス
一 町村債ヲ起シ並借入方法利息以定率及償還方法ヲ定メ若クハ變更スル事
二 但シ第八十二條末項ノ借入金ハ此ノ限ニ在ラス

- 二 特別税夫新設若クハ變更スル事ノ期ニ付...
 - 三 直接國税二分ノ額又超過スル附加税ヲ賦課スル事...
 - 四 一 間接國税附加税ヲ賦課スル事...
 - 五 國庫ニ對シテ直接ニ交付スル補助金ニ對シテ支出金額ヲ定メ若クハ變更スル事
- 第百三條 十左ノ掲ケル事件ヲ北海道廳長官ノ許可ヲ受テルコトヲ要ス
- 一 農林町村規則ヲ設定スル事

- 二 使用料手数料ヲ新設シ若クハ變更スル事...
- 三 道廳ニ對シテ交付スル補助金ニ對シテ支出金額ヲ定メ若クハ變更スル事
- 四 學藝美術ニ關シテ又ハ歴史上貴重ナル物件ノ賣却交換讓渡質入書入若クハ大ナル變更...
- 五 各種ノ保證附與スル事...
- 六 繼續費決定メ若クハ變更スル事...
- 七 均一ノ税率ヲ依ラスシテ國税ノ附加税ヲ賦課スル事
- 八 第七十六條第拾七條ニ依リ町村住民ノ一部若クハ町村内ノ一部ニ費用ヲ負擔セシ...
- 九 左ノ掲ケル事件ニ郡長ノ許可ヲ受テルコトヲ要ス...
- 一 農林町村有不動產ノ賣却交換讓渡並質入書入若クハ大ナル變更...
- 二 基本財産及積立金穀等ノ處分ヲ爲ス事...

三 第七十九條ノ準率ニ依ラスシテ夫役現品ヲ賦課スル事

第百四條 北海道廳長官郡長ハ町村長書記部長委員其ノ他町村吏員ニ對シ懲戒處分ヲ行フ其ノ北海道廳長官以懲戒處分ヲ罰責二十五圓以下ノ過怠金及解職トシ郡長ノ懲戒處分ハ罰責及十圓以下ノ過怠金トス

前項解職ノ處分ハ職務ニ違背シ若クハ職務ヲ曠廢スル者又ハ行狀ヲ亂リ廉恥ヲ失フ者ニ對シ之ヲ行フ事ヲ得ル

隨時解職スル事ヲ得サル吏員ニシテ本條解職ノ處分ニ不服アル者ハ「拓殖務大臣」ニ訴願スル事ヲ得其ノ訴願以爲ニ處分ノ執行ヲ停止セス

第八章 附則

第百五條 此以勅令施行ノ時期ハ「拓殖務大臣」之ヲ定ム

第百六條 此以勅令ヲ施行スル場合ニ於テ初メテ一級町村ト爲ス地ハ「拓殖務大臣」之ヲ指定スル事ヲ得

第百七條 此ノ勅令ニ依リ初メテ議員ヲ選舉スルニ付町村會ノ職務ハ町村長之ヲ行フヘシ

第百八條 此ノ勅令ヲ施行スル島嶼其ノ他特別ノ事情アル地ニ就テハ其ノ町村吏員監督官廳ノ職務權限等ニ關シ「拓殖務大臣」ニ於テ特別ノ規程ヲ設ケル事ヲ得

第百九條 此ノ勅令ニ記載セル人口ハ最終ノ人口調査ニ依ル但シ現役軍人ヲ除ク

第百十條 現役及豫備役以屯田兵村ニハ此以勅令ヲ施行セズ

第百十一條 屯田兵土地給與規則及屯田兵移住給與規則ニ依リ給與シタル公有ノ財産ニ關

シテハ屯田兵服役期限内及其以滿期別年三十箇年間ハ此ノ勅令ニ適用スルノ根拠ニ關
第百十二條 此ノ勅令ニ於テ直接稅若クハ間接稅トシテノ種類別ハ「拓殖務大臣」及大藏大臣
之ヲ告示スルノ勅令ニ依リテ之ヲ入目ハ登錄スルノ手續ニ關シテハ其ノ詳細ハ其ノ勅令ニ
第百十三條 此ノ附則ニ規定スルモノヲ除外此ノ勅令施行ニ付必要ナル事項ハ「拓殖務大
臣」之ヲ決定スルノ勅令ニ依リテ之ヲ公布シ之ヲ施行スルノ手續ニ關シテハ其ノ詳細ハ其ノ勅令ニ

○北海道二級町村制 明治三十年五月
勅令第六十號
朕北海道二級町村制ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布シ之ヲ施行スルノ手續ニ關シテハ其ノ詳細ハ其ノ勅令ニ
北海道三級町村制ニ關シテハ其ノ詳細ハ其ノ勅令ニ

第一章 總則 條則
第百十四條 町村及其ノ區域ニ關シテハ其ノ詳細ハ其ノ勅令ニ

第百十五條 町村住民及其ノ權利義務ニ關シテハ其ノ詳細ハ其ノ勅令ニ

第百十六條 町村條例及町村規則ニ關シテハ其ノ詳細ハ其ノ勅令ニ

第百十七條 町村行政ニ關シテハ其ノ詳細ハ其ノ勅令ニ

第百十八條 町村吏員ノ組織及任用ニ關シテハ其ノ詳細ハ其ノ勅令ニ

第百十九條 町村吏員ノ職務權限ニ關シテハ其ノ詳細ハ其ノ勅令ニ

第百二十條 町村吏員ノ給料及給與費額ニ關シテハ其ノ詳細ハ其ノ勅令ニ

第百二十一條 町村會ノ組織及行政ニ關シテハ其ノ詳細ハ其ノ勅令ニ

第百二十二條 町村會ノ職務權限ニ關シテハ其ノ詳細ハ其ノ勅令ニ

第百二十三條 町村會ノ給料及給與費額ニ關シテハ其ノ詳細ハ其ノ勅令ニ

第一款 組織及選舉

第二款 職務權限及處務規程

第四章 町村ノ財務

第一款 町村有財產及町村稅

第二款 町村ノ歲入出豫算及決算

第五章 町村内一部ノ行政

第六章 町村組合

第七章 町村行政ノ監督

第八章 附則

北海道二級町村制ニ關シテハ其ノ詳細ハ其ノ勅令ニ

第一章 總則

第一款 町村及其ノ區域

第二條 町村ハ法人トシテ法律命令ヲ以テ定メタル範圍内ニ於テハ公共事務並從來法律命令
若クハ慣例ニ依リ又ハ將來法律命令ニ依リ町村ニ屬スル事務ハ官ノ監督ヲ受ケテ之ヲ處
理スルモノトス

第三條 二級町村制第三條ハ三級町村ニ關シテ之ヲ適用ス

第二款 町村住民及其ノ權利義務

第四條 町村内ニ住居ヲ設ケ居ル者ニ總テ町村住民トス

○町村住民ニ屬スル者此ノ勅令ニ從テ町村有財產並町村ノ營造物ヲ共用スル權利ヲ有シ及町村ノ負擔ヲ分任スル義務ヲ有スルモノトス但シ特ニ民法上ノ權利義務ヲ有スル者アルトモハ此ノ限ニ在ラズハ他ノ法律ニ依リテ之ヲ得ル者ハ亦同シ

第五條 帝國臣民ニシテ公權ヲ有スル獨立ノ男子三年以來(一)町村ノ住民ト爲リ(二)町村ニ負擔ヲ分任シ及(三)町村内ニ於テ地租年額三十錢以上ヲ納メ若クハ直接國稅年額一圓五十錢以上ヲ納メ若クハ耕地宅地三町歩以上ヲ所有シ若クハ各納稅人ノ直接町村稅平均納額以上ヲ直接町村稅ヲ納ムル者ハ町村公民トス但シ公費ヲ以テ貧民救助ヲ受ケタル後三年ヲ經サズ者ハ此ノ限ニ在ラス

前項三年ヲ制限ハ場合ニ依リ町村會ノ議決ヲ經テ郡長ノ許可ヲ受ケ之ヲ特免スルコトヲ得

此ノ勅令ニ於テ獨立ト稱スルハ滿二十五歳以上ニシテ一戸ヲ構ヘ且治産ノ禁ヲ受ケサルモノヲ云フ

町村ノ負擔ヲ分任セシムルコトニ於テハ第一項(二)ノ要件ヲ缺クト雖其ノ他ノ要件ヲ具備スル者ハ町村公民トス

町村公民ニシテ相當ノ理由ナクシテ名譽職ヲ拒辭シ又ハ任期中退職シ又ハ無任期ノ職務ヲ少クモ三年間擔當スル又其ノ職務ヲ實際ニ執行セサル者ニ對スル處分ノ規則ハ拓殖務大臣之規定ニ依リ規則ニハ町村會ノ議決ニ依リ六年以内町村公民タル權ヲ停止シ場

合ニ依リ同年期間他ノ住民ノ負擔スヘキ町村稅ノ率ニ比シ四分ノ一以下ヲ增加スル規程ヲ設ケルコトヲ得

第六條 町村公民ニ屬スル者前條ニ掲載スル要件ノ一ヲ失フトキハ公民タル權ヲ失フモノトス

町村公民タル者公權停止中若クハ租稅滯納處分中ハ公民タル權ヲ停止ス家資分散若クハ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキハ復權ノ決定アルマテ又公權剝奪若クハ停止ヲ附加スヘキ重罪輕罪ノ爲公判ニ付セラレタルトキハ其ノ裁判ノ確定ニ至ルマテ亦同シ

陸海軍ノ現役ニ服スル者ハ町村ノ公務ニ參與セザルモノトス現役以外ノ兵役ニ在ル者ニシテ戰時若クハ事變ニ際シ召集セラレタルトキモ亦同シ

第七款 町村條例及町村規則

第七條 町村ハ町村住民ノ權利義務及町村ノ事務ニ關シ此ノ勅令中明文ナク又ハ條例ヲ以テ特例ヲ設ケルコトヲ許シ若クハ規定スルコトヲ要スル事項ニ就テハ條例ヲ設ケルコトヲ得

町村ハ町村有財產及町村ノ營造物ニ關スル事項其ノ他此ノ勅令中規則ヲ以テ特例ヲ設ケルコトヲ許シ若クハ規定スルコトヲ要スル事項ニ就テハ規則ヲ設ケルコトヲ得

町村條例及町村規則ハ法律命令ニ抵觸スルコトヲ得不得

第三章 町村行政

第一款 町村吏員ノ組織及任用

第八條 町村ニ町村長書記其ノ他必要ノ附屬員ヲ置キ有給吏員トス

町村長ハ每町村若クハ町村組合ニ一名トシ書記ノ定員ハ北海道廳長官之ヲ定ム

町村長ハ北海道廳長官之ヲ任免シ書記ハ郡長之ヲ任免シ其ノ他ノ附屬員ハ町村長之ヲ任免ス

第九條 町村ハ處務便宜ノ爲町村規則ヲ以テ町村ノ區域ヲ數部ニ分チ每部部長及其ノ代理者各一名ヲ置クコトヲ得

部長及其ノ代理者ハ名譽職トス

部長及其ノ代理者ハ選舉權ヲ有スル町村公民ノ中ニ就キ町村長之ヲ任免ス

第十條 町村ハ町村規則ヲ以テ臨時若クハ常設ノ委員ヲ置クコトヲ得

委員ハ名譽職トス

委員ハ町村會議員若クハ町村公民中選舉權ヲ有スル者ヲ以テ之ニ充テ又ハ町村議員及町村公民中選舉權ヲ有スル者ヲ以テ之ニ充テ其ノ合議體ニ組織シタル場合ニ於テハ町村長若クハ其ノ委任ヲ受ケタル書記ヲ以テ委員長トス

委員ハ郡長之ヲ任免ス
委員ノ組織等ニ關スル事項ハ第一項ノ規則ニ之ヲ規定スヘシ

第二款 町村吏員ノ職務權限

第十一條 町村長ハ町村ヲ統轄シ其ノ行政事務ヲ擔任ス

町村長ノ擔任スル事務ノ概目左ノ如シ

一 町村會ノ議事ヲ準備シ並其ノ議決ヲ承認シ及執行スル事

二 町村有財産及町村ノ營造物ヲ管理スル事但シ特ニ之カ管理者アルトキハ其ノ事務ヲ監督スル事

三 町村ノ權利ヲ保護スル事

四 町村ノ歲入ヲ管理シ町村ノ收入ヲ受領シ其ノ費用ヲ支拂キ爲シ其ノ他會計事務ヲ處理スル事

五 町村吏員ヲ監督シ書記委員ヲ除ク外其ノ他ニ對シ懲戒處分ヲ行フ事其ノ懲戒處分ハ罰金及五圓以下ノ過怠金トス

六 町村ノ諸證書及公文書類ヲ保管スル事

七 外部ニ對シテ町村ヲ代表シ及町村ノ名義ヲ以テ他廳若クハ一個人ト交渉スル事

八 法律命令若クハ町村會ノ議決ニ依リ使用料加入金手数料町村稅及夫役現品ヲ賦課徵收スル事

九 町村條例及町村規則ヲ設定スル事

十 町村營造物ノ管理方法ヲ定ムル事

十一 其他法律命令若クハ上司ノ指令ニ依テ町村長ニ委任シタル事務ヲ處理スル事

第十二條 町村長ハ法律命令ニ從ヒ左ノ事務ヲ管掌ス

一 司法警察官ノ職務ニ關シテハ法律ニ依リテ之ヲ定ムルコトヲ得

二 浦役場ノ事務ニ關シテハ法律ニ依リテ之ヲ定ムルコトヲ得

三 國ノ行政ニシテ町村ニ屬スル事務但シ別ニ吏員ノ設アルトキハ此ノ限ニ在ラス
前項ノ事務ヲ執行スルカ爲ニ要スル費用ハ町村ノ負擔トス

第十三條 町村長若クハ監督官廳ニ於テ町村會ノ議決其ノ權限ヲ越エ又ハ法律命令ニ背キ又ハ公益ニ害アリト認ムルトキ又ハ町村會ニ於テ必要ノ收支ニ關シテ否決シタルトキ又ハ町村長若クハ監督官廳ニ於テ町村會ノ議決必要ノ收支ニ關シテ不當ノ削減ヲ爲スト認ムルトキハ町村長ハ自己ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指令ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付シ仍其ノ議決ヲ改メサルトキハ郡長ニ申立テ指揮ヲ請フヘシ但シ場合ニ依リ再議ニ付セステ直ニ郡長ノ指揮ヲ請フコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ郡長ハ北海道廳長官ノ認許ヲ得テ指揮スヘキモノトス

第十四條 町村會招集ニ應ゼス若クハ成立セサルトキハ町村長ハ郡長ニ申立テ指揮ヲ請ヒ其ノ議決スヘキ事件ヲ處分スルコトヲ得

町村會ニ於テ其ノ議決スヘキ事件ヲ議決セス若クハ議了セサルトキハ前項ノ例ニ依リ第一項ノ處分ハ次回ノ會議ニ於テ之ヲ町村會ニ報告スヘシ

第十五條 第五十二條但書若クハ第五十四條第三項ノ場合ニ於テ全ク會議ヲ開クコト能ハサルトキハ前條ノ例ニ依リ之ヲ行フ

第十六條 書記ハ町村長ノ命令ヲ承ケ國ノ行政及町村ノ行政ニ係ル庶務ニ從事ス

町村長故障アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス

町村長ハ書記ヲシテ國ノ行政若クハ町村ノ行政事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコトヲ得

第十七條 部長及其ノ代理者ハ町村長ノ命令ヲ承ケ部内ニ關スル國ノ行政及町村ノ行政ニ付町村長ノ事務ヲ補助執行ス

第十八條 委員ハ町村長ノ監督ニ屬シ町村有財産若クハ町村ノ營造物ヲ管理シ其ノ他町村行政事務ノ一部ヲ分掌シ又ハ一時ノ委託ニ依リ事務ヲ處辨ス

委員ノ職務權限ニ關スル細則ハ町村規則ヲ以テ之ヲ規定スヘシ

第十九條 町村役場及町村吏員ノ處務規程ハ北海道廳長官ノ許可ヲ得テ郡長之ヲ定ム

町村吏員ノ服務紀律ハ北海道廳長官之ヲ定ム

第三款 給料及給與

第二十條 名譽職吏員ハ職務取扱ノ爲ニ要スル實費ノ辨償ヲ受クルコトヲ得

部長及其ノ代理者並委員ニハ實費辨償ノ外町村會ノ議決ヲ經テ勤務ニ相當スル報酬ヲ給スルコトヲ得

實費辨償額報酬額及其ノ支給方法ハ町村會ノ議決ヲ經テ郡長ノ許可ヲ受クヘシ

第二十一條 町村長及書記ノ給料額旅費額及其ノ支給方法ハ北海道廳長官之ヲ定メ其ノ他有給吏員ノ給料額旅費額及其ノ支給方法ハ町村規則ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第二十二條 給料旅費報酬辨償等ハ町村ノ負擔トス但シ町村長ノ給料及旅費ハ國庫ヨリ支給ス

第三章 町村會

第二十三條 町村會議員ハ町村ノ選舉人其ノ被選舉權アル者ヨリ之ヲ選舉ス其ノ定員左ノ如シ

一人口千五百未滿ノ町村ニ於テハ 議員八人

一人口千五百以上五千未滿ノ町村ニ於テハ 議員十二人

一人口五千以上一萬未滿ノ町村ニ於テハ 議員十六人

一人口一萬以上二萬未滿ノ町村ニ於テハ 議員二十人

一人口二萬以上ノ町村ニ於テハ 議員二十四人

前項ノ定員ハ町村規則ヲ以テ之ヲ減スルコトヲ得

第二十四條 町村民ハ總テ選舉權ヲ有ス但シ公民權停止中ノ者及第六條第三項ノ場合ニ當ル者ハ此ノ限ニ在ラス

直接町村稅ヲ納ムル者其ノ額町村公民ノ最多ク直接町村稅ヲ納ムル三名中ノ一名ヨリモ多キトキハ町村民ニ非サル者又ハ三年以來ノ町村民ニ非サル者ト雖第五條ニ掲載スル其ノ他ノ要件ヲ具備スルトキハ選舉權ヲ有ス但シ第六條第二項ノ公民權停止ノ條件又ハ同條第三項ノ場合ニ當ル者ハ此ノ限ニ在ラス

第二十五條 選舉人ハ分テ二級トス
選舉人中直接町村稅ノ多キ者ヲ合セテ選舉人總員ノ納ムル總額ノ半ニ當ルヘキ者ヲ一級トシ爾餘ノ選舉人ヲ二級トス
各級ノ間納稅額兩級ニ跨ル者アルトキハ上級ニ入ルベシ又兩級ノ間ニ同額ノ納稅者二名以上アルトキハ町村内ニ住居スル年數ノ多キ者ヲ以テ上級ニ入ル若シ住居ノ年數ニ依リ難キトキハ年長者ヲ以テシ年數ニモ依リ難キトキハ町村長自ラ抽籤シテ之ヲ定ムヘシ
選舉人每級各別ニ議員ノ半數ヲ選舉ス其ノ被選舉人ハ同級内ノ者ニ限ラサルモノトス

第三十六條 區域廣濶又ハ人口稠密ナル町村ニ於テハ町村會ノ議決ヲ經テ區畫ヲ定メ選舉分會ヲ設クルコトヲ得但シ特ニ二級選舉ノ爲之ヲ設クルモ妨ナシ
分會ニ於テ爲シタル投票函ノ儘本會ニ集メテ之ヲ合算シ總數ヲ以テ當選ヲ定ム
分會ハ本會ト同日時ニ之ヲ開クヘシ其ノ他選舉ノ手續會場ノ取締等總テ本會ノ例ニ依ル

第二十七條 特別ノ事情アル町村ニ於テハ町村條例ヲ以テ選舉區ヲ設クルコトヲ得
選舉區ノ數及其ノ區域並各選舉區ヨリ選舉スヘキ議員ノ員數ハ選舉人ノ員數ニ準シ前項ノ條例ニ之ヲ規定スヘシ

選舉人ハ住居ヲ占ムル地ニ依テ所屬ノ選舉區ヲ定ム其ノ町村内ニ住居ヲ占メサル者ハ直接町村稅ノ賦課ヲ受ケタル物件ノ所在ニ依テ之ヲ定ム若シ數選舉區ニ亘リ賦課ヲ受ケタル物件アルトキハ稅額ノ最多キ物件ノ所在ニ依テ之ヲ定ム又直接町村稅ノ賦課ヲ受ケタル物件ナキトキハ住居ヲ構ヘ若クハ滞在スル地ニ依テ之ヲ定ムヘシ但シ本文ノ場合ニ於テ稅額ノ相同キトキ又ハ數選舉區ニ亘リ住居ヲ構ヘ若クハ滞在スルトキハ本人ノ申出ニ依

リ之ヲ定ムヘシ
 選舉區ヲ設クルトキハ各選舉區ニ於テ選舉人ノ等級ヲ分ツヘシ
 各選舉區ヨリ選舉スヘキ議員ノ員數各級ニ等分シ難キトキハ各選舉區各級ヨリ選舉スヘキ議員ノ員數ヲ第一項ノ條例ニ規定スヘシ
 被選舉人ハ其ノ選舉區内ノ者ニ限ラサルモノトス

第二十八條 選舉權ヲ有スル町村公民ハ總テ被選舉權ヲ有ス

左ニ掲クル者ハ被選舉權ヲ有セス

- 一 北海道廳及所屬郡ノ官吏
- 二 有給ノ町村吏員
- 三 檢事及警察官吏
- 四 神官僧侶其ノ他諸宗教師
- 五 小學校教員

其ノ他官吏ニシテ當選シ之ニ應セントスルトキハ所屬長官ノ許可ヲ受クヘシ
 父子兄弟タル緣故アル者ハ同時ニ町村會議員タルコトヲ得ス若同時ニ選舉セラレタルトキハ投票ノ數ニ依テ其ノ多キ者一人ヲ當選トシ同數ナレハ年長者ヲ當選トシ同年ナレハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム其ノ時ヲ異ニシテ選舉セラレタル者ハ後者議員タルコトヲ得ス
 町村長下ノ間父子兄弟タル緣故アル者ハ之ト同時ニ町村會議員タルコトヲ得ス若議員トノ間ニ其ノ緣故アル者町村長ノ任命ヲ受ケタルトキハ其ノ緣故アル議員ハ其ノ職ヲ失フ

モリトス

第二十九條 町村會議員ハ名譽職トス其ノ任期ハ六年トシ每三年各級ニ於テ其ノ半數ヲ改選ス若各級ノ議員二分シ難キトキハ初回ニ於テ多數ノ一半ヲ退職セシム初回ニ於テ退職セシムヘキ者ハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム
 前項議員ノ任期ハ總選舉ヲ行ヒタル日選舉ノ數日ニ互ル又ハ定期改選期日選舉ノ數日ニ互ルヨリ起算シ曆ニ從フ但シ總選舉ノ場合ニ於テ一部ノ議員後レテ選舉セラレ又ハ定期改選ノ場合ニ於テ一部若クハ全部ノ議員其ノ期日後ニ選舉セララルコトアルモ先ニ總選舉ヲ行ヒタル日又ハ定期改選期日ヨリ起算ス
 退職ノ議員ハ再選セララルコトヲ得
 議員ニ關シテハ第二十條第一項第三項第二十二條ノ例ヲ適用ス

第三十條 町村會議員中闕員アルトキハ每三年定期改選ノ時ニ至リ同時ニ補闕選舉ヲ行フヘシ若定員三分ノ一以上闕員アルトキ又ハ町村長若クハ町村會ニ於テ臨時補闕ヲ必要ト認ムルトキハ定期前ト雖補闕選舉ヲ行フヘシ
 補闕議員ハ前任者ノ殘任期間在職スルモノトス
 定期改選及補闕選舉ハ前任者ノ選舉セラレタル選舉等級及選舉區ニ從テ之カ選舉ヲ行フヘシ

第三十一條 町村長ハ選舉ヲ行フ毎ニ其ノ選舉前四十日ヲ期トシ其ノ日ノ現在ニ依リ選舉人ノ資格ヲ記載セル選舉原簿ヲ調製シ此ノ原簿ニ依リ選舉人名簿ヲ調製スヘシ但シ選舉

北海道一級町村制

八百四十三

區ヲ設クルトキハ毎選舉區各別ニ原簿及名簿ヲ調製スヘシ
選舉人名簿ハ其ノ選舉前三十日ヲ期トシ其ノ日ヨリ十四日間町村役場ニ於テ關係者ノ縱
覽ニ供スヘシ若關係者ニ於テ異議アルトキハ縦覽期限内ニ之ヲ町村長ニ申立ツルコトヲ
得

町村長ハ前項ノ申立ニ依リ名簿ノ修正ヲ要スト認ムルトキハ選舉ノ日ヨリ七日前ニ修正
ヲ加ヘテ確定名簿ト爲シ之ニ登録セラレサル者ハ何人タリトモ選舉ヲ行フコトヲ得ス
本條ニ依リ確定シタル名簿ハ其ノ確定シタル日ヨリ一年以内ニ於テ選舉ヲ行フトキモ亦
之ヲ適用ス

選舉人名簿ヲ修正シタルトキハ直ニ其ノ要領ヲ公告スヘシ

第三十二條 選舉ヲ行フトキハ町村長ハ選舉ノ日ヨリ少クトモ七日前ニ選舉ノ場所日時並
毎選舉區及每級ヨリ選舉スヘキ議員ノ員數ヲ公告スヘシ

各級ニ於テ選舉ヲ行フ順序ハ先ツ二級ノ選舉ヲ行ヒ次ニ一級ノ選舉ヲ行フヘシ

第三十三條 選舉掛ハ名譽職トシ町村長ニ於テ臨時ニ選舉人中ヨリ二名若クハ四名ヲ選任
シ町村長若クハ其ノ代理者ハ掛長ト爲リ選舉會ヲ開閉シ會場ノ取締ニ任ス但シ選舉分會
若クハ選舉區ヲ設クルトキハ各別ニ選舉掛ヲ設クヘシ

第三十四條 選舉開會中ハ選舉人ヲ除ク外選舉會場ニ入ルコトヲ得ス選舉人ハ選舉會場ニ
於テ協議若クハ勸誘ヲ爲スコトヲ得ス

第三十五條 選舉ハ投票ヲ以テ之ヲ行フ投票ニハ被選舉人ノ氏名又ハ其ノ住所氏名ヲ記シ

封緘ノ上選舉人自ラ之ヲ掛長ニ差出スヘシ但シ選舉人ノ氏名ハ投票ニ記入スルコトヲ得

町村住民ニ非スシテ第二十四條第二項ニ依リ選舉權ヲ有スル者ハ代人ヲ以テ選舉ヲ行フ

コトヲ得

代人ハ帝國臣民ニシテ公權ヲ有シ且公權停止中ニ非サル獨立ノ男子ニ限ル但シ一人ニシ
テ數人ノ代理ヲ爲スコトヲ得ス又代人ハ委任狀ヲ選舉掛ニ示スヘシ

選舉人投票ヲ差出ストキハ自己ノ氏名及住所ヲ掛長ニ申立テ掛長ハ選舉人名簿ニ照シテ
之ヲ受ケ封緘ノ儘投票函ニ投入スヘシ但シ投票函ハ投票ヲ終ルマテ之ヲ開クコトヲ得ス

第三十六條 單名投票ニシテ左ノ各號ニ該當スルモノハ之ヲ無効トス連名投票ニシテ第一
號第五號第六號ニ該當スルモノモ亦同シ又連名投票ニシテ第二號乃至第四號ニ該當スル
モノハ其ノ部分ノミヲ無効トス

一 氏名ヲ記載セサルモノ

二 記載シタル氏名ノ讀ミ難キモノ

三 被選舉人ノ何人タルヲ確認シ難キモノ

四 被選舉權ヲキ者ノ氏名ヲ記載シタルモノ

五 被選舉人ノ住所氏名ノ外他事ヲ記入シタルモノ但シ位階敬稱ノ類ヲ記入スルハ此ノ

限ニ在ラス

六 投票用紙ハ一定シタル場合ニ於テ其ノ用紙ヲ用非サルモノ

投票ニ記載シ人員其ノ選舉ハキ定數ヲ過クハ末尾ニ記載シタルモノヲ順次ニ棄却ス

投票ヲ受理並効力ニ關スル事項ハ選舉掛之ヲ議決ス可否同數ナルトキハ掛長之ヲ決ス

第三十七條 町村會議員ノ選舉ハ有效投票ノ多數ヲ得タル者ヲ以テ當選トス投票ノ數相同キトキハ年長者ヲ取リ同年ヲ以テハ掛長自ラ抽籤シテ其ノ當選ヲ定ム

同時ニ補闕議員數名ヲ選舉スルトキハ投票數ノ多キ者ヲ以テ殘任期ノ長キ前任者ノ補闕ト爲シ投票ノ數相同キトキハ掛長自ラ抽籤シテ其ノ順序ヲ定ム

第三十八條 選舉掛ハ選舉錄ヲ製シテ選舉ノ順末ヲ記録シ選舉ヲ終リタル後之ヲ朗讀シ選舉人名簿其ノ他關係書類ヲ合綴シテ選舉掛長選舉掛ノ一名若クハ數名ト共ニ之ニ署名捺印シ少クトモ六年間之ヲ保存スヘシ

投票ハ選舉ヲ終リタル後之ヲ取纏メ封緘ノ上選舉掛長選舉掛ノ一名若クハ數名ト共ニ之ニ捺印シ少クトモ六年間之ヲ保存スヘシ

第三十九條 選舉ヲ終リタルトキハ選舉掛長ハ直ニ當選者ニ當選ノ旨ヲ告知スヘシ其ノ當選ヲ辭セシトスル者ハ當選ノ告知ヲ發シタル日ヨリ五日以内ニ之ヲ町村長ニ申立ツヘシ

一人ニシテ數級若クハ數選舉區ノ選舉ニ當リタルトキハ當選ノ告知ヲ最終ニ發シタル日ヨリ五日以内ニ何レノ選舉ニ應ズヘキコトヲ町村長ニ申立ツヘシ其ノ期限内ニ之ヲ申立テサル者ハ總テ其ノ當選ヲ辭シタル者ト看做スヘシ

定期改選ト補闕選舉ト同時ニ行ヒタル場合ニ於テ一人ニシテ其ノ兩選舉ニ當リタルトキモ亦前項ノ例ヲ適用ス

本條ニ依リ當選ヲ辭シタル者アルトキハ更ニ選舉ヲ行フヘシ

選舉ヲ終リ當選者定マリタルトキハ町村長ハ直ニ其ノ住所氏名ヲ公告シ同時ニ選舉錄ノ寫ヲ添ヘ之ヲ郡長ニ報告スヘシ

第四十條 郡長ニ於テ選舉ノ效力ニ關シ異議アルトキハ前條ノ報告ヲ受ケタル日ヨリ六十日以内ニ選舉ヲ取消スヘシ但シ北海道廳長官ノ認許ヲ受クルコトヲ要ス

第四十一條 選舉ノ規程ニ違背スルコトアルトキハ其ノ選舉ヲ無効トシ又當選者中其ノ資格ノ要件ヲ有セサル者アルトキハ其ノ當選ヲ無効トスヘキモノトス但シ選舉ノ規程ニ違背スル所アルモ其ノ事ノ輕微ニシテ選舉ノ結果ニ異動ヲ生セサルモノハ此ノ限ニ在ラス

第四十二條 選舉若クハ當選無効ト爲リタルトキハ更ニ選舉ヲ行フヘシ

第四十三條 町村會議員中其ノ資格ノ要件ヲ有セサル者アルトキハ其ノ職ヲ失フモノトス町村長若クハ町村會ニ於テ前項ニ該當スル者アルコトヲ發見シタルトキハ郡長ニ申立ツ

第一項資格要件ヲ有ハ郡長ニ於テ前項ヲ申立ニ依リ又ハ其ノ職權ヲ以テ之ヲ決定ス但シ北海道廳長官ノ認許ヲ受クルコトヲ要ス

第四十四條 特別ノ事情アル場合ニ於テハ町村條例ヲ以テ選舉ニ關シ特例ヲ設クルコトヲ得

第四十五條 第二款職務權限及處務規程

第四十五條 二町村會ノ議決ヲ經テキ事件左ノ如シ

一 歳入出豫算ヲ定ムル事

二 法律命令ニ定ムルモノヲ除ク外使用料加入金手数料町村税及夫役現品ノ賦課徴收ノ法律ヲ定ムル事

三 町村有不動産ノ賣買交換讓受讓渡並質入書入ヲ爲ス事

四 基本財産及積立金穀等ノ處分ヲ爲ス事

五 歳入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除ク外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ及權利ノ棄却ヲ爲ス事

六 町村有財産ノ管理方法ヲ定ムル事

七 町村ニ係ル訴訟及和解ニ關スル事

其ノ他町村會ノ職權ハ法律命令ノ定ムル所ニ依ル

第四十六條 町村會ハ町村長ノ報告書ヲ請求シテ町村有財産ノ管理並收入支出ノ正否ヲ檢査スルコトヲ得

町村會ハ前項ノ目的ノ爲ニ五名以下ノ委員ヲ議員中ヨリ選舉シ町村長若クハ其ノ指命シタル吏員立會ノ上關係書類並金庫ヲ檢閲セシムルコトヲ得

町村會ハ町村ノ公益ニ關スル事件ニ付意見書ヲ町村長若クハ監督官廳ニ差出スコトヲ得

町村會ハ町村長若クハ官廳ノ諮問アルトキハ意見ヲ答申スヘシ

第四十七條 議員タル者ハ選舉人ノ指示若クハ委囑ヲ受クヘカラサルモノトス

第四十八條 町村會ハ町村長ヲ以テ議長トス

町村會ハ町村會議員中ヨリ議長代理者一名ヲ選舉スヘシ

議長代理者ハ町村會議員ノ定期改選期日ノ前日マデ在職スルモノトス但シ議員ノ職ヲ退クトキハ其ノ職ヲ失フモノトス

第二項ノ選舉ハ總選舉ヲ行ヒタル場合ハ初會ニ於テ其ノ他ハ前任者退職當時ノ會議又ハ退職後ノ初會ニ於テ之ヲ行フ

第四十九條 議長故障アルトキハ其ノ代理者之ニ代リ議長及其ノ代理者共ニ故障アルトキハ町村會ハ年長ノ議員ヲ以テ假議長トスヘシ但シ臨時ニ假議長ヲ選舉スルモ妨ナシ

第五十條 町村長及其ノ委任ヲ受ケタル吏員ハ何時ニテモ會議ニ出席シ及發言スルコトヲ得但シ議員ノ演說ヲ中止スルコトヲ得ス

前項ノ出席者ハ議員ノ職ニ在ル者ヲ除ク外議決ニ加ハルコトヲ得ス

第五十一條 町村會ハ會議ノ必要アル毎ニ町村長會期ヲ定メテ之ヲ召集ス議員四分ノ一以上ヨリ請求アル場合ニ於テ相當ノ理由アリト認ムルトキモ亦同シ

召集並會議ノ事件ヲ告知スルハ急施ヲ要スル場合ヲ除ク外少クトモ會議ノ三日前タルヘシ

町村會ハ町村長之ヲ閉閉ス

第五十二條 町村會ハ議員定員ノ半數以上出席スルニ非ラサレハ會議ヲ開クコトヲ得ス但シ同一ノ事件ニ付集會再回ニ至ルモ議員仍半數ニ滿タサルトキハ此ノ限ニ在ラス

第五十三條 町村會ノ議事ハ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ可否スル所ニ依

第五十四條 議長及議員ハ自己若クハ其ノ父母妻子兄弟姉妹ノ一身上ニ關スル事件ニ就テハ町村會ノ承諾ヲ得ルニ非ラサレハ其ノ議事ニ參與スルコトヲ得ス
前項除席ノ爲ニ議員ノ數減少シテ會議ヲ開ク定數ニ滿タサルトキモ仍會議ヲ開クコトヲ得

第五十五條 町村會ノ會議ハ公開ス但シ議長ノ意見ヲ以テ傍聽ヲ禁スルコトヲ得又町村長ヨリ要求アリタルトキハ傍聽ヲ禁スヘシ

第五十六條 議長ハ會議ノ事ヲ總理シ會議ノ順序ヲ定メ其ノ日ノ會議ヲ開閉シ議場ノ秩序ヲ保持ス

第五十七條 會議及傍聽ノ紀律竝取締ニ關スル規則ハ「拓殖務大臣」之ヲ定ム其ノ規則ニハ之ニ違背シタル議員ニ對シ町村會ノ議決ニ依リ五日以内出席ヲ停止シ又ハ二圓以下ノ過怠金ヲ科スル規定ヲ設クルコトヲ得

第五十八條 前條ニ依リ「拓殖務大臣」ノ定ムル規則ノ外町村會ハ北海道廳長官ノ許可ヲ得テ會議規則及傍聽規則ヲ設クヘシ其ノ會議規則ニハ之ニ違背シタル議員ニ對シ町村會ノ議決ニ依リ五日以内出席ヲ停止シ又ハ二圓以下ノ過怠金ヲ科スル規定ヲ設クルコトヲ得
第五十九條 町村會ノ書記ハ町村吏員ノ中ニ就キ町村長之ヲ命ス
書記ハ議長ニ隸屬シテ庶務ニ従事ス

議長ハ書記ヲシテ會議録ヲ製シテ會議ノ顛末竝出席議員ノ氏名ヲ記録セシムヘシ
會議録ハ議長及議員二名以上之ニ署名捺印スヘキモノトス
議長ハ會議録ヲ添ヘ會議ノ結果ヲ町村長ニ報告スヘシ

第四章 町村ノ財務

第一款 町村有財産及町村稅

第六十條 町村ハ不動産積立金穀等ヲ以テ基本財産ト爲シ之ヲ維持スル義務アリ

北海道廳長官ハ町村ノ經濟ノ狀況ニ依リ必要ト認ムルトキハ額ヲ定メテ基本財産ヲ蓄積セシムルコトヲ得

臨時ニ收入シタル金穀等ハ基本財産ニ加入スヘシ但シ寄附金穀等寄附者別ニ其ノ使用ノ目的ヲ定ムルモノハ此ノ限ニ在ラス

町村ハ町村規則ノ規程ニ依リ或ル事業ノ爲ニ特別ノ基本財産若クハ積立金穀等ヲ設クルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ町村會ノ議決ヲ經テ前項收入ノ一部若クハ全部ヲ特別ノ基本財産若クハ積立金穀等ニ加入スルコトヲ得但シ寄附金穀等寄附者別ニ其ノ使用ノ目的ヲ定ムルモノハ此ノ限ニ在ラス

第六十一條 町村有財産ハ其ノ收益ヲ以テ町村ノ收入ト爲スカ爲ニ管理スルモノトス但シ町村ノ直接ノ公用若クハ町村住民ノ直接ノ共用ニ供シタル町村有財産ニシテ其ノ公用若クハ共用ニ妨アルトキ及特ニ民法上ノ權利ヲ有スル者アル場合ニ於テ其ノ權利ニ牴觸スルトキハ此ノ限ニ在ラス

第六十二條 町村有財産夫町村住民ノ全部若クハ一部ノ直接ノ共用ニ供スルニハ町村規則
規程ニ依ルヘシ

前項ノ規則ニハ使用料ノ外場合ニ依リ加入金徴收ノ規程ヲ設クルコトヲ得

第六十三條 町村有財産ノ賣却貸與又ハ町村ノ工事及物件調達ノ請負ハ公ノ入札ニ付スヘ
シ但シ臨時急施ヲ要スルトキ又ハ入札ノ價額其ノ費用ニ比シテ得失相償ハサルトキ又ハ
町村會ノ承諾ヲ得ルトキハ此ノ限ニ在ラス

第六十四條 町村ハ北海道廳長官ノ許可ヲ得テ國區町村其ノ他公共團體若クハ一個人ノ事
業ニ對シ寄附若クハ補助ヲ爲スコトヲ得

第六十五條 町村ハ國庫ヨリ支給スルモノヲ除ク外其ノ必要ナル支出及律法命令ニ依リ賦
課セラルル支出ヲ負擔スル義務アリ

町村ハ町村有財産ヨリ生スル收入使用料手数料過怠金其ノ他法律命令ニ依リ町村ニ屬ス
ル收入ヲ以テ前項ノ支出ニ充テ仍不足アルトキハ町村税及夫役現品ヲ賦課徴收スルコト
ヲ得

第六十六條 町村ハ町村有財産若クハ町村ノ營造物ノ使用ニ付又ハ特ニ一個人ノ爲ニスル
事務ニ付使用料又ハ手数料ヲ徴收スルコトヲ得

第六十七條 町村税トシテ賦課スルコトヲ得ヘキ目左ノ如シ

- 一 國税ノ附加税
- 二 直接若クハ間接ノ特別税

附加税ハ直接ノ國税ニ附加シ均一ノ税率ヲ以テ町村ノ全部ニ賦課スルヲ常例トス

特別税ハ別ニ町村限リ税目ヲ設ケ課税スルコトヲ要スルトキ賦課スルモノトス

第六十八條 此ノ勅令中別ニ規程アルモノヲ除ク外特別税使用料手数料ニ關スル細則ハ町
村規則ヲ以テ之ヲ規定スヘシ

第六十九條 町村住民ニ非スト雖三箇月以上町村内ニ住居ヲ構ヘ若クハ滞在スル者ハ其ノ
住居ヲ構ヘタル初若クハ滞在ノ初ニ遡リ町村税ヲ納ムル義務アルモノトス

町村住民ニ非ス又ハ三箇月以上町村内ニ住居ヲ構ヘ若クハ滞在スルコトナキ者ト雖町村
内ニ於テ土地家屋ヲ所有シ若クハ使用シ又ハ町村内ニ於テ營業所ヲ定メテ營業ヲ爲シ又
ハ町村内ニ於テ或ル行爲ヲ爲ス者ハ土地家屋營業若クハ其ノ所得ニ對シ又ハ行爲ニ對シ
テ賦課スル町村税ヲ納ムル義務アルモノトス其ノ以テ法人タルトキモ亦同シ但シ官業ハ此ノ
限ニ在ラス

第七十條 所得税ノ附加税ヲ賦課シ及町村ニ於テ特別ニ所得税ヲ賦課スルトキハ納税義務
者ノ町村外ニ於テ所有シ若クハ使用スル土地家屋又ハ町村外ニ於テ營業所ヲ定メタル營
業ヨリ收入スル所得ハ之ヲ控除スヘキモノトス

數市區町村ニ住居ヲ構ヘ若クハ滞在スル者ニ前項ノ町村税ヲ賦課スルトキハ其ノ所得ヲ
各市區町村ニ平分シ其ノ一部分ニシテ課税スヘシ但シ土地家屋又ハ營業所ヲ定メタル營
業ヨリ收入スル所得ハ此ノ限ニ在ラス

第七十一條 所得税法第三條ニ掲グル所得ニ對シテハ町村税ヲ賦課スルコトヲ得ス

國區町村其ノ他公共團體ノ直接ノ公用ニ供スル土地家屋營造物ニ對シテハ國區町村其ノ他公共團體ニ町村稅ヲ賦課スルコトヲ得ス

社寺ノ用ニ供シ又ハ官立公立ノ學校病院ノ用ニ供シ又ハ官其ノ他公共ノ施設ニ係リ學藝美術慈善ノ用ニ供スル土地家屋營造物ニ對シテハ社寺又ハ國區町村其ノ他公共團體ニ町村稅ヲ賦課スルコトヲ得ス

國有ノ山林若クハ荒蕪地ニ對シテハ國ニ町村稅ヲ賦課スルコトヲ得ス

屯田兵土地給與規則及屯田兵移住給與規則ニ依リ給與シタル公有ノ財産ニ對シテハ第四百四條ニ掲ケル期間中ハ町村稅ヲ賦課スルコトヲ得ス

本條ノ外町村稅ヲ賦課スルコトヲ得サルモノハ別段ノ法律勅令ニ定ムル所ニ從フ

皇族ニ係ル町村稅ノ賦課ハ追テ法律勅令ヲ以テ定ムルマテ現今ノ例ニ依ル

第七十二條 町村有財産ヲ町村住民ノ一部ノ直接ノ共用ニ供シタル場合ニ於テハ其ノ使用權ヲ有スル者ヲシテ使用ノ多寡ニ準シテ其ノ財産ニ係ル必要ナル費用ヲ負擔セシムルコトヲ得

第七十三條 町村住民ノ一部ノミヲ利スル營造物ノ建設維持ノ費用ハ其ノ關係者ニ負擔セシムルコトヲ得

町村ノ一部ノミヲ利スル營造物ノ建設維持ノ費用ハ其ノ部内ニ住居ヲ構ヘ若クハ滞在シ又ハ其ノ部内ニ於テ土地家屋ヲ所有シ若クハ使用シ又ハ其ノ部内ニ於テ營業所ヲ定メテ營業ヲ爲シ又ハ其ノ部内ニ於テ或ル行爲ヲ爲スニ依リ町村稅ヲ納ムル義務アル者ニ負擔

セシムルコトヲ得但シ其ノ一部ノ收入アルトキハ先ツ其ノ收入ヲ以テ其ノ費用ニ充ツヘシ

第七十四條 地租ノ附加稅ハ其ノ納期ヲ定メ納期^{納期ノ數日ニ亘ル}場合ハ其ノ末日ニ於ケル土地臺帳ノ記

名者ヨリ徵收スルモノトス但シ賃入ノ土地ニ對シテハ賃取主ヨリ徵收スルモノトス

地租ノ附加稅ハ免租地若クハ無租地ノ有租地ト爲リタルトキハ其ノ翌月ヨリ、有租地ノ

免租地若クハ無租地ト爲リタルトキハ其ノ前月マテ又地類地目ノ變換等ニ依リ地租ニ異動ヲ生シタルトキハ其ノ月ヨリ月割ヲ以テ徵收スルモノトス

所得稅ノ附加稅ハ本稅ノ納期ニ於テ本稅ヲ納ムル義務アル者ヨリ徵收スルモノトス

本條ニ規定スルモノヲ除ク外附加稅徵收ノ方法ハ町村規則ヲ以テ之ヲ規定スヘシ

本條ノ例ニ依リ難キ場合ニ於テハ町村條例ヲ以テ別段ノ規程ヲ設クルコトヲ得

第七十五條 町村ハ其ノ必要ニ依リ夫役現品ヲ以テ納稅義務者ニ賦課スルコトヲ得但シ學藝美術手工ニ關スル勞役ヲ賦課スルコトヲ得ス

夫役現品ハ急迫ノ場合ヲ除ク外直接町村稅ヲ準率ト爲シ且之ヲ金額ニ算出シテ賦課スヘシ
夫役ヲ賦課セラレタル者ハ其ノ便宜ニ從ヒ本人自ラ之ニ當リ又ハ適當ノ代人ヲ出スコトヲ得又夫役現品ハ急迫ノ場合ヲ除ク外金額ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第七十六條 町村ニ於テ徵收スル使用料加入金手数料町村稅夫役現品ニ代フル金額其ノ他町村ノ公法上ノ收入ヲ定期内ニ納メサル者アルトキハ町村長ハ國稅ノ滯納處分ニ關スル規程ニ依リ之ヲ處分スヘシ其ノ督促及手数料ニ關シテハ町村規則ヲ以テ別段ノ規程ヲ設クルコトヲ得

納稅義務者中無資力ナル者アルトキハ町村長ノ意見ヲ以テ會計年度内ニ限り納稅延期ヲ許スルコトヲ得其ノ年度ヲ越スル場合ニ於テハ町村會ノ議決ニ依リテ依ルルノ限リ本條ニ記載スル徵收金ノ追徵還付期滿免除及先取特權ニ就テハ國稅ニ關スル一般ノ例ヲ適用スル

第七十七條 町村稅ノ賦課ヲ受ケタル者ニ對シテ其ノ課目課額ニ錯誤アリト認ムルトキハ納稅ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ三箇月以内ニ町村長ニ異議ヲ申立ツルコトヲ得

町村有財產若シテ町村ノ營造物ヲ使用シ權利ニ關シ異議アル者ハ之ヲ町村長ニ申立ツルコトヲ得

本條ノ異議ハ町村長之ヲ決定ス其ノ町村長ヲ決定シ不服アル者ハ郡長ニ訴願シ其ノ郡長ノ裁決ニ不服アル者ハ北海道廳長官ニ訴願シ其ノ北海道廳長官ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

本條ノ異議訴願若シテ訴訟以爲ニ處分ノ執行ヲ停止セス

第七十八條 町村ニ此ノ勅令ヲ行フ前ニ起シタル負債ヲ償還スル爲ニ必要ナル場合ニ限り町村債ヲ起スコトヲ得其ノ他ニ一級町村制第八十二條第三項乃至第五項ヲ適用ス

豫算内ニ支出ヲ爲スニ付必要ナル一時ノ借入金ハ前項ノ例ニ依ラス其ノ年度ノ收入ヲ以テ償還スヘキモノトス但シ此ノ場合ニ於テハ町村會ノ議決ヲ經テ

第二款 町村ノ歲入出豫算及決算

第七十九條 町村長ハ毎會計年度收入支出ノ豫知シ得ヘキ金額ヲ見積リ歲入出豫算ヲ調製シ少クトモ年度二箇月前ニ町村會ノ議決ヲ經ヘシ但シ町村ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ同シ

豫算ヲ町村會ニ提出スルトキハ町村長ハ併セテ町村ノ事務報告書及財産明細表ヲ提出スヘシ

第八十條 町村長ハ必要ノ場合ニ於テハ町村會ノ議決ヲ經テ既定豫算ノ追加若クハ更正ヲ爲スコトヲ得

第八十一條 豫算外ノ支出若クハ豫算超過ノ支出ニ充ツル爲ニ豫備費ヲ設クヘシ但シ町村會ノ否決シタル費目ニ充ツルコトヲ得ス

豫備費ノ支出ハ後日町村會ノ認定ヲ求ムルコトヲ要ス

町村ノ費用ヲ以テ支辨スヘキ事業ニシテ數年ヲ期シ施行スヘキモノ又ハ數年ヲ期シテ其ノ費用ヲ支出スヘキモノハ町村會ノ議決ヲ經テ其ノ年各年度ノ支出額ヲ定メ繼續費ト爲スコトヲ得

町村ハ町村規則ヲ以テ特別會計ヲ設クルコトヲ得

豫算調製ノ式並費目流用ニ關スル規程ハ「拓殖務大臣」ノ許可ヲ得テ北海道廳長官之ヲ定ム

豫算ハ町村會ノ議決ヲ經タル後直ニ之ヲ郡長ニ報告シ並地方所定ノ公告式ニ依リ其ノ要領ヲ公告スヘシ

第八十二條 町村ノ出納閉鎖ハ翌年度六月三十日ヲ以テ期限トス

決算ハ出納閉鎖期限後初回ノ通常豫算會議ニ於テ之ヲ町村會ニ報告スヘシ

町村長ハ決算報告書及之ニ關シテ町村會議決ヲ郡長ニ報告シ並ニ地方所定ノ公告式ニ依リ決算ノ要領ヲ公告スベシ

第五章 町村内一部ノ行政

第八十三條 町村内ノ一部ニシテ所有財産若クハ營造物ニ就キ其ノ部限リ特ニ其ノ費用ヲ負擔スルトキハ北海道廳長官ハ町村會議ノ意見ヲ聞キ「拓殖務大臣」ノ許可ヲ得テ財産營造物ニ關スル事務ヲ爲部會ヲ設クルコトヲ得

前項部會ノ組織選舉職務權限處務規程等ハ「拓殖務大臣」ノ許可ヲ得テ北海道廳長官之ヲ定ム

第四十四條 前條ニ記載スル事務ニ就キ此ノ勅令ノ規程ニ依リ難キ事項其ノ他部ニ關シ特ニ必要ナル事項ハ「拓殖務大臣」ノ許可ヲ得テ北海道廳長官之ヲ定ム

第六章 町村組合

第八十五條 郡長ハ公益上必要ト認ムル場合ニ於テハ數町村ノ事務ヲ共同處理セシムル爲北海道廳長官ノ許可ヲ得テ町村組合ヲ設クルコトヲ得

郡長ハ前項ノ許可ヲ受クルニハ組合會議ノ組織費用ノ支辨方法ニ關シ組合規程ヲ設ケ併セテ北海道廳長官ノ許可ヲ受クベシ其ノ變更ヲ要スルトキモ亦同シ

第八十六條 町村組合ニ就テハ町村ニ關スル規程ヲ準用ス其ノ準用シ難キ事項其ノ他町村組合ニ關シ特ニ必要ナル事項ハ前條ノ組合規程ニ之ヲ規定スベシ

第八十七條 町村組合ハ郡長ニ於テ北海道廳長官ノ許可ヲ得ルニ非サレハ之ヲ解除スルコトヲ得ス

第七章 町村行政ノ監督

第八十八條 町村行政ハ第二次ニ於テ郡長之ヲ監督シ第二次ニ於テ北海道廳長官之ヲ監督シ第三次ニ於テ「拓殖務大臣」之ヲ監督ス

第八十九條 此ノ勅令ニ規定スル異議、訴願若クハ訴訟ハ處分ヲ爲シ又ハ決定書若クハ裁決書ヲ交付シタル日ヨリ二十一日以内ニ提起スヘシ但シ此ノ勅令中別ニ期限ヲ定メタルモノハ此ノ限ニ在ラス

第九十條 監督官廳ハ町村行政ノ法律命令ニ背戾セザルヤ其ノ事務錯亂滯滞セザルヤ否ヲ監視スヘシ監督官廳ハ之ガ爲ニ行政事務ニ關シテ報告ヲ爲サシメ豫算決算等ノ書類帳簿ヲ徴シ並ニ實地ニ就テ事務ヲ視察シ出納ヲ檢閲スル權ヲ有ス

監督官廳ハ町村行政ヲ監督スル爲ニ必要ナル命令ヲ發シ處分ヲ爲ス權ヲ有ス
上級監督官廳ハ下級監督官廳ノ町村行政ニ關シテ爲シタル命令若クハ處分ヲ停止シ若クハ取消スコトヲ得

第九十二條 郡長ハ町村ノ豫算中不適當ノ支出ト認ムルモノアルトキハ之ヲ削減スルコトヲ得其ノ支出ヲ削減シタル場合ニ於テハ之ニ相當スル收入ヲ削減スヘシ
前項ノ處分ハ北海道廳長官ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

第九十三條 町村會議ノ解散ハ「拓殖務大臣」之ヲ命ス此ノ場合ニ於テハ三箇月以内ニ議員ヲ選舉スベシ
郡長ハ十日以内ニ於テ町村會議ヲ停會ヲ命スルコトヲ得

第九十三條 町村條例ノ設定ハ「拓殖務大臣」ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

第九十四條 左ニ掲クル事件ハ「拓殖務大臣」及「大藏大臣」ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

- 一 町村債ヲ起シ並借入ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定メ若クハ變更スル事但シ第七十八條末項ノ借入金ハ此ノ限ニ在ラス
- 二 特別税ヲ新設シ若クハ變更スル事
- 三 直接國税二分ノ一ヲ超過スル附加税ヲ賦課スル事
- 四 間接國税ノ附加税ヲ賦課スル事

第九十五條 左ニ掲クル事件ハ北海道廳長官ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

- 一 町村規則ヲ設定スル事
- 二 使用料手数料ヲ新設シ若クハ變更スル事
- 三 道廳ヨリ交付スル補助金ニ對シ支出金額ヲ定メ若クハ變更スル事
- 四 學藝美術ニ關シ又ハ歴史上貴重ナル物件ノ賣却交換讓渡質入書入若クハ大ナル變更ハナラ爲ス事
- 五 各種ノ保證ヲ與フル事
- 六 繼續費ヲ定メ若クハ變更スル事
- 七 均一ノ税率ニ依ラスシテ國税ノ附加税ヲ賦課スル事
- 八 第七十二條第七十三條ニ依リ町村住民ノ一部若クハ町村内ノ一部ニ費用ヲ負擔セシムル事

第九十六條 左ニ掲クル事件ハ郡長ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

- 一 町村有不動産ノ賣却交換讓渡並質入書入ヲ爲ス事
- 二 基本財産及積立金穀等ノ處分ヲ爲ス事
- 三 第七十五條ノ準率ニ依ラスシテ夫役現品ヲ賦課スル事

第九十七條 北海道廳長官郡長ハ町村長書記部長委員其ノ他町村吏員ニ對シ懲戒處分ヲ行フ其ノ北海道廳長官ノ懲戒處分ハ譴責二十五圓以下ノ過怠金解職トシ郡長ノ懲戒處分ハ譴責及十圓以下ノ過怠金トス

第八章 附則

第九十八條 此ノ勅令施行ノ時期ハ「拓殖務大臣」之ヲ定ム

第九十九條 此ノ勅令ヲ施行スル場合ニ於テ初メテ二級町村ト爲ス地ハ「拓殖務大臣」之ヲ指定ス

第一百條 此ノ勅令ニ依リ初メテ議員ヲ選舉スルニ付町村會ノ職務ハ町村長之ヲ行フヘシ

第一百一條 此ノ勅令ヲ施行スル島嶼其ノ他特別ノ事情アル地ニ就テハ其ノ町村吏員監督官廳ノ職務權限等ニ關シ「拓殖務大臣」ニ於テ特別ノ規程ヲ設クルコトヲ得

第一百二條 此ノ勅令ニ記載セル人口ハ最終ノ人口調査ニ依ル但シ現役軍人ヲ除ク

第一百三條 現役及豫備役ノ屯田兵村ニハ此ノ勅令ヲ施行セス

第一百四條 屯田兵土地給與規則及屯田兵移住給與規則ニ依リ給與シタル公有ノ財産ニ關シテハ屯田兵服役期限中及其ノ滿期ノ年ヨリ十箇年間ハ此ノ勅令ヲ適用セス

第二百五條 此ノ勅令ニ於テ直接稅若クハ間接稅トスヘキ類別ハ「拓殖務大臣」及大藏大臣告
示之ヲス

第百六條 此ノ附則ニ規定スルモノヲ除外此ノ勅令施行ニ付必要ナル事項ハ「拓殖務大
臣」之ヲ定ム

○北海道區制、北海道一級町村制、同二級町村制最終ノ人口調査方三十年六月、拓殖省行第百九號

○沖繩縣區制 明治二十九年三月 勅令第十九號

朕沖繩縣區制ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

沖繩縣區制目次

- 第一章 總則
- 第二款 區及其ノ區域
- 第二款 區住民及其ノ權利義務
- 第三款 區條例及區規則
- 第二章 區行政
- 第一款 區吏員ノ組織及選任
- 第二款 區長區書記及區吏員ノ職務權限
- 第三款 給料及給與

第三章 區會

第一款 組織及選舉

第二款 職務權限及處務規程

第四章 區ノ財務

第一款 區有財產及區稅

第二款 區以歳入出豫算及決算

第五章 區内一部ノ行政

第六章 區行政ノ監督

第七章 附則

沖繩縣區制

第一章 總則

第一款 區及其ノ區域

第一條 此ノ勅令ハ沖繩縣ニ於テ區ト爲ス地ニ行フモノトス

第二條 區ハ郡ノ區域ニ屬ス別ニ行政區畫トス但シ法律命令ニ依リ特ニ區ノ區域ト符合
セサル行政區畫ヲ設クルコトヲ妨ケス

區ハ法人トシ法律命令ヲ以テ定ムタル範圍内ニ於ケル公共事務竝從來法律命令若クハ慣
例ニ依リ又ハ將來法律命令ニ依リ區ニ屬スル事務ハ官ノ監督ヲ受ケテ之ヲ處理スルモノ
トス

第三條

區ヲ變シテ郡内ノ間切ト爲シ又ハ郡内ノ間切ヲ變シテ區ト爲スコトヲ要スルトキハ内務大臣之ヲ定ム此ノ場合ニ於テハ郡ノ境界モ亦自ラ變更スルモノトス
區ノ境界ヲ變更シ又ハ郡内ノ間切ヲ區ニ合併シ又ハ區ノ區域ヲ分割スルコトヲ要スルトキハ内務大臣ノ許可ヲ得テ沖繩縣知事之ヲ定ム此ノ場合ニ於テ郡ノ境界ニ渉ルモノアルトキハ郡ノ境界モ亦自ラ變更スルモノトス
本條ノ處分ニ付財產處分ヲ要スルトキハ關係アル會議ノ意見ヲ聞キ沖繩縣知事之ヲ定ム
區ノ境界明ナラサルコトヲ知ルトキハ内務大臣ノ許可ヲ得テ沖繩縣知事之ヲ定ム

第二款 區住民及其ノ權利義務

第四條 區内ニ住居ヲ占ムル者ハ總テ區住民トス

區住民タル者ハ此ノ勅令ニ從ヒ區有財產並區ノ營造物ヲ共用スル權利ヲ有シ及區ノ負擔ヲ分任スル義務ヲ有スルモノトス但シ特ニ民法上ノ權利義務ヲ有スル者アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第五條 帝國臣民ニシテ公權ヲ有スル獨立ノ男子二年以來(一)區ノ住民トナリ(二)區ノ負擔ヲ分任シ及(三)區内ニ於テ土地ヲ所有シ若クハ直接國稅年額二圓以上ヲ納ムル者ハ區公民トス但シ公費ヲ以テ貧民救助ヲ受ケタル後二年ヲ經サル者ハ此ノ限ニ在ラス
前項二年ノ制限ハ場合ニ依リ區會ノ議決ヲ經テ沖繩縣知事ノ許可ヲ受ケ之ヲ特免スルコトヲ得

此ノ勅令ニ於テ獨立ト稱スルハ滿二十五歳以上ニシテ一戸ヲ構ヘ且治産ノ禁ヲ受ケサルモノヲ云フ

區公民ニシテ相當ノ理由ナクシテ名譽職ヲ拒辭シ又ハ任期中退職シ又ハ無任期ノ職務ヲ

少クモ三年間擔當セ又ハ其ノ職務ヲ實際ニ執行セザル者ニ對スル處分ノ規則ハ内務大臣之ヲ定ム其ノ規則ニ公區會ノ議決ニ依リ六年以内區公民タル權ヲ停止シ場合ニ依リ同年期間他ノ住民ノ負擔スヘキ區稅ノ率ニ比シ四分ノ一以下ヲ增加スル規程ヲ設クルコトヲ得

第六條 區公民タル者前條ニ掲載スル要件ノ一ヲ失フトキハ公民タル權ヲ失フモノトス

區公民タル者公權停止中若クハ租稅滯納處分中ハ公民タル權ヲ停止ス家資分散若クハ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキハ復權ノ決定アルマテ又公權剝奪若クハ停止ヲ附加スヘキ重罪ノ輕罪ノ爲公判ニ付セラレタルトキハ其ノ裁判ノ確定ニ至ルマテ亦同シ
陸海軍ノ現役ニ服スル者ハ區ノ公務ニ參與セザルモノトス現役以外ノ兵役ニ在ル者ニシテ戰時若クハ事變ニ際シ召集セラレタルトキモ亦同シ

第三款 區條例及區規則

第七條 區ハ區住民ノ權利義務及區ノ事務ニ關シ此ノ勅令中明文ナク又ハ條例ヲ以テ特例ヲ設クモ亦許シ若クハ規定スルコトヲ要スル事項ニ付テハ條例ヲ設クルコトヲ得
區ハ區有財產及區以營造物ニ關スル事項其ノ他此ノ勅令中規則ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ許シ若クハ規定スルコトヲ要スル事項ニ付テハ規則ヲ設クルコトヲ得
區條例及區規則ハ法律命令ニ抵觸スルコトヲ得

區條例及區規則ヲ發行スルニハ地方所定ノ公告式ニ依ル其ノ公告式ハ區規則ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第二章 區行政

第一款 區吏員ノ組織及選任

第八條 區ニ區長區書記以外必要ノ附屬員ヲ置ク

第九條 區ニ收入役一名ヲ置キ區書記ノ中ニ就キ沖繩縣知事之ヲ命ス

第十條 區ハ處務便宜ノ爲區規則ヲ以テ區ノ區域ヲ數部ニ分テ每部部長及其ノ代理者各一名ヲ置クコトヲ得

部長及其ノ代理者ハ名譽職トス

部長及其ノ代理者ハ名譽職トス

第十一條 區ハ區規則ヲ以テ臨時若クハ常設ノ委員ヲ置クコトヲ得

委員ハ名譽職トス

委員ハ區會議員若クハ區公民中選舉權ヲ有スル者ヲ以テ之ニ充テ又ハ區會議員及區公民中選舉權ヲ有シ然者ヲ以テ之ニ充テ其ノ合議體ニ組織シタル場合ニ於テハ區長若クハ其ノ委任ヲ受ケ然必區書記ヲ以テ委員長補ス

委員ハ區會ニ於テ之ヲ選舉ス

委員ノ組織任期等ニ關スル事項ハ第一項ノ規則ニ之ヲ規定スヘシ

委員ニ關シテハ第四十五條ノ例ヲ適用ス

委員ニシテ公權剝奪若クハ停止ヲ附加スヘキ重罪輕罪ノ爲豫審ニ付セラレタルトキハ沖繩縣知事ハ其ノ職ヲ停止スルコトヲ得

第三款 區長區書記及區吏員ノ職務權限

第十二條 區長ハ區ヲ統轄シ其ノ行政事務ヲ擔任ス

區長ノ擔任スル事務ノ概目左ク如シ

一 區會ノ議事ヲ準備シ並其ノ議決ヲ承認シ及執行スル事

二 區有財産及區ノ營造物ヲ管理スル事但シ特ニ之カ管理者アルトキハ其ノ事務ヲ監督スル事

三 區ノ權利ヲ保護スル事

四 區ノ歳入ヲ管理シ歳入出豫算其ノ他區會ノ議決ニ依テ定マリタル收入支出ヲ命令シ會計及出納ヲ監視スル事

五 區吏員ヲ監督シ委員ヲ除ク外其ノ他ニ對シ懲戒處分ヲ行フ事其ノ懲戒處分ハ譴責及二十圓以下ノ過怠金トス

六 區ノ諸證書及公文書類ヲ保管スル事

七 外部ニ對シテ區ヲ代表シ及區ノ名義ヲ以テ他廳若クハ一個人ト交渉スル事

八 法律命令若クハ區會ノ議決ニ依リ使用料加入金手数料區稅及夫役現品ヲ賦課徵收ス

八 必事命令等ハ別會ノ議決ニ依リて其ノ執行ニ關シテ必要ナル事項ハ別會ニ報告スル事
 九 區條例及區規則ヲ設定スル事ハ必事命令ニ依リて之ヲ制定スル事
 十 區營造物ノ管理方法ヲ決定スル事ハ必事命令ニ依リて之ヲ制定スル事

十一 收入税及區吏員ノ身元保證ヲ徵シ並ニ其額ヲ定ムル事

第十二 其ノ他法律命令等若クハ停止可ク指令ニ依リて區長ニ委任シタル事務ヲ處理スル事
 第十三 區長若クハ監督官廳ニ於テ區會ノ議決其ノ權限ヲ越ヘ又ハ法律命令ニ背クト認
 知ルルキハ區長ハ自己ノ意見ニ依リて又ハ監督官廳ノ指令ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ
 付シ若クハ取消スル事

前項再議ニ付スルモ仍其ノ議決ヲ改メサルトキハ區長ヨリ沖繩縣知事ニ申立テ其ノ決定
 法請列各級及前項取消等不服并區會ハ沖繩縣知事ニ訴願スルコトヲ得
 前項沖繩縣知事ノ決定若クハ裁決ニ不服スル區會ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
 區長若クハ監督官廳ニ於テ區會ノ議決公益ニ害アリト認ムルトキハ區長ハ自己ノ意見ニ
 依リて又ハ監督官廳ノ指令ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付スヘシ

前項再議ニ付スルモ仍其ノ議決ヲ改メサルトキハ區長ヨリ沖繩縣知事ニ申立テ其ノ決定
 法請列各級及前項取消等不服并區會ハ沖繩縣知事ニ訴願スルコトヲ得
 本條ノ決定若クハ裁決ハ其ノ確定ニ至ルマテ執行ヲ停止ス但シ該當官廳ニ於テ停止ノ爲
 至公益損害アリト認ムルキハ此ノ限ニ在ラス

第十四 區會ニ於テ必要ノ收支ニ關シ否決シタルトキ又ハ區長若クハ監督官廳ニ於テ區

會ノ議決必要ノ收支ニ關シ不當ノ削減ヲ爲スト認ムルトキハ區長ハ自己ノ意見ニ依リ又
 ハ監督官廳ノ指令ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付シ仍其ノ議決ヲ改メサルトキハ沖繩
 縣知事ニ具狀シテ指揮ヲ請フヘシ但シ場合ニ依リ再議ニ付セズシテ直ニ沖繩縣知事ノ指
 揮ヲ請フコトヲ得

前項沖繩縣知事ノ處分ニ不服アル區會ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得
 本條ノ處分ハ其ノ確定ニ至ルマテ執行ヲ停止ス但シ當該官廳ニ於テ停止ノ爲ニ公益ニ害
 アリト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十五 區會招集ニ應セス若クハ成立セサルトキハ區長ハ沖繩縣知事ニ具狀シテ指揮ヲ
 請フ其ノ議決スルキ事件ヲ處分スルコトヲ得

區會ニ於テ其ノ議決スルキ事件ヲ議決セス若クハ議了セサルトキハ前項ノ例ニ依リ
 第一項ノ處分ハ次回ノ會議ニ於テ之ヲ區會ニ報告スヘシ

第十六 第五十二條但書若クハ第五十四條第二項ノ場合ニ於テ全ク會議ヲ開クコト能ハ
 サルトキハ前條ノ例ニ依ラス

第十七 區書記ハ區長ノ命令ヲ承ケ區ノ行政ニ係ル庶務ニ從事ス
 區長故障アルトキハ主席區書記區ノ行政ニ付其ノ職務ヲ代理ス
 區長ハ區書記ヲシテ區ノ行政事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコトヲ得

第十八 收入税及區ノ收入ニ受領シ其ノ費用ノ支拂ヲ爲シ其ノ他會計事務ヲ掌ル

第十九 部長及其ノ代理者ハ區長ノ命令ヲ承ケ部内ニ關スル國ノ行政及區ノ行政ニ付區

長ノ事務ヲ補助執行スル者ハ副長トシテ之ヲ命ズルハ其ノ職權ニ關シテハ區長ノ命令ニ依リテ之ヲ執行スルモノトシ

第三十條 委員ハ區長ノ監督ニ屬シ區有財産若クハ區ノ營造物ヲ管理シ其ノ他區行政事務ニ關シテ必要ナル時ニ依リテ之ヲ委任シ依テ事務ヲ處辨スルモノトシ

委員ノ職務權限ニ關シテ細則ハ區規則ヲ以テ之ヲ規定スルモノトシ

第三十一條 區役所ノ處務規程ハ沖繩縣知事之ヲ定メ其ノ他區吏員ノ處務規程ハ沖繩縣知事ノ許可ヲ得テ區長之ヲ定ム

區吏員ノ服務紀律ハ沖繩縣知事之ヲ定ム

第三十二條 給料及給與ニ關シテハ區會ニ於テ之ヲ議決シ之ヲ執行スルモノトシ

第三十三條 有給吏員ハ給料額旅費額及其ノ支給方法ハ區會ノ議決ヲ經テ沖繩縣知事ノ許可ヲ受クヘシ

區條例ヲ以テ有給吏員ノ退隱料及遺族扶助料ヲ設クルモノトシ

第三十四條 有給吏員ノ給料旅費退隱料遺族扶助料其ノ他第二十二條ノ給與ニ關シテ異議アリシ者ハ沖繩縣知事ニ訴願シ其ノ沖繩縣知事ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルモノトシ

本條ヲ訴願若クハ訴訟ニ關シテハ區會ノ議決ヲ停止スルモノトシ

第三十五條 給料旅費退隱料遺族扶助料報酬辨償等ハ區ノ負擔トス但シ給料旅費ニ限リ當分國庫ヨリ支給スルモノトシ

第三十六條 區會議員ハ區ノ選舉人其ノ被選舉權アル者ヨリ之ヲ選舉ス其ノ定員ハ三十人トシ

以下トシ内務大臣ノ許可ヲ得テ沖繩縣知事之ヲ定メ之ヲ執行スルモノトシ

第三十七條 區公民ハ總テ選舉權ヲ有シ但シ公民權停止中ノ者及第六條第三項ノ場合ニ當ル者ハ此ノ限ニ在ラス

直接區稅納税者ハ其ノ額區公民ノ最多ク直接區稅納税者三名中ノ一名ヨリモ多キトシ

要件ヲ具備スル者ハ選舉權ヲ有ス但シ第六條第二項ノ公民權停止ノ條件又ハ同條第三項ノ場合ニ當ル者ハ此ノ限ニ在ラス

第三十八條 選舉人ハ分テ三級トス

第一級選舉人ハ直接區稅納額最多キ者ヲ指セテ選舉人總員及納税額ノ三分ノ一ニ當ルヘキ者ヲ一級トス

第二級選舉人ハ直接區稅納額多キ者ヲ指セテ選舉人總員及納税額ノ三分ノ二ニ當ルヘキ者ヲ二級トス

第三級選舉人ハ直接區稅納額少キ者ヲ指セテ選舉人總員及納税額ノ三分ノ三ニ當ルヘキ者ヲ三級トス

各級ノ間納税額兩級ニ跨ル者アハ其ノ高キ級ニ入ルモノトシ又兩級ノ間ニ同額ノ納税者二名

以上ノ居住者ハ區内ニ住居スル年數ノ多キ者ヲ以テ上級ニ入ル若シ住居ノ年數ニ依リ難キトシハ年長者ヲ以テシテ年齢ニモ依リ難キトキハ區長自ラ抽籤シテ之ヲ定ムヘシ
 選舉人毎級各別ニ議員ノ三分ノ一ヲ選舉ス其ノ被選舉人ハ同級内ノ者ニ限ラサルモノトス

第二十九條 沖繩縣知事ニ於テ必要ト認ムルトキハ内務大臣ノ許可ヲ得テ選舉區ヲ設クルコトヲ得

選舉區ノ數及其ノ區域並各選舉區ヨリ選舉スヘキ議員ノ員數ハ内務大臣ノ許可ヲ得テ沖繩縣知事之ヲ定ム
 選舉人ハ住居ヲ占ムル地ニ依テ所屬ノ選舉區ヲ定ム其ノ區内ニ住居ヲ占メサル者ハ直接區稅ノ賦課ヲ受ケタル物件ノ所在ニ依テ之ヲ定ム若シ數選舉區ニ亘リ賦課ヲ受ケタル物件ヲ占ムル地ハ稅額ノ最多キ物件ノ所在ニ依テ之ヲ定ム又直接區稅ノ賦課ヲ受ケタル物件ナキトキハ住居ヲ構ヘ若クハ滞在スル地ニ依テ之ヲ定ムヘシ但シ本文ノ場合ニ於テ稅額ノ相同キトキ又ハ數選舉區ニ亘リ住居ヲ構ヘ若クハ滞在スルトキハ本人ノ申出ニ依テ之ヲ定ムヘシ

選舉區ヲ設クル地ニ於テ各選舉區ニ於テ選舉人ノ等級ヲ分ツヘシ
 被選舉人其選舉區内ノ者ニ限ラサルモノトス

第三十條 選舉權ヲ有スル區公民ハ總テ被選舉權ヲ有ス

左ニ掲グル者ハ被選舉權ヲ有セス

- 一 沖繩縣ノ官吏
- 二 區長區書記及有給ノ區吏員
- 三 檢事及警察官吏
- 四 神官僧侶其他諸宗教師
- 五 小學校教員

其ノ他官吏ニシテ當選シ之ニ應セザルトキハ所屬長官ノ許可ヲ受クヘシ

父子兄弟タル緣故アル者ハ同時ニ區會議員タルコトヲ得ス若シ同時ニ選舉セラレタルトキハ投票ノ數ニ依テ其ノ多キ者一人ヲ當選トシ同年長者ヲ當選トシ同年ナレハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム其ノ時ヲ異ニシテ選舉セラレタル者ハ後者議員タルコトヲ得ス

區長トノ間父子兄弟タル緣故アル者ハ之ト同時ニ區會議員タルコトヲ得ス若シ議員トノ間ニ其ノ緣故アル者區長トノ任命ヲ受ケタルトキハ其ノ緣故アル議員ハ其ノ職ヲ失フモノトス

第三十一條 區會議員ハ名譽職トス其ノ任期ハ六年トシ每三年各級ニ於テ其ノ半數ヲ改選ス若シ各級ノ議員二分シ難キトキハ初回ニ於テ多數ノ一半ヲ退職セシム初回ニ於テ退職セシムヘキ者ハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

前項議員ノ任期ハ總選舉ヲ行ヒタル日選舉ノ數日ニ亘ル又ハ定期改選期日選舉ノ數日ニ亘ル
 日初ヨリ起算シ曆ニ從テ但シ總選舉ノ場合ニ於テ一部ノ議員後レテ選舉セラレ又ハ定期改選ノ場合ニ於テ一部若クハ全部ノ議員其ノ期日後ニ選舉セラレハコトアルモ先ニ總選

舉ヲ行ヒタル日又ハ定期改選期日ヨリ起算ス
退職ノ議員ハ再選セラルコトヲ得

議員ニ關シテハ第二十二條第一項第三項第二十四條第二十五條ノ例ヲ適用ス

第三十二條 區會議員中關員アルトキハ每三年定期改選ノ時ニ至リ同時ニ補闕選舉ヲ行フ
ヘシ若定員三分ノ一以上關員アルトキ又ハ區長若クハ區會ニ於テ臨時補闕ヲ必要ト認ム
ルトキハ定期前ト雖補闕選舉ヲ行フヘシ

補闕議員ハ前任者ノ殘任期間在職スルモノトス

定期改選及補闕選舉ハ前任者ノ選舉セラレタル選舉等級及選舉區ニ從テ之カ選舉ヲ行フ
ヘシ

第三十三條 區長ハ選舉ヲ行フ毎ニ其ノ選舉前六十日ヲ期トシ其ノ日ノ現在ニ依リ選舉人
ノ資格ヲ記載セル選舉原簿ヲ調製シ此ノ原簿ニ依リ選舉人名簿ヲ調製スヘシ但シ選舉區
ヲ設クルトキハ每選舉區各別ニ原簿及名簿ヲ調製スヘシ

選舉人名簿ハ其ノ選舉前五十日ヲ期トシ其ノ日ヨリ七日間區役所ニ於テ關係者ノ縱覽ニ
供スヘシ若關係者ニ於テ異議アルトキハ縱覽期限内ニ之ヲ區長ニ申立ツルコトヲ得此ノ
場合ニ於テハ區長ハ其ノ申立ヲ受ケタル日ヨリ七日以内ニ之ヲ決定スヘシ

前項區長ノ決定ニ不服アル者ハ沖繩縣知事ニ訴願シ其ノ沖繩縣知事ノ裁決ニ不服アル者
ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

本條ノ異議、訴願若クハ訴訟ノ爲ニ處分、決定若クハ裁決ノ執行ヲ停止セス

區長ハ第二項異議ノ決定又ハ第三項訴願ノ裁決若クハ訴訟ノ判決ニ依リ名簿ノ修正ヲ要
スルトキハ選舉ノ日ヨリ五日前ニ修正ヲ加ヘテ確定名簿ト爲シ之ニ登録セラレサル者ハ
何人アリトモ選舉ヲ行フコトヲ得ス

本條ニ依リ確定シタル名簿ハ其ノ確定シタル日ヨリ一年以内ニ於テ選舉ヲ行フトキモ亦
之ヲ適用ス但シ名簿確定後訴願ノ裁決若クハ訴訟ノ判決ニ依リ修正ヲ要スルトキハ選舉
ノ日ヨリ五日前ニ修正スヘキモノトス

選舉人名簿ヲ修正シタルトキハ直ニ其ノ要領ヲ公告スヘシ

第三十四條 選舉ヲ行フトキハ區長ハ選舉ノ日ヨリ少クトモ七日前ニ選舉ノ場所日時並毎
選舉區及每級ヨリ選舉スヘキ議員ノ員數ヲ公告スヘシ

各級ニ於テ選舉ヲ行フ順序ハ先ツ三級ノ選舉ヲ行ヒ次ニ二級ノ選舉ヲ行ヒ次ニ一級ノ選
舉ヲ行フヘシ

第三十五條 選舉掛ハ名譽職トシ區長ニ於テ臨時ニ選舉人中ヨリ二名若クハ四名ヲ選任シ
區長若クハ其ノ代理者ハ掛長ト爲リ選舉會ヲ開閉シ會場ノ取締ニ任ス但シ選舉區ヲ設ク
ルトキハ每選舉區各別ニ選舉掛ヲ設クヘシ

第三十六條 選舉開會中ハ選舉人ヲ除ク外選舉會場ニ入ルコトヲ得ス選舉人ハ選舉會場ニ
於テ協議若クハ勸誘ヲ爲スコトヲ得ス

第三十七條 選舉ハ投票ヲ以テ之ヲ行フ投票ニハ被選舉人ノ氏名又ハ其ノ住所氏名ヲ記シ
封緘ノ上選舉人自ラ之ヲ掛長ニ差出スヘシ但シ選舉人ノ氏名ハ投票ニ記入スルコトヲ得ス

區住民ニ非スシテ第二十七條第二項ニ依リ選舉權ヲ有スル者ハ代人ヲ以テ選舉ヲ行フコトヲ得

代人ハ帝國臣民ニシテ公權ヲ有シ且公權停止中ニ非サル獨立ノ男子ニ限ル但シ一人ニシテ數人ノ代理ヲ爲スコトヲ得ヌ又代人ハ委任狀ヲ選舉掛ニ示スヘシ
選舉人投票ヲ差出ストキハ自己ノ氏名及住所ヲ掛長ニ申立テ掛長ハ選舉人名簿ニ照シテ之ヲ受ケ封緘ノ儘投票函ニ投入スヘシ但シ投票函ハ投票ヲ終ルマテ之ヲ開クコトヲ得ヌ

第三十八條 單名投票ニシテ左ノ各號ニ該當スルモノハ之ヲ無効トス連名投票ニシテ第一號第五號第六號ニ該當スルモノモ亦同シ又連名投票ニシテ第二號乃至第四號ニ該當スルモノハ其ノ部分ノミヲ無効トス

- 一 氏名ヲ記載セサルモノ
 - 二 記載シタル氏名ノ讀ミ難キモノ
 - 三 被選舉人ノ何人タルヲ確認シ難キモノ
 - 四 被選舉權ヲキ者ノ氏名ヲ記載シタルモノ
 - 五 被選舉人ノ住所氏名ノ外他事ヲ記入シタルモノ但シ位階敬稱ノ類ヲ記入スルハ此ノ限ニ在ラス
 - 六 投票用紙ヲ一定シタル場合ニ於テ其ノ用紙ヲ用井ザルモノ
- 投票ニ記載ノ人員其ノ選舉スヘキ定數ヲ過クルトキハ末尾ニ記載シタルモノヲ順次ニ棄

掛スヘシ

投票ノ受理並効力ニ關スル事項ハ選舉掛之ヲ議決ス可否同數ナルトキハ掛長之ヲ決ス
第三十九條 區會議員ノ選舉ハ有效投票ノ多數ヲ得タル者ヲ以テ當選トス投票ノ數相同キトキハ年長者ヲ取り同年ナルトキハ掛長自ラ抽籤シテ其ノ當選ヲ定ム

同時ニ補闕議員數名ヲ選舉スルトキハ投票數ノ多キ者ヲ以テ殘任期ノ長キ前任者ノ補闕ト爲シ投票ノ數相同キトキハ掛長自ラ抽籤シテ其ノ順序ヲ定ム

第四十條 選舉掛ハ選舉錄ヲ製シテ選舉ノ顛末ヲ記錄シ選舉ヲ終リタル後之ヲ朗讀シ選舉人名簿其ノ他關係書類ヲ合綴シテ選舉掛長選舉掛ノ一名若クハ數名ト共ニ之ニ署名捺印シ少クトモ六年間之ヲ保存スヘシ

投票ハ選舉ヲ終リタル後之ヲ取纏メ封緘シ上選舉掛長選舉掛ノ一名若クハ數名ト共ニ之ニ捺印シ少クトモ六年間之ヲ保存スヘシ

第四十一條 選舉ヲ終リタルトキハ選舉掛長ハ直ニ當選者ニ當選ノ旨ヲ告知スヘシ其ノ當選ヲ辭セントスル者ハ當選ノ告知ヲ發シタル日ヨリ五日以内ニ之ヲ區長ニ申立ツヘシ一人ニシテ數級若クハ數選舉區ノ選舉ニ當リタルトキハ當選ノ告知ヲ最終ニ發シタル日ヨリ五日以内ニ何レノ選舉ニ應スヘキコトヲ區長ニ申立ツヘシ其ノ期限内ニ之ヲ申立テサル者ハ總テ其ノ當選ヲ辭シタル者ト看做スヘシ
定期改選ト補闕選舉トヲ同時ニ行ヒタル場合ニ於テ一人ニシテ其ノ兩選舉ニ當リタルトキモ亦前項ノ例ヲ適用ス

本條ニ依リ當選ヲ辭シタル者アルトキハ更ニ選舉ヲ行フヘシ
選舉ヲ終リ當選者定マリタルトキハ區長ハ直ニ其ノ住所氏名ヲ公告シ同時ニ選舉録ノ寫
ヲ添ヘ之ヲ沖繩縣知事ニ報告スヘシ

第四十二條 選舉人選舉ノ效力ニ關シ異議アルトキハ選舉ノ日ヨリ七日以内ニ沖繩縣知事
ニ訴願シ其ノ沖繩縣知事ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

沖繩縣知事ニ於テ選舉ノ效力ニ關シ異議アルトキハ訴願ノ有無ニ拘ラス前條ノ報告ヲ受
ケタル日ヨリ二十一日以内ニ選舉ヲ取消スヘシ

前項沖繩縣知事ノ處分ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
本條ノ訴願若クハ訴訟ノ爲ニ處分ノ執行ヲ停止セス

第四十三條 選舉ノ規程ニ違背スルコトアルトキハ其ノ選舉ヲ無効トシ又當選者中其ノ資
格ノ要件ヲ有セサル者アルトキハ其ノ當選ヲ無効トスヘキモノトス但シ選舉ノ規程ニ違
背スル所アルモ其ノ事ノ輕微ニシテ選舉ノ結果ニ異動ヲ生セサルモノハ此ノ限ニ在ラス

第四十四條 選舉若クハ當選無効ト確定シタルトキハ更ニ選舉ヲ行フヘシ
第四十五條 區會議員中其ノ資格ノ要件ヲ有セサル者アルトキハ其ノ職ヲ失フモノトス
區長若クハ區會ニ於テ前項ニ該當スル者アルコトヲ發見シタルトキハ沖繩縣知事ニ申立
ツヘシ

第一項資格要件ノ有無ハ沖繩縣知事ニ於テ前項ノ申立ニ依リ又ハ其ノ職權ヲ以テ之ヲ決
定スヘシ

前項沖繩縣知事ノ決定ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
本條ノ場合ニ於テ資格要件ヲ有セストスル決定ハ其ノ決定確定シ又ハ訴訟ノ判決アルマ
テ其ノ執行ヲ停止ス

第二款 職務權限及處務規程

第四十六條 區會ノ議決ヲ經ヘキ事件左ノ如シ

- 一 歳入出豫算ヲ定ムル事
 - 二 法律命令ニ定ムルモノヲ除ク外使用料加入金手数料區稅及夫役現品ノ賦課徵收ノ法
ヲ定ムル事
 - 三 區有不動産ノ賣買交換讓受讓渡並質入書入ヲ爲ス事
 - 四 基本財産及積立金穀等ノ處分ヲ爲ス事
 - 五 歳入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除ク外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ及權利ノ棄却ヲ爲ス事
 - 六 區有財産ノ管理方法ヲ定ムル事
 - 七 區ニ係ル訴訟及和解ニ關スル事
- 其ノ他區會ノ職權ハ法律命令ノ定ムル所ニ依ル

第四十七條 區會ハ區長ノ報告書ヲ請求シテ區有財産ノ管理並收入支出ノ正否ヲ検査スル
コトヲ得

區會ハ前項ノ目的ノ爲ニ五名以下ノ委員ヲ議員中ヨリ選舉シ區長又ハ其ノ指命シタル官
吏若クハ吏員立會ノ上關係書類並金庫ヲ檢閲セシムルコトヲ得

區會ハ區ノ公益ニ關スル事件ニ付意見書ヲ區長若クハ監督官廳ニ差出スコトヲ得

區會ハ區長若クハ官廳ノ諮問アルトキハ意見ヲ答申スヘシ

第四十八條 議員タル者ハ選舉人ノ指示若クハ委囑ヲ受クヘカヲサルモノトス

第四十九條 區會ハ區長ヲ以テ議長トス若區長故障アルトキハ其ノ委任ヲ受ケタル區書記

ヲ以テ之ニ充ツ
第五十條 區長及其ノ委任ヲ受ケタル官吏吏員ハ何時ニテモ會議ニ出席シ及發言スルコトヲ得但シ議員ノ演説ヲ中止スルコトヲ得ス

前項ノ出席者ハ議員ノ職ニ在ル者ヲ除ク外議決ニ加ハルコトヲ得ス

第五十一條 區會ハ會議ノ必要アル毎ニ區長會期ヲ定メテ之ヲ招集ス議員四分ノ一以上ヨリ請求アル場合ニ於テ相當ノ理由アリト認ムルトキモ亦同シ

招集並會議ノ事件ヲ告知スルハ急施ヲ要スル場合ヲ除ク外少クトモ會議ノ三日前タルヘシ

區會ハ區長之ヲ開閉ス

第五十二條 區會ハ議員定員ノ半数以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス但シ同一ノ事件ニ付集會再回ニ至ルモ議員仍半数ニ滿タサルトキハ此ノ限ニ在ラス

第五十三條 區會力議事ハ過半数ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ可否スル所ニ依ル

第五十四條 議長及議員ハ自己若クハ其ノ父母妻子兄弟姉妹ノ一身上ニ關スル事件ニ付テハ區會ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ議事ニ參與スルコトヲ得ス

前項除席ノ爲ニ議員ノ數減少シテ會議ヲ開ク定數ニ滿タサルトキモ仍會議ヲ開クコトヲ得

第五十五條 區會ノ會議ハ公開ス但シ議長ノ意見ヲ以テ傍聽ヲ禁スルコトヲ得

第五十六條 議長ハ會議ノ事ヲ總理シ會議ノ順序ヲ定シ其ノ日ノ會議ヲ開閉シ議場ノ秩序ヲ保持ス

第五十七條 會議及傍聽ノ紀律並取締ニ關スル規則ハ内務大臣之ヲ定ム其ノ規則ニハ之ニ違背シタル議員ニ對シ區會ノ議決ニ依リ五日以内出席ヲ停止シ又ハ二圓以下ノ過怠金ヲ科スル規程ヲ設クルコトヲ得

第五十八條 前條ニ依リ内務大臣ノ定ムル規則ノ外區會ハ沖繩縣知事ノ許可ヲ得テ會議規則及傍聽規則ヲ設クヘシ其ノ會議規則ニハ之ニ違背シタル議員ニ對シ區會ノ議決ニ依リ五日以内出席ヲ停止シ又ハ二圓以下ノ過怠金ヲ科スル規程ヲ設クルコトヲ得

區會ニ於テ行フ選舉ノ方法ハ會議規則ニ之ヲ規定スヘキモノトス

第五十九條 區會ノ書記ハ區書記及附屬員ノ中ニ就キ區長之ヲ命ス

書記ハ議長ニ隸屬シテ庶務ニ従事ス
議長ハ書記ヲシテ會議錄ヲ製シテ會議ノ顛末並出席議員ノ氏名ヲ記錄セシムヘシ

會議錄ハ議長及議員二名以上之ニ署名捺印スヘキモノトス
議長ハ會議錄ヲ添ヘ會議ノ結果ヲ區長ニ報告スヘシ

第四章 區ノ財務

第一款 區有財産及區稅

第六十條 區ハ不動産積立金穀等ヲ以テ基本財産ト爲シ之ヲ維持スル義務アリ
臨時ニ收入シタル金穀等ハ基本財産ニ加入スヘシ但シ寄附金穀等寄附者別ニ其ノ使用ノ
目的ヲ定ムルモノハ此ノ限ニ在ラス

區ハ區規則ノ規程ニ依リ或ル事業ノ爲ニ特別ノ基本財産若クハ積立金穀等ヲ設クルコト
ヲ得此ノ場合ニ於テハ區會ノ議決ヲ經テ前項收入ノ一部若クハ全部ヲ特別ノ基本財産若
クハ積立金穀等ニ加入スルコトヲ得但シ寄附金穀等寄附者別ニ其ノ使用ノ目的ヲ定ムル
モノハ此ノ限ニ在ラス

第六十一條 區有財産ハ其ノ收益ヲ以テ區ノ收入ト爲スカ爲ニ管理スルモノトス但シ區ノ
直接ノ公用若クハ區住民ノ直接ノ共用ニ供シタル區有財産ニシテ其ノ公用若クハ共用ニ
妨アルトキ及特ニ民法上ノ權利ヲ有スル者アル場合ニ於テ其ノ權利ニ抵觸スルトキハ此
ノ限ニ在ラス

第六十二條 區有財産ヲ區住民ノ全部若クハ一部ノ直接ノ共用ニ供スルニハ區規則ノ規程
ニ依ルヘシ

前項ノ規則ニハ使用料ノ外場合ニ依リ加入金徴收ノ規程ヲ設クルコトヲ得

第六十三條 區有財産ノ賣却貸與又ハ區ノ工事及物件調達ノ請負ハ公ノ入札ニ付スヘシ但
シ臨時急施ヲ要スルトキ又ハ入札ノ價額入札ノ費用ニ比シテ得失相償ハサルトキ又ハ區
會ノ承諾ヲ得ルトキハ此ノ限ニ在ラス

第六十四條 區ハ沖繩縣知事ノ許可ヲ得テ國區其ノ他公共團體若クハ一個人ノ事業ニ對シ
寄附若クハ補助ヲ爲スコトヲ得

第六十五條 區ハ其ノ必要ナル支出及法律命令ニ依リ賦課セラルル支出ヲ負擔スル義務アリ

區ハ區有財産ヨリ生スル収入使用料手数料過怠金其ノ他法律命令ニ依リ區ニ屬スル收入
ヲ以テ前項ノ支出ニ充テ仍不足アルトキハ區稅及夫役現品ヲ賦課徴收スルコトヲ得

第六十六條 區ハ區有財産若クハ區ノ營造物ノ使用ニ付又ハ特ニ一個人ノ爲ニスル事務ニ
付使用料又ハ手数料ヲ徴收スルコトヲ得

第六十七條 區稅トシテ賦課スルコトヲ得ヘキ目左ノ如シ

- 一 國稅ノ附加稅
- 二 直接若クハ間接ノ特別稅

附加稅ハ直接ノ國稅ニ附加シ均一ノ稅率ヲ以テ區ノ全部ニ賦課スルヲ常例トス
特別稅ハ別ニ區限リ稅目ヲ設ケ課稅スルコトヲ要スルトキ賦課スルモノトス

第六十八條 此ノ勅令中別ニ規程アルモノヲ除ク外特別稅ニ關スル細則ハ區條例又使用料
手数料ニ關スル細則ハ區規則ヲ以テ之ヲ規定スヘシ

附加稅徴收ノ方法ハ區條例ヲ以テ之ヲ規定スヘシ

第六十九條 區住民ニ非スト雖三箇月以上區内ニ住居ヲ構ヘ若クハ滞在スル者ハ其ノ住居
ヲ構ヘタル初若クハ滞在ノ初ニ遡リ區稅ヲ納ムル義務アルモノトス
區住民ニ非ス又三箇月以上區内ニ住居ヲ構ヘ若クハ滞在スルコトナキ者ト雖區内ニ於テ

土地家屋ヲ所有シ若クハ使用シ又ハ區内ニ於テ營業所ヲ定メテ營業ヲ爲シ又ハ區内ニ於テ或ル行爲ヲ爲ス者ハ土地家屋營業若クハ其ノ所得ニ對シ又ハ行爲ニ對シテ賦課スル區稅ヲ納ムル義務アルモノトス其ノ法人タルトキモ亦同シ但シ官業ハ此ノ限ニ在ラス

第七十條 所得稅ノ附加稅ヲ賦課シ及區ニ於テ特別ニ所得稅ヲ賦課スルトキハ納稅義務者ノ區外ニ於テ所有シ若クハ使用スル土地家屋又ハ區外ニ於テ營業所ヲ定メタル營業ヨリ收入スル所得ハ之ヲ控除スヘキモノトス

數市區町村間切ニ住居ヲ構ヘ若クハ滞在スル者ニ前項ノ區稅ヲ賦課スルトキハ其ノ所得ヲ各市區町村間切ニ平分シ其ノ一部分ニノミ課稅スヘシ但シ土地家屋又ハ營業所ヲ定メタル營業ヨリ收入スル所得ハ此ノ限ニ在ラス

第七十一條 所得稅法第三條ニ掲クル所得ニ對シテハ區稅ヲ賦課スルコトヲ得ス
國區其ノ他公共團體ノ直接ノ公用ニ供スル土地家屋營造物ニ對シテハ國區其ノ他公共團體ニ區稅ヲ賦課スルコトヲ得ス

社寺ノ用ニ供シ又ハ官立公立ノ學校病院ノ用ニ供シ又ハ官其ノ他公共ノ施設ニ係リ學藝美術慈善ノ用ニ供スル土地家屋營造物ニ對シテハ社寺又ハ國區其ノ他公共團體ニ區稅ヲ賦課スルコトヲ得ス

國有ノ山林若クハ荒蕪地ニ對シテハ國ニ區稅ヲ賦課スルコトヲ得ス
本條ノ外區稅ヲ賦課スルコトヲ得サルモノハ別段ノ法律勅令ニ定ムル所ニ從フ
皇族ニ係ル區稅ノ賦課ハ追テ法律勅令ヲ以テ定ムルマテ現今ノ例ニ依ル

第七十二條 區有財產ヲ區住民ノ一部ノ直接ノ供用ニ供シタル場合ニ於テハ其ノ使用權ヲ有スル者ヲシテ使用ノ多寡ニ準シテ其ノ財產ニ係ル必要ナル費用ヲ負擔セシムルコトヲ得

第七十三條 區住民ノ一部ノミヲ利スル營造物ノ建設維持ノ費用ハ其ノ關係者ニ負擔セシムルコトヲ得

區ノ一部ノミヲ利スル營造物ノ建設維持ノ費用ハ其ノ部内ニ住居ヲ構ヘ若クハ滞在シ又ハ其ノ部内ニ於テ土地家屋ヲ所有シ若クハ使用シ又ハ其ノ部内ニ於テ營業所ヲ定メテ營業ヲ爲シ又ハ其ノ部内ニ於テ或ル行爲ヲ爲スニ依リ區稅ヲ納ムル義務アル者ニ負擔セシムルコトヲ得但シ其ノ一部ノ收入アルトキハ先ツ其ノ收入ヲ以テ其ノ費用ニ充ツヘシ

第七十四條 區ハ其ノ必要ニ依リ夫役現品ヲ以テ納稅義務者ニ賦課スルコトヲ得但シ學藝美術手工ニ關スル勞役ヲ賦課スルコトヲ得ス

夫役現品ハ急迫ノ場合ヲ除ク外直接區稅ヲ準率ト爲シ且之ヲ金額ニ算出シテ賦課スヘシ
夫役ヲ賦課セラレタル者ハ其ノ便宜ニ從ヒ本人自ラ之ニ當リ又ハ適當ノ代人ヲ出スコトヲ得又夫役現品ハ急迫ノ場合ヲ除ク外金額ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第七十五條 區ニ於テ徵收スル使用料加入金手數料區稅夫役現品ニ代フル金額其ノ他區ノ公法上ノ收入ヲ定期内ニ納メサル者アルトキハ區長ハ國稅滯納處分法ニ依リ之ヲ處分スヘシ其ノ督促及手數料ニ關シテハ區規則ヲ以テ別段ノ規程ヲ設クルコトヲ得

納稅義務者中無資力ナル者アルトキハ區長ノ意見ヲ以テ會計年度内ニ限り納稅延期ヲ許スコトヲ得其ノ年度ヲ超ニル場合ニ於テハ區會ノ議決ニ依ル

本條ニ記載スル徵收金以追徵還付期滿免除及先取特權ニ付テハ國稅ニ關スル一般ノ例ヲ適用ス

第七十六條 區稅ノ賦課ヲ受ケタル者ニシテ其ノ課目課額ニ錯誤アリト認ムルトキハ徵稅令書ノ交付後三箇月以内ニ區長ニ異議ヲ申立ツルコトヲ得

區有財產若クハ區ノ營造物ヲ使用スル權利ニ關シ異議アル者ハ之ヲ區長ニ申立ツルコトヲ得

本條ノ異議ハ區長之ヲ決定ス其ノ區長ノ決定ニ不服アル者ハ沖繩縣知事ニ訴願シ其ノ沖繩縣知事ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

本條ノ異議訴願若クハ訴訟ノ爲ニ處分ノ執行ヲ停止セス

第七十七條 區ハ其ノ負債ヲ償還スル爲又ハ天災事變等己ムテ得サル支出若クハ區ノ永久ノ利益ト爲ルベキ支出ヲ要スルニ方リ通常ノ歲入ヲ增加スルトキハ區住民ノ負擔ニ堪ヘサル場合ニ限り區債ヲ起スコトヲ得

區債ヲ起スニ付區會ノ議決ヲ經ルトキハ併セテ借入ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法ニ付議決ヲ經ヘキモノトス其ノ變更ヲ要スルトキモ亦同シ

區債償還ノ初期ハ起債ノ時ヨリ三年以内ト爲シ年年ノ償還歩合ヲ定メ起債ノ時ヨリ三十年以内ニ還付スルヲ以テ常例トス
起債ノ都度其ノ前年度ヨリ起算ス 平均額ノ四分ノ一ヲ超過セサルヲ限度ス

區ハ債券ヲ發行スルコトヲ得ス

豫算内ノ支出ヲ爲スニ付必要ナル一時ノ借入金ハ本條ノ例ニ依ラス其ノ年度ノ收入ヲ以テ償還スヘキモノトス但シ此ノ場合ニ於テハ區會ノ議決ヲ經ヘシ

第二款 區ノ歲入出豫算及決算

第七十八條 區長ハ每會計年度收入支出ノ豫知シ得ヘキ金額ヲ見積リ歲入出豫算ヲ調製シ少クトモ年度二箇月前ニ區會ノ議決ヲ經ヘシ但シ區ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ同シ豫算ヲ區會ニ提出スルトキハ區長ハ併セテ區ノ事務報告書及財産明細表ヲ提出スヘシ

第七十九條 區長ハ必要ノ場合ニ於テハ區會ノ議決ヲ經テ既定豫算ノ追加若クハ更正ヲ爲スコトヲ得

第八十條 豫算外ノ支出若クハ豫算超過ノ支出ニ充ツル爲ニ豫備費ヲ設クヘシ但シ區會ノ否決シタル費目ニ充ツルコトヲ得ス

豫備費ノ支出ハ後日區會ノ認定ヲ求ムルコトヲ要ス

區ノ費用ヲ以テ支辨スヘキ事業ニシテ數年ナ期シ施行スヘキモノ又ハ數年ナ期シテ其ノ費用ヲ支出スヘキモノハ區會ノ議決ヲ經テ其ノ年期間各年度ノ支出額ヲ定メ繼續費ト爲スコトヲ得

區ハ區規則ヲ以テ特別會計ヲ設クルコトヲ得

豫算調製ノ式並費目流用ニ關スル規程ハ内務大臣ノ許可ヲ得テ沖繩縣知事之ヲ定ム豫算ハ區會ノ議決ヲ經タル後直ニ之ヲ沖繩縣知事ニ報告シ並地方所定ノ公告式ニ依リ其

ノ要領ヲ公告スヘシ
第八十一條 豫算ノ議決ヲ經タルトキハ區長ヨリ其ノ謄本ヲ收入役ニ交付スヘシ其ノ豫算中監督官廳ノ許可ヲ受クヘキ事故アルトキハ先ツ其ノ許可ヲ受クヘシ

收入役ハ區長ノ命令アルニ非サレハ支拂ヲ爲スコトヲ得ヌ區長ノ命令ヲ受クルモ其ノ支出豫算中豫定ナキカ又ハ其ノ命令前條第一項ノ規程ニ依ラサルトキハ支拂ヲ爲スコトヲ得ヌ

前項ノ規程ニ背キタル支拂ハ總テ收入役ノ責任ニ歸ス

第八十二條 區ノ出納ハ毎月例日ヲ定メテ検査ヲ行ヒ又每年少クトモ一回臨時検査ヲ行フヘシ

検査ハ區長若クハ其ノ代理者之ヲ行ヒ臨時検査ハ區會ノ選舉シタル議員一名以上ノ立會ヲ要ス

第八十三條 區ノ出納閉鎖ハ翌年度六月三十日ヲ以テ期限トス

決算ハ出納閉鎖期限後一箇月以内ニ證書類ヲ併セテ收入役ヨリ之ヲ區長ニ提出スヘシ區長ハ之ヲ審査シ意見ヲ附シ次ノ通常豫算會議ニ於テ之ヲ區會ニ報告スヘシ

區長ハ決算報告書及之ニ關スル區會ノ議決ヲ沖繩縣知事ニ報告シ並テ地方所定ノ公告式ニ依リ決算ノ要領ヲ公告スヘシ

第五章 區内一部ノ行政

第八十四條 區内ノ一部ニシテ所有財産若クハ營造物ニ付其ノ部限リ特ニ其ノ費用ヲ負擔

スルトキハ沖繩縣知事ハ區會ノ意見ヲ聞キ内務大臣ノ許可ヲ得テ財産營造物ニ關スル事務ノ爲部會ヲ設クルコトヲ得

前項部會ノ組織選舉職務權限處務規程等ハ内務大臣ノ許可ヲ得テ沖繩縣知事之ヲ定ム

第八十五條 前條ニ記載スル事務ニ付此ノ勅令ノ規程ニ依リ難キ事項其ノ他部ニ關シ特ニ必要ナル事項ハ内務大臣ノ許可ヲ得テ沖繩縣知事之ヲ定ム

第六章 區行政ノ監督

第八十六條 區行政ハ第一次ニ於テ沖繩縣知事之ヲ監督シ第二次ニ於テ内務大臣之ヲ監督ス

第八十七條 此ノ勅令ニ規定スル異議、訴願若クハ訴訟ハ處分ヲ爲シ又ハ決定書若クハ裁決書ヲ交付シタル日ヨリ二十一日以内ニ提起スヘシ但シ此ノ勅令中別ニ期限ヲ定メタルモノハ此ノ限ニ在ラス

第八十八條 監督官廳ハ區行政ノ法律命令ニ背戾セサルヤ其ノ事務錯亂滯滞セサルヤ否ヲ監視スヘシ監督官廳ハ之カ爲ニ行政事務ニ關シテ報告ヲ爲サシメ豫算決算等ノ書類帳簿ヲ徴シ並實地ニ就テ事務ヲ視察シ出納ヲ檢閲スル權ヲ有ス

監督官廳ハ區行政ヲ監督スル爲ニ必要ナル命令ヲ發シ處分ヲ爲ス權ヲ有ス

内務大臣ハ沖繩縣知事ノ區行政ニ關シテ爲シタル命令若クハ處分ヲ停止シ若クハ取消スコトヲ得

第八十九條 沖繩縣知事ハ區ノ豫算中不適當ノ支出ト認ムルモノアルトキハ之ヲ削減スル旨ヲ得其ノ支出ヲ削減スル場合ニ於テ之ニ相當スル收入ヲ削減スヘシ

前項沖繩縣知事ノ處分ニ不服アル區會ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

本條ノ訴願ヲ爲ス處分ノ執行ヲ停止セシムルハ、
第九十條 區會ノ解散ハ内務大臣之ヲ命ス此ノ場合ニ於テハ三箇月以内ニ議員ヲ選舉スヘシ
沖繩縣知事ハ十日以内ニ於テ區會ノ停會ヲ命スルコトヲ得

第九十一條 區條例ノ設定ハ内務大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

第九十二條 左ニ掲クル事件ハ内務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

- 一 區債ヲ起シ並借入ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定メ若クハ變更スル事但シ第七十七條末項ノ借入金ハ此ノ限ニ在ラス
- 二 特別稅ヲ新設シ若クハ變更スル事
- 三 直接國稅二分ノ一ヲ超過スル附加稅ヲ賦課スル事
- 四 間接國稅ノ附加稅ヲ賦課スル事
- 五 國庫ヨリ直接ニ交付スル補助金ニ對シ支出金額ヲ定メ若クハ變更スル事

第九十三條 左ニ掲クル事件ハ沖繩縣知事ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

- 一 區規則ヲ設定スル事
- 二 使用料手数料ヲ新設シ若クハ變更スル事
- 三 縣廳ヨリ交付スル補助金ニ對シ支出金額ヲ定メ若クハ變更スル事
- 四 學藝美術ニ關シ又ハ歷史上貴重ナル物件ノ賣却交換讓渡質入書入若クハ大ナル變更ヲ爲ス事

五 區有不動産ノ賣却交換讓渡並質入書入ヲ爲ス事

六 基本財産及積立金穀等ノ處分ヲ爲ス事

七 各種ノ保證ヲ與フル事

八 繼續費ヲ定メ若クハ變更スル事

九 均一ノ稅率ニ依ラスシテ國稅ノ附加稅ヲ賦課スル事

第十 第七十二條第七十三條ニ依リ區住民ノ一部若クハ區内ノ一部ニ費用ヲ負擔セシムル事

第十一 第七十四條ノ準率ニ依ラスシテ夫役現品ヲ賦課スル事

第九十四條 沖繩縣知事ハ部長委員其ノ他區吏員ニ對シ懲戒處分ヲ行フ其ノ懲戒處分ハ譴責(二十五圓以下)ノ過怠金及解職トス

前項解職ノ處分ハ職務ニ違背シ若クハ職務ヲ曠廢スル者又ハ行狀ヲ亂リ廉恥ヲ失フ者ニ對シテ之ヲ行フモノトス

隨時解職スルコトヲ得サル吏員ニシテ第一項解職ノ處分ニ不服アル者ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得其ノ訴願ノ爲ニ處分ノ執行ヲ停止セシム

第七章 附則

第九十五條 此ノ勅令施行ノ時期ハ内務大臣之ヲ定ム

第九十六條 此ノ勅令ヲ施行スル場合ニ於テ初メテ區ト爲ス地ハ那霸首里ノ各區域トス

第九十七條 此ノ勅令ニ於テ直接稅若クハ間接稅トスヘキ類別ハ内務大臣及大藏大臣之ヲ告示ス

二十九年內務省令第二號ヲ以テ施行ス
一九二九年四月一日ヨリ

第九十八條 此ノ附則ニ規定スルモノヲ除ク外此ノ勅令施行ニ付必要ナル事項ハ内務大臣
之ヲ定ム

○府縣會規則 明治十三年四月
第十五號布告

沿革略記 明治十一年七月第十八號布告ヲ以テ府縣會規則ヲ制定ス●十三年七月第十
五號布告ヲ以テ前令ヲ改正ス

明治十一年七月第十八號布告府縣會規則左ノ通改正候條此旨布告候事

第二章 總則

第一條 府縣會ハ地方稅ヲ以テ支辨スヘキ經費ノ豫算及ヒ其徵收方法ヲ議定ス

第二條 府縣會ハ通常會ト臨時會トノ二類ニ分ツ其定期ニ於テ開ク者ヲ通常會トナシ臨時

ニ開ク者ヲ臨時會トス

第三條 通常會臨時會ヲ論セス會議ノ議案ハ總テ府知事「縣令」ヨリ之ヲ發ス

第四條 臨時會ハ其特ニ會議ヲ要スル事件ニ限リ其他ノ事件ヲ議スルヲ得ス

第五條 府縣會ノ議決ハ府知事「縣令」認可ノ上之ヲ施行スヘキ者トス若シ府知事「縣令」其

議決ヲ認可スルカラスト思慮スルトキハ其事由ヲ「内務卿」ニ具狀シテ指揮ヲ請フヘシ

前項ノ場合ニ於テ府知事「縣令」ハ時宜ニ依リ之ヲ再議ニ付スルヲ得再議ノ後猶其議決ヲ

認可スヘカラスト思慮スルトキハ「内務卿」ノ指揮ヲ請フコト前項ニ同シ(十四年第四號布
告)ヲ以テ本項追加

二十三年法律
第三十五號府
縣會規則後ハ
廢止ス

十五年第十一
號法律以テ明
會中議員選舉
ヲ許サハル旨
ヲ達ス

第六條 府縣會ハ每年通常會議ノ初メニ於テ地方稅ニ係ル前年度ノ出納決算ノ報告書ヲ受
ケ府知事「縣令」ニ說明ヲ求ムルコトヲ得若シ意見スルトキハ議長ノ名ヲ以テ直チニ「内
務大藏兩卿」ニ上申スルコトヲ得(本項追加)

出納決算ノ報告書ニ付府縣會ヨリ說明ヲ求ムルトキハ府知事「縣令」若クハ其代理人之ヲ
說明スヘシ(十五年第六十八號布
告)ヲ以テ本項追加

第七條 通常會期中議員ノ内二人以上ノ發議ヲ以テ其府縣内ノ利害ニ關スル事件ニ付建議

ヲナサントスル者アラハ先ツ議會ノ許可ヲ得テ之ヲ會議ニ付シ可決スルトキハ其會ノ所

見トシ議長ノ名ヲ以テ直チニ「内務卿」ニ建議シ又ハ府知事「縣令」ニ建議スルヲ得(十五年
布告)ヲ以テ本條
改正但書追加

但臨時會ニ於テハ其會議ヲ要シタル事件ニ限リ建議スルヲ得

第八條 府縣會ハ府知事「縣令」ヨリ其府縣内ニ施行スヘキ事件ニ付會議ノ意見ヲ問フコト
アルトキハ之ヲ議ス

第九條 府縣會ハ議事ノ細則ヲ議定シ府知事「縣令」ノ認可ヲ得テ之ヲ施行スルコトヲ得

府縣會ハ議員ノ内招集ニ應セス又ハ事故ヲ告ケスシテ參會セサル者ヲ審査シ其退職者ヲ
ルヲ決スルヲ得

府知事「縣令」ト府縣會トノ間ニ於テ法律ノ見解ヲ異ニシ又ハ權限ヲ爭フコトアルトキハ

雙方ヨリ其事由ヲ具狀シ政府ノ裁定ヲ請フヘシ此場合ニ於テ府知事「縣令」ハ其議事若ク

ハ會議ヲ中止スルコトヲ得(十四年第四號布告)
ヲ以テ本項追加

第三章 選舉

(以下各條均依本條規定)

第十條 府縣會以議員外郡區以大小三依前每郡區五人以下ヲ選ブ
每郡區定數外補闕員トシ十人以下ヲ増選スルヲ得(十五年第十號布告)

第十一條 議長副議長ハ議員中ヨリ公選シ之ヲ府知事「縣令」ニ報告シ府知事「縣令」ハ之ヲ
「內務卿」ニ報告ス(十五年第十號布告)

議長副議長及ヒ議員ハ俸給ナシ但會期中滞在日當及ヒ往復旅費ヲ給ス其額ハ會議ノ議決
ヲ以テ之ヲ定ム

第十二條 書記ハ議長之ヲ選ビ庶務ヲ整理セシム其俸給ハ會費ノ中ヨリ之ヲ支給ス

第十三條 府縣ノ議員タルコトヲ得ヘキ者ハ滿二十五歲以上ノ男子ニシテ其府縣内ニ本籍
ヲ定メ滿三年以上住居シ其府縣内ニ於テ地租十圓以上ヲ納ムル者ニ限ル但左ノ各款ニ觸
ル者ハ議員タルコトヲ得ス

第一款 風癩白痴ノ者
第二款 舊法ニ依リ一年以上懲役及國事犯禁獄ノ刑ニ處セラレ滿期後五年ヲ經サル者
(十五年第十號布告)
(十五年第十號布告)
新法ニ依リ公權ヲ剝奪及停止セラレタル者又ハ一年以上輕重禁錮ノ刑ニ處セラレ主

刑滿期後五年ヲ經サル者(十五年第十號布告)
第三款 身代限ノ處分ヲ受ケ負債ノ辨償ヲ終ヘサル者(十五年第十號布告)

第四款 官吏教導職及陸海軍諸卒現役ノ者(十五年第十號布告)

十七年第十九號布告
府縣會規則
施行

第五款 府縣會ニ於テ退職者トセラレタル後四年ヲ經サル者

第十四條 議員ヲ選舉スルヲ得ヘキ者ハ滿二十歲以上ノ男子ニシテ其郡區内ニ本籍ヲ定メ
其府縣内ニ於テ地租五圓以上ヲ納ムル者ニ限ルヘシ

但前條ノ第一款第二款第三款第五款ニ觸ル者及陸海軍軍人現役ノ者ハ選舉人タルコ
トヲ得ス(十五年第十號布告)

第十五條 (十二年法律第六號ヲ以テ本條廢止)
第十六條 選舉ノ投票ハ豫定ノ日ニ郡區廳ニ於テ之ヲ爲シ郡區長之ヲ調査シ選舉會中ノ取
締ヲ爲スヘシ但便宜ニ因リ郡區廳外ニ於テ選舉會ヲ開クコトヲ得

第十七條 (十二年法律第六號ヲ以テ本條廢止)
第十八條 (十二年法律第六號ヲ以テ本條廢止)
第十九條 (十二年法律第六號ヲ以テ本條廢止)

第二十條 一人ニシテ數郡區ノ選ニ當ルトキハ其何レノ郡區ニ屬スヘキハ當人ノ好ニ任ス
ヘシ

第二十一條 議員ノ任期ハ四年トシ二年毎ニ全數ノ半ヲ改選ス第一回二年期ノ改選ヲ爲ス
ハ抽籤法ヲ以テ其退任ノ人ヲ定ム

第二十二條 (議長副議長ノ任期ハ二年トシ議員ノ改選毎ニ之ヲ公選スヘシ)

第二十三條 前二條ノ場合ニ於テハ前任ノ者ヲ再選スルコトヲ得

第二十四條 議員中第十三條ニ掲クル諸款ノ場合ニ遭遇スルカ其府縣外ニ轉籍スルカ其他

十二年法律第六號
府縣會規則
施行

總て關員アルトキハ更ニ之ニ代ル者ヲ選舉ス(十五年第十號布告ヲ以テ轉任ニ轉籍ト改ム)

但補關員アルトキハ順次投票ノ多數ヲ以テ之ヲ取リ尙關員アルトキハ本條末文ノ手續ニ據ル(十五年第十號布告ヲ以テ但普通追加)

第三章 會議規則

第二十五條 議員半数以上出席セザレバ當日ノ會議ヲ開クヲ得ス

第二十六條 會議ハ過半数ニ依テ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ可否スル所ニ依ル

第二十七條 一府知事「縣令」若クハ其代理人ハ會議ニ於テ議案ノ旨趣ヲ辨明スルヲ得但決議ノ數ニ入ルコトヲ得ス

第二十八條 會議ハ傍聽ヲ許ス但府知事「縣令」ノ要メニ依リ又ハ議長ノ意見ヲ以テ傍聽ヲ禁スルヲ得

第二十九條 議員ハ會議ニ方リ充分討論ノ權ヲ有ス然レモ人身上ニ付テ褒貶毀譽ニ涉ルコトヲ得ス

第三十條 議場ヲ整理スルハ議長ノ職掌トス若シ規則ニ背キ議長之ヲ制止シテ其命ニ順ハサル者アルトキハ議長ハ之ヲ議場外ニ退去セシムルヲ得其強暴ニ涉ル者ハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルヲ得

第四章 開閉

第三十一條 府縣會ハ毎年一度十一月ニ於テ之ヲ開ク其開閉ハ府知事「縣令」ヨリ之ヲ命ス會期ハ三十日以内トス但區郡部會ヲ開ク地方ニ於テハ七日以内延期スルコトヲ得(十五年第十號布告ヲ以テ改正)

八號布告十七年第二十

第三十二條 通常會期以外會議ニ付スベキ事件アルトキ府知事「縣令」ハ臨時會ヲ開クコトヲ得其會期ハ七日以内トス但該會ヲ要スル事由ヲ直ニ「內務卿」ニ報告スベシ(十五年第六號布告ヲ以テ改正)

第三十三條 會議ノ論說國ノ安寧ヲ害シ或ハ法律又ハ規則ヲ犯スコトアリト認ムルトキハ府知事「縣令」ハ會議ヲ中止セシメ「內務卿」ニ具狀シテ其指揮ヲ請フヘシ

府縣會ニ於テ若シ法律上議定スベキ議案ヲ議定セス又ハ會期內ニ於テ議案ヲ議決シ終ラサルトキハ府知事「縣令」ハ更ニ其議定ヲ要セス「內務卿」ニ具狀シ其認可ヲ得テ之ヲ施行スルコトヲ得(十四年第四號布告ヲ以テ本項追加)
議員招集ニ應セサル者半数ヲ過キ議會ヲ開クヲ得サルコトアルトキハ府知事「縣令」ハ其事由ヲ「內務卿」ニ具狀シ指揮ヲ請フヘシ(十四年第四號布告ヲ以テ本項追加)

第一項ノ場合ニ於テ「內務卿」ハ府縣會ヲ停止スルコトヲ得而シテ更ニ開會ヲ命スル迄ノ間ハ府知事「縣令」ニ於テ地方稅ノ經費豫算及徵收方法ヲ定メ「內務卿」ノ認可ヲ得テ之ヲ施行スルコトヲ得(十五年第六十八號布告ヲ以テ本項追加)

第二十四條 會議中國ノ安寧ヲ害シ或ハ法律又ハ規則ヲ犯スコトアリト認ムルトキハ「內務卿」ハ何レノ時ヲ問ハズ議員ノ解散ヲ命スルコトヲ得(十四年第四號布告ヲ以テ)

前項ノ場合ニ於テ前議員ノ未タ議定セサル議案アルトキハ後任議員ヲシテ之ヲ議定セシムヘシ(十四年第四號布告ヲ以テ本項追加)

府縣會議規則

第三十五條 内務卿ヨリ解散ヲ命シタルトキハ其解散ヲ命シタル日ヨリ九十日以内ニ更ニ議員ヲ改選スヘシ

第五章 常置委員(十三年第四十九號布告ヲ以テ本章追加)

第三十六條 府縣會ハ其議員中五人以上七人以下ノ常置委員ヲ選任スヘシ

常置委員定數ノ外數名ヲ増選シ闕員アルトキハ順次投票ノ多數ヲ以テ之ヲ補充スルヲ得(十五年第十號布告ヲ以テ本項追加)

區部會郡部會ヲ開設シタル府縣ニ在テハ區郡各部ニ之ヲ選任スヘシ(十五年第十號布告ヲ以テ本項追加)

第三十七條 常置委員ハ府縣會ノ議定ニ依リ事業ヲ執行スルノ方法順序及豫備費ノ支出ニ付府知事縣令ヨリ諮問アルトキハ其意見ヲ述フ(十五年第六十八號布告ヲ以テ本項改正)

常置委員ハ地方稅ヲ以テ支辨スヘキ事業ニシテ臨時急施ヲ要スル場合ニ於テハ其經費ノ豫算及徵收方法ヲ議決シ追テ府縣會ニ報告スルヲ得(十五年第六十八號布告ヲ以テ本項追加)

第三十八條 常置委員ハ通常府縣會議ノ初メ委員會議ニ於テ議決シタル事件ノ要領ヲ報告シ且通常會ト臨時會トヲ論セス府知事「縣令」ヨリ發スヘキ議案ヲ前以テ請取り會議ニ向テ其意見ヲ報告スヘシ

第三十九條 常置委員會議所ハ府縣廳内ニ置キ定日ニ會議スヘシ

第四十條 常置委員ノ諮問會議ニ別ニ議案書ヲ用ユルヲ要セス(十五年第十號布告ヲ以テ常置委員ノ下諮問ノ二字ヲ加フ)

第四十二條 諮問會ハ府知事「縣令」ヲ以テ議長トナシ其他ノ會議ハ委員中ヨリ之ヲ選舉スヘシ(十五年第十號布告ヲ以テ改正)

第四十二條 常置委員ハ半數以上出席セザレバ當日ノ會議ヲ開クヲ得ス會議ハ過半數ニ依リテ決ス可同數ナルトキハ議長ノ可否スル所ニ依ル

第四十三條 常置委員會議ノ議事ハ書記ヲシテ筆記セシムヘシ

第四十四條 府知事「縣令」ハ主務ノ僚屬ヲ委員會議ニ出シ其會議ニ係ル事件ニ付辯明ヲ爲サシムルヲ得

第四十五條 常置委員會議ハ傍聽ヲ許サス

第四十六條 常置委員ノ任期ハ二年トシ議員ノ改選毎ニ之ヲ改選ス但期限ニ至リ再選スルヲ得(十五年第十號布告ヲ以テ二年トシ下議員云々ノ十三字ヲ加フ)

第四十七條 常置委員會議所ノ書記ハ府縣ノ屬官中ヨリ府知事「縣令」之ヲ選任ス(十五年第十號布告ヲ以テ議長ヲ府知事縣令ト改ム)

第四十八條 常置委員ハ三拾圓以上八拾圓以下ノ月手當及ヒ往復旅費ヲ給ス其額ハ府縣會ノ議決ヲ以テ定ム

第四十九條 常置委員ノ月手當旅費其他委員會議所ノ費用ハ地方稅ヨリ支給ス

○審理裁定事務手續(十四年十月第九十一號布告)
今般參事院ヲ被置候ニ付本年二月第六號送審理局ヲ被廢事務手續左ノ通被定候條此旨相違候事

但本文ハ候ハ府縣會ニ達シ置クヘシ

第一條 本年第四號布告府縣會議規則第九條追加ニ依リ府知事縣令及府縣會ヨリ裁定ヲ請フ具狀書ハ府知事縣令ニ於テ之ヲ取經メ法制局長官ニ當テ差出スヘシ(十八年第七十八號法律ヲ以テ參照)

第二條 裁定ヲ要スル事件具狀書ヲ以テ悉サ、ルコトアルトキハ府知事縣令若クハ其代理人及府縣會總代自ラ法制局ニ出頭シテ之ヲ辯明シ又ハ法制局ヨリ之ヲ召喚シテ尋問スルコトアルヘシ(十八年第七十八號法律ヲ以テ參照)

但府縣會總代ハ其議員タル者ニ限ル

第三條 裁定書ハ其議決ノ理由ヲ詳記シ審理委員連署シテ之ヲ發付スヘシ

○府縣會市町村及衆議院ノ議員資格ヲ有セサル官吏并非職休職者議員又ハ市町村ノ吏員タルトキノ手續(十二年六月十八號法律)

府縣會規則第十三條市制町村制第十五條衆議院議員選舉法第九條第十條ニ記載シタル官吏ハ在職者ノミニ限ルモノトス

非職者休職者ニシテ議員又ハ市町村ノ吏員タラシトスルトキハ本屬長官ノ許可ヲ受クヘシ

○府縣會議員選舉規則 明治二十二年二月 法律第六號

朕府縣會議員選舉規則ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

府縣會議員選舉規則

第一條 戶長ハ毎年九月十五日ヲ期トシ其役場管内ノ選舉人名原簿ヲ調査シ其副本ヲ十月一日迄ニ郡長ニ差出スヘシ

選舉人名原簿ニハ選舉人ノ氏名住所生年月納ムル所ノ地租ノ總額并ニ其納稅地ヲ記載スヘシ

第三條 郡長ハ戶長ヨリ差出ス所ノ原簿ヲ調査シ毎年十月十五日ヲ期トシ其役所管内

二十三年法律
第三十五號府
縣制實施後ハ
廢止ス

ノ選舉人名簿ヲ調製スヘシ

第三條 區長ハ毎年九月十五日ヲ期トシ其役所管内ノ選舉人名原簿ヲ調製シ十月十五日ヲ期トシ選舉人名簿ヲ調製スヘシ

選舉人名原簿ニ記載スヘキ事項ハ第一條第二項ニ同シ

第四條 府縣會規則第十三條ノ年齡及ヒ年限ヲ算スルハ選舉人名簿調製ノ期日ヲ以テ限界ト爲シ其地租納額ヲ算スルハ原簿調製ノ期日ヨリ前一年以上之ヲ納メ猶引續キ納ムル者ニ限ルヘシ但家督ニ依リ財產ヲ相續シタル者ハ前財產主ノ納稅額ヲ以テ其者ノ納稅額ニ算入スヘシ

第五條 選舉人其住居スル區町村ノ外ニ於テ地租ヲ納ムルトキハ其納稅地區戶長ノ證狀ヲ添ヘ選舉人名原簿調製ノ期日迄ニ其住居地ノ區戶長ニ届出ヘシ

前項ノ届出ヲ爲サ、ル納稅額ハ選舉及ヒ被選舉ノ資格ニ算入スルコトヲ得ス

第六條 郡區長ハ十月二十日ヨリ十五日間其役所管内ノ選舉人名原簿及ヒ選舉人名簿ニ寫シ其郡區役所ニ於テ縱覽セシムヘシ但關係者ノ請求アルトキハ戶長役場ニ於テモ其調製シタル原簿ニ寫シ示スヘシ

第七條 選舉資格アル者選舉人名簿ニ於テ脱漏又ハ誤載アルコトヲ發見シタルトキハ其縱覽期限内ニ之ヲ郡區長ニ申立ヘシ

第八條 郡區長ニ於テ脱漏又ハ誤載ノ申立ヲ受ケタルトキハ十日以内ニ之ヲ審査判定シ其申立正當ナルトキハ直ニ其人名簿ヲ記入又ハ削除シ其由ヲ管内ニ告示スヘシ但郡

第九條 前條審査を爲す必要ありし場合ニ於テ之ヲ申立人又ハ當人ヲ召喚審問スルコトヲ得
得該管區内ニシテ之ヲ審問スルコトヲ得

第十條 申立人又ハ當人ニ於テ郡區長外判定ニ不服スルトキハ判定ヨリ七日以内ニ始審裁判所ニ出訴スルコトヲ得但其判定ハ出訴ノ爲メ停止セサルモノトス

第十一條 始審裁判所ニ於テ前條ノ訴訟ヲ受取タル下キハ他ノ訴訟ノ順序ニ拘ハ
ズ其速ニ其裁判ヲ爲スベシヨリ十五日間其管区内ノ選舉人ノ訴訟ノ順序ニ拘ハ
ズ

第十二條 前條ニ始審裁判所ノ裁判以上告スルコトヲ得ト雖モ控訴スルコトヲ許サス
但其裁判ヲ止告メ爲メ停止セザルモノトス

第十三條 選舉人名簿ハ十一月十五日ヲ以テ確定期限トシ次年ノ改正期日迄之ヲ据置
キモ其後但裁判言渡ニ依リ訂正スヘキモノハ郡區長ニ於テ其言渡ヲ受ケタルトキ
ヨリ二十四時間以内ニ之ヲ訂正シ其由夫管内ニ告示スヘシ但郡ニ在テハ仍ホ當人住
居地ノ戸長ニ通知スヘシ

第十四條 前項ノ外次年ノ改正期日前ト雖モ選舉ヲ行フ前ニ於テ選舉權ヲ失ヒ若クハ選舉權ヲ
有セザルコトヲ發見シタル場合ニ於テハ郡區長ハ其人名ヲ削除スヘシ
毎年確定シ選舉人名簿ハ臨時ハ補闕選舉ニモ之ヲ使用スルモノトス

第十五條 選舉投票ハ通常二月若クハ三月ニ於テ之ヲ行フヘシ但解散及ヒ補闕選舉ノ
場合ハ此限ニ在ラズ

前項ノ時期ハ府縣ノ情況ニ依リ府縣知事ニ於テ府縣會ノ議決ヲ取り内務大臣ノ認可
ヲ經テ之ヲ變更スルコトヲ得

第十六條 議員選舉スヘキ年キ少クトモ二箇月前ニ府縣知事ヨリ其月日、選舉開
會并ニ投票函閉鎖時刻、選舉ヲ行フヘキ郡區名及ヒ選舉スヘキ議員ノ數ヲ記シ
之ヲ管内ニ告示スヘシ若シ正議員外補闕員ヲ増選ヲ要スルトキハ各別ニ其數ヲ記
スヘシ

第十七條 選舉開會ヨリ投票函閉鎖迄ノ時間ハ四時間以上十時間以内タルヘシ
第十八條 前條ノ告示ヲ行フヘキ郡區長ハ前條各事項并ニ選舉開會ノ場所ヲ管内
ニ告示スヘシ

第十九條 郡區長ハ其管内ノ選舉人中ヨリ立會人五名ヲ定メ遲クトモ選舉ノ期日ヨリ
五日以前之ヲ本会ニ通知シ選舉ノ當日選舉會場ニ參會セシムヘシ

第二十條 選舉分會ヲ設ケタル場合ニ於テハ本會分會トシテ各其會場所屬ノ選舉人ニ就キ前項ニ
依リ立會人ヲ定ムヘシ

第二十一條 立會人ハ正當ノ事故アリテ其職ヲ辭スルコトヲ得ズ立會人若シ選舉開會ノ時刻ニ
至リ出頭セザルコトキハ參會ノ選舉人中最多額ノ地租ヲ納ムル者ヲ以テ假ニ其闕ヲ補
フ

第二十二條 郡區長ハ選舉會場ヲ管理スヘシ郡區長事故アルトキハ代理
書記ヲ以テ之ヲ充テシ

選舉會書記ハ郡區長ニ於テ郡區書記中ヨリ之ヲ命スヘシ

第十九條 選舉人ハ選舉開會ノ時刻ヨリ投票函閉鎖ノ時刻ニ至ル迄何時タリトモ到着
ノ順序ニ從ヒ投票スルコトヲ得

第二十條 選舉會場ニハ錠ヲ付シタル投票函及選舉錄並ニ筆墨ヲ備ヘ置クヘシ
投票函ハ投票ニ先テ參集シタル選舉人ノ面前ニ於テ之ヲ開キ其空虛ナルコトヲ示ス
立會人ニ示ス

第二十一條 投票用紙ハ府縣知事ノ定ムル所ニ依リ各郡區ニ於テ一定ノ式ヲ用非投票
用紙外選舉會場ニ備ヘ置キ選舉會長又ハ書記ヨリ之ヲ各選舉人ニ交付スヘシ

議員ハ爲メノ用紙ト爲シ乙種ハ補闕員ノ爲メノ用紙ト爲スヘシ

第三十二條 前選舉人ハ自ら投票ヲ行フヘシ代人ニ託スルコトヲ得ス

第三十三條 選舉人ハ選舉會場ニ於テ投票用紙ニ被選舉人並ニ自己ノ氏名ヲ記シ捺印
スヘシ但氏名ノ外住所若クハ位階勳等其他敬稱ノ類ヲ記スルハ妨ケナシ

第三十四條 選舉人投票ヲ爲サントスルトキハ選舉會長ハ其住所氏名ヲ選舉人名簿ニ
照シ名簿ニ消印ヲ捺シ選舉人ヲシテ自ラ之ヲ投票函ニ投入セシムヘシ

第三十五條 選舉人ニシテ文字ヲ書スルコト能ハサル由ヲ申立ルトキハ選舉會長ハ書
記ヲシテ代書セシメ之ヲ本人ニ讀聞セ並ニ立會人ニ示シタル後捺印投票セシムヘシ
第三十六條 選舉ニ關スル吏員及被選舉人ノ外何人タリトモ選舉會場ニ入ルコトヲ得

ス但會場臨視ノ職權アル官吏ハ此限ニアラス

第二十七條 選舉人名簿ニ記載セラレタル者ノ外投票スルコトヲ得ス但記載セラルヘ
キ裁判言渡書ヲ所持シテ參會スル者ハ此限ニ在ラス

第二十八條 選舉人ハ會場ニ於テ演說討論ヲ爲シ若クハ喧噪ニ涉リ又ハ互ニ投票ヲ勸
誘スルコトヲ得ス

第二十九條 選舉會場ニ於テ秩序ヲ紊ル者アルトキハ選舉會長ハ之ヲ警戒シ其命ニ從
ハサルトキハ之ヲ會場外ニ退出セシムヘシ但其投票ヲ爲サシムル爲メ再ヒ之ヲ呼入
ルコトヲ得

選舉會長ハ會場取締ノ爲メ必要ト認ムルトキハ警察官ノ助力ヲ求ムルコトヲ得

第三十條 選舉權ナク又ハ他人ノ氏名ヲ詐稱シテ投票セントスル者アルトキハ選舉會
長ハ其投票ヲ取上クヘシ

第三十一條 投票函閉鎖ノ時刻ニ至ルトキハ選舉會長ハ其由ヲ宣告シ書記ヲシテ一時
選舉會場ノ入口ヲ鎖カシメ參會者ニ問フニ未ダ投票セサリシ者ナキヤヲ以テシ若シ
之アルニ於テハ直ニ投票セシメタル後投票函ヲ閉鎖スヘシ

第三十二條 選舉會場ニハ點數簿三冊ヲ備ヘ書記二人ヲシテ各一冊ヲ擔任セシムヘ
シ其點數ニ異議ヲ備ヘシ

第三十三條 投票函閉鎖後十分時間ヲ經過スレハ選舉會長ハ立會人ノ面前ニ於テ投票
函ヲ開キ逐次投票ヲ取出シ披封點檢シテ之ヲ書記ニ付シ選舉人被選舉人ノ氏名ヲ朗

讀セシテ點數簿擔任ノ書記若シ被選舉人ノ得點ヲ點數簿ニ記入セシムヘシ
前項ノ點檢中若シ無效ノ投票ヲ發見シタルトキ之ニ抹線ヲ加ヘ一部分無効ノモノ
ハ其部分ニ抹線ヲ加フヘシ

第三十四條 選舉人ハ投票點檢ノ際之ヲ參觀スルコトヲ得

第三十五條 投票點數ヲ記入ヲ終リタルトキハ選舉會長ハ書記ヲシテ各被選舉人得點
ノ合計點數簿ニ記入シテ之ヲ朗讀セシムヘシ

第三十六條 點數記入竝ニ計算其他書記ノ事務ハ總テ選舉會長竝ニ立會人ノ面前ニ於
テ之ヲ爲スヘシ

第三十七條 點數ヲ合計ヲ記入シ終リタルトキハ選舉會長ハ立會人ノ面前ニ於テ多數
ヲ得タル者ヨリ順次ニ其被選舉權ノ有無ヲ査定シ同數ハ年長ヲ取り同年ハ抽籤ヲ用
非其當選ヲ定ムヘシ但即時ニ其當選ニ必要ナル事實ヲ確知シ得サルトキハ調査ニ必
要ナル時日ノ間其査定ヲ延バスコトヲ得

分會ヲ設ケタル場合ニ於テハ第五十條ニ依リ當選ヲ定ムルモノトス
當選タルヘキ多數ヲ得タル者ノ被選舉權ヲ有セサルコトヲ發見シタルトキハ順次其
次點者ヲ以テ當選ト爲スヘシ此場合ニ於テハ郡區長ハ當選者ノ氏名ト共ニ其事由ヲ
告示スルコトヲ得
當選タルヘキ多數ヲ得タル被選舉人他郡區ノ人ニシテ直ニ其當選ヲ定メ難キトキハ
第四十一條ニ依リ之ヲ定ムヘシ

第三十八條 點檢済ノ投票ハ之ヲ取纏メ封緘ノ上選舉會長立會人竝ニ書記之ニ捺印ス
ヘシ

前項ノ投票ハ封印ノ儘附屬書類ト共ニ一年間郡區役所ニ保存スヘシ若シ選舉ニ關シ
訴訟又ハ告訴發アルトキハ一年ヲ過クルモ其裁判確定ニ至ルマテ之ヲ保存スヘシ
第三十九條 左ノ事項ハ之ヲ選舉錄中ニ記入スヘシ

- 一 選舉開會ノ月日竝ニ時刻
- 二 選舉會長及書記ノ氏名
- 三 立會人ノ住所氏名
- 四 第二十七條但書ニ依リ投票セシメタルトキハ其顛末
- 五 第三十條ノ處分ヲ爲シタルトキハ其顛末
- 六 投票函閉鎖ノ時刻
- 七 各被選舉人ノ得點數
- 八 當選人ノ住所氏名若シ直ニ當選ヲ定メ難キトキハ其事由
- 九 選舉閉會ノ時刻
- 十 右ノ外選舉會長ニ於テ緊要ト認ムル事項

第四十條 當選ノ査定ヲ延シタルトキハ其結果ヲ追記スヘシ

第四十條ハ選舉錄ニハ選舉會長立會人竝ニ書記之ニ署名捺印スヘシ

第四十一條 當選タルヘキ多數ヲ得タル被選舉人他郡區ノ人ナルトキハ郡區長ハ其本

籍地ノ郡區長ニ照會シ被選舉權ヲ有スルヤ否ヤシ證明ヲ求ムヘシ若シ其權ヲ有セザルトキハ第三十七條第三項ノ例ニ依ルニ依テ之ヲ證明スルハハ

第四十二條 左ノ投票ハ無効トス
一 選舉人名簿ニ記載ナキ者ノ投票但裁判官渡書ヲ所持シタルニ依リ投票シタル者ハ此限ニアラス

二 成規ノ用紙ヲ用弁サルモノ

三 選舉人又ハ被選舉人ノ氏名ヲ記載セサルモノ

四 選舉人ノ氏名ヲ讀ミ難キモノ又ハ何人タルヲ知ルヘカラサルモノ

五 選舉人被選舉人ノ住所氏名ノ外餘事ヲ記入スルモノ但位階勳等其他敬稱ノ類ヲ

四 記入スルモノハ餘事ト見做スノ限ニアラス

六 被選舉人ノ氏名ヲ讀ミ難キモノ又ハ其何人タルヲ知ルヘカラサルモノ但列記ノ

二 被選舉人ニ付テハ仍ホ其効アリトス

七 被選舉權ナキ者ヲ記載シタルモノ但列記ノ被選舉人ニ付テハ仍ホ其効アリトス

第四十三條 投票ニ記載シ被選舉人其選舉スヘキ定數ニ足サルモノ之ヲ無効トセス又定

數ニ過クルトキハ前條第六第七ニ觸ルモノアルト否トヲ問ハス末尾ヨリ其過數ヲ

順次ニ棄却スヘシ

一人ノ氏名ヲ複記シタルモノハ一人トシテ計算スヘシ

第四十四條 選舉人又ハ被選舉人ノ住所氏名ニ誤字脱字アリ又ハ假名字ヲ用ユルモ其

何人ノ何人ヲ選舉シタルコト明瞭ナルトキハ其投票ヲ有效トスヘシ

第四十五條 投票效力ノ有無ニ付疑義アルトキハ立會人ノ意見ヲ聞キ選舉會長之ヲ決定スヘシ其決定ニ對シテハ選舉會場ニ於テ異議ヲ申立ツルコトヲ得ス

第四十六條 郡區ノ區域廣濶ニ過クルカ又ハ郡區内島嶼ノ地アリテ選舉人ノ參會ニ不

便ナル爲メ已ムヲ得サル場合ニ於テハ郡區長ハ府縣知事ノ指揮ニ依リ又ハ府縣知事

ノ許可ヲ得テ選舉分會ヲ設クルコトヲ得

分會ノ爲メ特ニ選舉人名簿ヲ調製スルヲ要セスト雖モ選舉人名簿中ニ各選舉人所屬

ノ會場ヲ區別シ豫メ分會場所屬ノ區域並ニ開場ヲ管内ニ告示スヘシ

第四十七條 分會ハ本會ト同日時ニ之ヲ開キ投票時間モ亦本會ト同一タルヘシ其他選

舉ノ手續會場ノ取締選舉錄ノ記載等ハ總テ本會ニ準スヘシ但島嶼其他遠隔ノ地ニ限

リ府縣知事ニ於テ適宜其投票ノ期日ヲ異ニシ選舉本會ノ投票期日迄ニ其投票函ヲ送

致セシムルコトヲ得

第四十八條 分會選舉會長ハ上席郡區書記ヲ以テ之ニ充ツヘシ

分會書記ハ郡區長ニ於テ其郡區書記又ハ其地ノ戶長又ハ戶長役場吏員中ヨリ之ヲ命

ズヘシ

第四十九條 分會ニ於テ投票函ヲ閉鎖シタルトキハ之ニ封印シ選舉會長及書記ノ中

少クトモ一名付添直ニ本會場ニ送付スヘシ若シ立會人又ハ他ノ選舉人中同行ヲ望ム

者アルトキハ之ヲ許スヘシ

第五十條 分會ヲ設ケタルトキハ本會場ニ於テハ投票函閉鎖ノ後分會投票函ノ到着ヲ待テ第三十三條ノ手續ヲ爲シ合算ノ上總數ヲ以テ當選ヲ定ムヘシ

第五十一條 當選者ノ定マリタルトキハ郡區長ハ直ニ其旨ヲ當選者ニ通知スヘシ
當選者當選ノ通知ヲ受ケタルトキハ五日以内ニ當選承諾ノ届出ヲ爲スヘシ若シ當選ノ通知ヲ爲シタル日ヨリ十日以内ニ承諾ノ届出ヲ爲サハルトキハ當選ヲ辭シタルモノト見做スヘシ

當選ヲ辭シタル者アルトキハ郡區長ハ次點者ヲ以テ當選者ト爲スヘシ
第五十二條 選舉ノ結果ハ郡區長ヨリ之ヲ府縣知事ニ報告スヘシ

第五十三條 當選者ノ住所氏名ハ府縣知事ニ於テ之ヲ管内ニ告示スヘシ
第五十四條 府縣會規則第十條第二項ニ依リ補闕員ヲ增選スルトキハ其選舉ハ正議員選舉ト同會ニ於テ同時ニ之ヲ行フ但其投票函ハ正議員ノ投票函ト異ニスヘシ

第五十五條 一人ニシテ正議員補闕員ノ選ニ併セ當ルトキハ之ヲ正議員ト爲シ其次點者ヲ以テ補闕員當選ト爲スヘシ
第五十六條 當選ノ査定ニ不服アル關係者ハ當選者ノ氏名告示ヨリ十日以内ニ府縣知事ニ其更正又ハ選舉取消ノ申立ヲ爲スコトヲ得府縣知事ノ判定ニ服セサル者ハ二十日以内ニ控訴院ニ出訴スルコトヲ得但其判決ハ終審トス

第五十七條 當選者確定ノ後其當選者ノ被選舉權ヲ有セザルコトヲ發見スルトキハ府縣知事ハ其當選ヲ取消シ其次點者ヲ以テ當選ト爲スヘシ但此場合ニ於テハ其事由
ヲ管内ニ告示スヘシ

第五十八條 選舉全會ヲ取消シ更ニ選舉ヲ命スルハ其選舉ノ選舉規定ニ違フ場合ニ限ル但規定ニ違フ所アルモ其事ノ輕微ニシテ選舉ノ結果ニ異動ヲ生セス又ハ其事ノ更正シ得ヘキモノハ取消ノ限ニアラス

選舉全會ノ取消ハ府縣知事ヨリ内務大臣ニ具狀シ其認可ヲ經テ之ヲ爲スヘシ但其事由ヲ管内ニ告示スヘシ

第五十九條 納稅額年齢其他選舉資格ニ必要ナル事項ヲ詐稱シ選舉人名簿ニ記載セラレタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス其被選舉資格ニ必要ナル事項ヲ詐稱シテ當選者ト爲リタル者又ハ其資格ヲ有セサルモ其事ヲ告ケスシテ當選者トナリタル者ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

第六十條 投票ヲ得又ハ他人ニ投票ヲ得セシメ若クハ他人ノ爲メニ投票ヲ爲スコトヲ抑止スルノ目的ヲ以テ直接又ハ間接ニ金錢物品ヲ授與シ又ハ授與スルコトヲ約束シタル者ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス其授與又ハ約束ヲ受ケタル者モ亦同シ
直接又ハ間接ニ金錢物品ヲ授與シ又ハ授與スルコトヲ約束シテ投票ヲ得又ハ他人ニ投票ヲ得セシメ若クハ他人ノ爲メニ投票ヲ爲スコトヲ抑止シタル者ハ刑法第二百三十四條ノ例ヲ以テ論ス其授與又ハ約束ヲ受ケテ投票ヲ爲シ又ハ投票ヲ爲サル者モ亦同シ

第六十一條 戎器又ハ兇器ヲ携帯シテ選舉會場ニ入りタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ

二十三年法律
第四十一號

府縣會議員選舉規則

九百十一

罰金ニ處スルハ投票ノ目的ヲ以テ途中又ハ其他ニ於テ選舉人ニ暴行ヲ加ヘ又ハ選舉人ヲ恐嚇スル者又ハ選舉ニ關スル吏員若クハ立會人ニ暴行ヲ加ヘ又ハ暴行ヲ以テ選舉會場ヲ騷擾シ又ハ投票函ヲ抑留、毀壞若クハ劫奪シタル者ハ三月以上一年以下ノ輕禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第六十三條 投票ヲ妨害スルノ目的ヲ以テ途中又ハ其他ニ於テ選舉人ニ暴行ヲ加ヘ又ハ選舉人ヲ恐嚇スル者又ハ選舉ニ關スル吏員若クハ立會人ニ暴行ヲ加ヘ又ハ暴行ヲ以テ選舉會場ヲ騷擾シ又ハ投票函ヲ抑留、毀壞若クハ劫奪シタル者ハ三月以上一年以下ノ輕禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第六十四條 多衆ヲ嘯集シテ前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ六月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス其情ヲ知リ嘯集ニ應ジタル者ハ一月以上六月以下ノ輕禁錮ニ處ス

第六十五條 當選者第五十九條乃至第六十四條ノ刑ニ處セラレタルトキハ其當選ハ無効トス

第六十六條 選舉權ナク又ハ他人ノ氏名ヲ詐稱シテ投票ヲ爲サントシ又ハ投票ヲ爲シタル者ハ二十圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第六十七條 選舉ニ關スル犯罪ハ六箇月ヲ以テ期滿免除トス

第六十八條 府縣會規則第十五條第十七條第十八條第十九條其他本規則ニ牴觸スル規定ハ總テ之ヲ廢止ス

附則ニ依リテハ

衆議院議員選舉法
及衆議院議員選舉法
第一條第一項
第一項第一項
第一項第一項
第一項第一項

明治二十二年ニ於テハ府縣知事ハ本規則規定ノ時期ニ拘ラス選舉人名原簿及ヒ人名簿ヲ調製セシメ規定ノ時期ニ至リ仍ホ之ヲ訂正セシムヘシ

前項ノ名簿調製前議員ヲ選舉法要領ヲ府縣知事於テハ舊名簿ヲ用ユルコトヲ得ト雖モ其他ノ總テ本規則ニ依リテハ

島司ヲ置キタル地ニ於テハ郡長ノ事務ハ島司ニ於テ之ヲ行フヘシ

○府縣會議員選舉ニ衆議院議員選舉法罰則ヲ適用ス明治二十三年五月法律第四十一號

○府縣會議員選舉ニ衆議院議員選舉法罰則ヲ適用スルノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

明治二十二年二月法律第六號府縣會議員選舉規則ニ依ル選舉ニハ府縣制ヲ施行スル迄ノ間衆議院議員選舉法罰則ヲ適用ス但其ノ第二條第一項ニ衆議院議員選舉法第九十三條ニ適用スル場合ニ於テハ府縣會議員選舉規則第六十三條ヲ適用スルモノトス

府縣會議員選舉規則中此ノ法律ニ矛盾スルモノハ効力ヲ有セス

○市制ニ係ル府縣會議員選舉及市公民資格明治二十二年二月法律第七號

除市制施行ニ付府縣會議員ノ選舉及市公民ノ資格ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セ

府縣會議員選舉ニ衆議院議員選舉法罰則ヲ適用ス

シム

第一條 市制ヲ施行スルモ府縣會議員ハ之ヲ改選セス

第二條 郡部ト經濟ヲ異ニスル區ニ市制ヲ施行スルモ府縣會議員選舉ノ區域及區部會郡部會ニ係ル規定並區部議員ノ數ハ總テ從前ノ通タルヘシ但區部ハ改テ市部ト稱スヘシ

區ノ區域ヲ變更シテ市ト爲スニ因リ議員ノ數ヲ増減スヘキトキハ府縣會ノ議決ヲ以テ之ヲ増減スルコトヲ得此場合ニ於テ其退職スヘキ議員ハ抽籤ヲ以テ定メ其増加スヘキ議員ハ新ニ選舉スヘシ

第三條 郡内ノ市街ニ市制ヲ施行スル場合ニ於テモ府縣會議員選舉ノ區域ハ之ヲ變更セス其選舉事務ハ郡長ニ於テ之ヲ管理シ選舉ニ關スル費用ハ郡役所經費ヲ以テ支辨スヘシ

第四條 郡部ト經濟ヲ異ニスル區ニ於テ從來地方稅ヲ以テ支辨シタル事業ニシテ市ノ事業ニ屬スヘキモノハ府縣會ノ議決ヲ以テ市ニ引繼クヘシ

第五條 郡部ト經濟ヲ異ニセサル區ニ市制ヲ施行シ又ハ町村ニ市制ヲ施行シ若クハ町村ヲ區ニ合併シテ市制ヲ施行スル場合ニ於テハ其區費又ハ町村費ヲ二年以來納メタル者ヲ市制第七條ノ市ノ負擔分任者ト看做スヘシ
郡部ト經濟ヲ異ニスル區ニ市制ヲ施行スル場合ニ於テハ府縣會ノ議決ヲ以テ區部地方稅中專ラ區ノ費用ニ支出シタルモノヲ區分シ其區分シタル稅金ヲ二年以來納メタル者ヲ市制第七條ノ市ノ負擔分任者ト看做スヘシ其區分シタル稅金ノ外區費ヲ納メタル者アルトキハ其金額ヲ併算スヘシ

○郡制ヲ施行セサル島嶼ヨリ選出スヘキ府縣會議員ノ選舉ニ關スル件 明治三十年六月 勅令第二百二十七號

朕郡制ヲ施行セサル島嶼ヨリ選出スヘキ府縣會議員ノ選舉ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 郡制ヲ施行セサル島嶼ニ於テハ島嶼内各郡ヲ通シテ之ヲ一選舉區トシ其ノ選出ノ府縣會議員定數ハ內務大臣ノ認可ヲ得テ府縣知事之ヲ定ム

第二條 帝國臣民ニシテ公權ヲ有シ且滿二十五歲以上ノ男子ニシテ一戸ヲ構ヘ島嶼内ニ二年以來住居シ府縣内ニ於テ一年以來直接國稅年額五圓以上ヲ納ムル者ハ府縣會議員ノ選舉權ヲ有ス

帝國臣民ニシテ公權ヲ有シ且滿二十五歲以上ノ男子ニシテ一戸ヲ構ヘ島嶼内ニ二年以來住居シ府縣内ニ於テ一年以來直接國稅年額十圓以上ヲ納ムル者ハ府縣會議員ノ被選舉權ヲ有ス

- 左ニ掲クル者ハ府縣會議員ノ選舉權被選舉權ヲ有セス
- 一 治産ノ禁ヲ受ケタル者
- 一 公權停止中又ハ租稅滯納處分中ノ者
- 一 家資分散若ハ破産ノ宣告ヲ受ケ未ダ復權ノ決定ヲ得サル者

一 公權剝奪者ハ停止ヲ附加スヘキ重罪輕罪ノ爲メ公判ニ付セラレ其ノ裁判ノ確定ニ至リテ止ル者又ハ...

二 陸海軍ニ現役ニ服スル者又ハ現役以外ノ兵役ニ在ル者ニシテ戰時若ハ事變ニ際シテ召集セラレタル者...

本條以外府縣會議員ノ選舉ニ關シテハ府縣制第四條第三項乃至第五項ヲ適用ス

第三條 戶長ハ毎年九月一日ヲ期トシ其ノ現在資格ニ依リ其ノ役場管内ノ選舉人名簿ニ本ヲ調製シ其ノ一本ヲ十月一日マテニ島司ニ送付スヘシ

島司ハ戶長ヨリ送付シタル選舉人名簿ヲ合シ毎年十月二十日マテニ其ノ所管内ノ選舉人名簿ヲ調製スヘシ

第四條 選舉人名簿ニハ選舉人ノ氏名住所生年月並ニ直接國稅年額及其ノ納稅地其ノ他選舉資格ノ要件ヲ記載スヘシ

第五條 選舉人其ノ住居スル戶長役場管外ニ於テ直接國稅ヲ納ムルトキハ其ノ納稅地ノ戶長又ハ市町村長ノ證明書ヲ添ヘ九月一日マテニ其ノ住居地ノ戶長ニ届出ヘシ

前項ノ届出ヲ爲ササルトキハ其ノ納稅額ハ選舉資格ニ算入セス

第六條 島司ハ十月二十五日ヨリ十五日間島廳ニ於テ選舉人名簿ノ寫ヲ關係者ノ縦覽ニ供スヘシ

關係者ニ於テ選舉人名簿ニ關シ異議アルトキハ縦覽期限内ニ之ヲ島司ニ申立ルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ島司ハ其ノ申立ヲ受ケタル日ヨリ十日以内ニ之ヲ決定シ申立

人ニ通知スヘシ島司ニ於テ修正スヘシト決定シタルトキハ選舉人名簿ヲ修正スヘシ

選舉人名簿ハ十二月二十日ヲ以テ確定期限トシ確定名簿ハ次年ノ十二月二十日マテ之ヲ据置テ翌年以下...

確定名簿ニ登錄セラレサル者ハ何人タラズモ選舉ニ干與スルコトヲ得ス

本條島司ヲ決定ニ不服アル者ハ決定ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ府縣參事會ニ訴願シ其ノ府縣參事會ヲ裁決ニ不服アル者ハ裁決ヲ受ケタル日ヨリ二十三日以内ニ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

府縣參事會ヲ裁決確定シ又ハ行政裁判所ノ判決アリタルニ依リ選舉人名簿ノ修正スヘキモノアルトキハ島司ニ於テ其ノ通知ヲ受ケタル時ヨリ二十四時間以内ニ之ヲ修正スヘシ

本條ニ依リ島司ニ於テ選舉人名簿ヲ修正シタルトキハ其ノ要領ヲ公告シ且本人住居地ノ戶長ニ通知スヘシ

第七條 內選舉ノ效力ニ關スル訴願ノ裁決確定シ又ハ訴訟ノ判決アリタルニ依リ選舉人名簿無効ト爲リタルトキハ前選舉人名簿ニ記載スヘキ選舉人資格ニ依リ府縣知事ノ指定シタル期日ヲテニ新ニ名簿ヲ調製スヘキモノトス其ノ縦覽修正ニ關スル期限等ハ總テ前條ノ例ヲ準用ス

第八條 府縣會議員ノ選舉ハ島司之ヲ管理スヘシ

第九條 府縣知事は投票ヲ行フヘキ日ヨリ少クとも三十日前其ノ日時ヲ告示スヘ

キハ島嶼ニ對シテハ府縣知事ハ島司ヲシテ適宜投票ノ期日ヲ變更セシム

天災若ハ其ノ他ノ事故ニ依リ更ニ投票ヲ行フ場合ニ於テハ府縣知事ハ島司ヲシテ其

ノ日時ヲ定メ之ヲ告示セシムヘシ

島嶼内交通不便ノ地ニ對シテハ府縣知事ハ島司ヲシテ適宜投票ノ期日ヲ變更セシム

以テ投票ノ得難キニシテハ

第十條 戸長役場所轄區域ヲ以テ投票所區域ト爲ス

投票所ハ戸長役場又ハ戸長ノ指定シタル場所ニ於テ之ヲ設ケ戸長其ノ事務ヲ管理ス

ヘシテハ

島司ハ事情ニ依リ數戸長役場區域ヲ以テ一投票所區域ト爲スコトヲ得此ノ場合ニ於

テハ島司ハ投票所並投票所管理ノ戸長ヲモ指定スヘシ

第十一條 戸長ハ其ノ管理スル投票區域内ニ於ケル選舉人中ヨリ立會人二名以上五名

以下ヲ選任スヘシ

第十二條 選舉人ノ外何人タリトモ投票所ニ入ルコトヲ得ス

選舉人ハ投票所ニ於テ協議又ハ勸誘ヲ爲スコトヲ得ス

第十三條 選舉人ノ對照ヲ經テ選舉人自ラ投票函ニ投入スヘシ

投票函ハ選舉人名簿ノ對照ヲ經テ選舉人自ラ投票函ニ投入スヘシ

投票函ハ選舉人自ラ投票所ニ於テ被選舉人ノ氏名ヲ記シ次ニ自己ノ氏名及住所ヲ記

シテ捺印スヘシ

第十四條 選舉人ニシテ文字ヲ書スルコト能ハザル由ヲ申立ルトキハ戸長ハ吏員ヲシ

テ代書セシメ之ヲ本人ニ讀ミ聞カセ捺印投票セシム其ノ由ヲ投票録ニ記載スヘシ

第十五條 戸長ハ投票録ヲ製シ投票ニ關スル願未ヲ記録シ立會人ト共ニ之ニ署名捺印

スヘシ

第十六條 投票ヲ終リタルトキハ戸長ハ一名ノ立會人ト共ニ投票函及投票録ヲ選舉會

場ニ護送スヘシ

第十七條 選舉會ハ島廳又ハ島司ノ指定シタル場所ニ於テ之ヲ設ク

第十八條 島司ハ各投票所ヨリ參會シタル立會人中ヨリ抽籤ヲ以テ選舉掛三名以上

七名以下ヲ定ムヘシ

第十九條 島司ハ選舉掛長ト爲リ投票函ノ總テ送達シタル翌日選舉掛立會ノ上投票函

ヲ開キ投票ノ總數ト投票人ノ總數トヲ計算スヘシ若シ投票ト投票人トノ總數ニ差異

ヲ生ジタルトキハ其ノ由ヲ選舉録ニ記載スヘシ

前項ノ計算終リタルトキハ選舉掛長ハ選舉掛ト共ニ投票ヲ點檢スヘシ

第二十條 選舉人ハ選舉會ニ參觀ヲ求ムルコトヲ得

第二十一條 投票ニ記載シタル人員其ノ選舉スヘキ定數ニ過キ又ハ不足アルモ其ノ投

票ヲ無効トス其ノ定數ニ過クルモノハ末尾ニ記載シタル人名ヲ順次ニ棄却スヘシ

左ノ投票票之ヲ無効トス

二 被選舉人ノ氏名讀ミ難キモノ
 三 被選舉人ノ何人タルヲ確認シ難キモノ
 四 被選舉權ヲキ者ノ氏名ヲ記載スルモノ
 以上三種ノ投票中他ニ列記ノ被選舉人ニ付テハ仍其ノ效アルモノトス
 四 選舉人被選舉人ノ氏名ヲ記載セサルモノ
 五 選舉人ノ讀ミ難キモノ
 六 選舉人ノ何人タルヲ確認シ難キモノ
 七 選舉人名簿ニ記載ナキ者ノ投票
 八 第十三條第三項ニ規定シタル外他事ヲ記入スルモノ但シ爵位職業身分住所又ハ
 九 敬稱ノ類ヲ記入スルモノハ無効ト爲ス限ニアラス
 九 投票用紙ヲ一定シタル場合ニ於テ其ノ用紙ヲ用弗サルモノ
 第二十二條 投票ノ效力ニ關スル事項ハ選舉掛之ヲ議決ス可否同數ナルトキハ選舉掛
 長之ヲ決ス
 第二十三條 議員ノ選舉ハ有效投票ノ多數ヲ得タル者ヲ以テ當選トス投票ノ數相同シ
 キトキハ年長者ヲ取リ同年月ナルトキハ選舉掛長自ラ抽籤シテ其ノ當選ヲ定ム
 同時ニ補闕員數名ヲ選舉スル時キハ投票數ノ多キ者ヲ以テ殘任期ノ長キ前任者ノ補
 闕員爲シ投票ノ數相同キトキハ選舉掛長自ラ抽籤シテ其ノ順序ヲ定ム
 第二十四條 選舉掛ハ選舉錄ヲ製シテ選舉ノ顛末ヲ記錄シ之ニ署名捺印シ選舉人名簿

投票錄其ノ他關係書類ト共ニ少クトモ四年間之ヲ保存スヘシ
 投票ハ之ヲ選舉錄ニ附屬シ選舉ノ效力確定スルニ至ルマテ之ヲ保存スヘシ
 第二十五條 二人以上投票同數ニシテ年長ニ依テ當選シタル者其ノ當選ヲ辭シタルト
 キハ年少ニ依テ當選セサリシ者ヲ以テ當選人トス但シ年少ニ依テ當選セサリシ者二
 人以上アルトキハ第二十三條第一項ノ例ヲ適用ス
 二人以上投票同數ニシテ抽籤ニ依テ當選シタル者其ノ當選ヲ辭シタルトキハ抽籤ノ
 爲當選セサリシ者ヲ以テ當選人トス但シ抽籤ノ爲當選セサリシ者二人以上アルトキ
 ハ選舉掛長自ラ抽籤シテ其ノ當選ヲ定ム
 第二十六條 選舉ヲ終リ當選人ノ定タマリタルトキハ島司ハ直ニ當選人ニ通知シ及府
 縣知事ニ報告スヘシ
 當選人其ノ當選ノ通知ヲ受ケタルトキハ二十日以内ニ其ノ當選ヲ承諾スルヤ否ヲ府
 縣知事ニ届出ヘシ
 一人ニシテ數箇所ノ選舉ニ當リタルトキハ同期限内ニ何レノ選舉ニ應スヘキコトヲ
 府縣知事ニ届出ヘシ
 前二項ノ届出ヲ其ノ期限内爲ササルトキハ總テ選舉ヲ辭スル者ト視做スヘシ
 第二十七條 當選人其ノ當選ヲ辭シタルトキハ府縣知事ハ更ニ選舉ヲ行ハシムヘ
 シ
 第二十八條 府縣會議員ノ選舉ニ關シテハ衆議院議員ノ選舉ニ關スル罰則ヲ適用

第二十九條 此ノ勅令施行ノ爲必要ナル命令ハ内務大臣之ヲ定ムヘシ

○區郡部會規則 明治十四年二月 第八號布告

東京府京都府大阪府神奈川縣區郡部會規則左ノ通相定メ明治十三年五月第二十六號及第二十七號布告廢止候條此旨布告候事

二十二年法律第七號ヲ以テ市郡ト稱ス

但三府神奈川縣ノ外區制ヲ設ゲタル諸縣ニ於テハ政府ノ裁可ヲ經テ此規則ヲ施行スルコトヲ得(十四年第二十號布告ヲ以テ但書追加)

第一條 三府及ヒ神奈川縣ニ於テハ府縣會ヲ分テ區部會郡部會トナシ區部郡部ニ分別シタル事件ヲ議定セシム

第二條 區部會郡部會ニ於テ議定スヘキ事件ト府縣會ニ於テ議定スヘキ事件トハ府縣會ニ於テ之ヲ議定ス

第三條 府縣會規則第十條ノ定限外ニ於テ區部議員ノ增加ヲ要スルトキハ府知事縣令ヨリ内務卿ニ具狀シ其認可ヲ得テ其定限ヲ殊ニスルコトヲ得

第四條 府縣會ハ區部郡部議員各半數以上出席スルニアラザレハ其日ノ會議ヲ開クヲ得ス
第五條 府縣會ノ議定ニ屬スル事件ニ付テハ區部郡部常置委員會同シテ諮問ヲ受ケ又ハ議決スベシ

但區部郡部常置委員各半數以上出席スルニアラザレハ其日ノ會議ヲ開クヲ得ス

第六條 (十五年第十二號布告ヲ以テ削除)

第七條 (十五年第十二號布告ヲ以テ削除)

第八條 明治十三年度以前ニ係ル地方稅ノ中區郡連帶支辨セルモノハ其決算ヲ府縣會ニ報告シ區郡ニ分別セルモノハ其決算ヲ各別區部會郡部會ニ報告スヘシ

第九條 區部ニ係ル戶數割ハ區部會ノ決議ヲ經テ府知事縣令ヨリ内務大藏兩卿ニ具狀シ政府ノ裁可ヲ得テ家屋稅ト爲スコトヲ得(十五年第十二號布告ヲ以テ追加)

○地方稅規則 明治十三年四月 第十六號布告

沿革畧記

明治六年七月第二百七十二號布告ヲ以テ地租改正條例ヲ發シ其條中ヲ以テ郡村入費等所ニ課スルモノ其地價ニ課シ其制限ヲ地租三分ノ一トナス
七年一月第七號布告ヲ以テ僕婢馬車人力車等ノ増稅劇場藝妓ノ諸稅等府縣限リ徵收スルモノ自今賦金ト稱セシム
八年二月第二十三號布告ヲ以テ舊慣雜稅ト稱スル區々ノ收稅ヲ廢シ營業上保護ヲ要スル者ハ更ニ地方官ニ於テ課稅セシム
○同年九月第四百四十號布告ヲ以テ賦金ト稱シ又ハ前ノ第二十三號布告地方收稅ノ類ニシテ其地方ノ費用ニ供スルモノヲ廢シ更ニ府縣稅トシ處分セシム
○十年第二號布告ヲ以テ六年第二百七十二號布告民費賦課ノ制限ヲ正租五分一ト改ム
○十一年七月第十九號布告ヲ以テ前キノ府縣稅民費ノ名ヲ以テ徵收セルモノヲ改メ地方稅トナシ其規則ヲ制定ス
○十三年四月第十六號布告ヲ以テ前令ヲ改正ス

明治十一年七月第十九號布告地方稅規則左ノ通改正候條此旨布告候事

府縣制第九十條

- 第一條 地方税ハ左ノ目ニ從ヒ徵收ス
 - 一 地租三分ノ一以內(十三年第四十八號布)
 - 一 營業税并雜種稅
 - 一 戶數割

第二條 營業税雜種稅ノ種類ハ別段ノ布告ヲ以テ之ヲ定ム(十五年第二號布告ヲ以テ及制限ノ三字ヲ刪ル)

第三條 地方税ヲ以テ支辨スヘキ費目左ノ如シ(十五年第二號布告ヲ以テ各項共改正)

- 一 警察費
- 一 警察廳舍建築修繕費
- 一 土木費
- 一 區町村土木補助費
- 一 府縣會議諸費
- 一 衛生及病院費
- 一 教育費
- 一 區町村教育補助費
- 一 郡區廳舍建築修繕費
- 一 郡區吏員給料旅費及廳中諸費(十六年第七號布告ヲ以テ郡區長ノ給料旅費ハ國庫ノ支辨トス)
- 一 救育費
- 一 浦役場及難破船諸費(二十一年法律第一號ヲ以テ浦役場費ハ市町村ノ負擔トス)

二十一年法律第一號

二十一年法律第一號

府縣制第七十七條

府縣制第七十七條

府縣制第七十七條

- 一 諸達書及揭示諸費
 - 一 勸業費
 - 一 戶長以下給料旅費(十七年第十三號布)
 - 一 地方稅取扱費府縣廳ニ屬スル爲替方給料爲替手数料現金遞送等ノ費用
 - 一 府縣廳舍建築修繕費
 - 一 府縣監獄費
 - 一 府縣監獄建築修繕費
 - 一 以上費目互ニ流用スルコトヲ許サス
 - 一 豫備費豫算外ニ生シタル事件ノ費途(十五年第六十九號布)及豫算ノ臨時不足ニ充ル者(告ヲ以テ本項改正)
- 右ノ外特ニ費目ノ增加ヲ要スルトキハ府縣會ノ決議ヲ經テ府知事「縣令」ヨリ「內務大藏兩卿」ニ具狀シ政府ノ裁可ヲ受クヘシ
- 第四條 其年四月ヨリ翌年三月迄ヲ一周年度トナシ府知事「縣令」ハ前年十月迄ニ地方稅ヲ以テ支辨スヘキ經費ノ豫算并地方稅徵收ノ豫算ヲ立テ翌年度ノ定額トナシ其府縣會ノ議決ヲ取リ其年二月ヲ以テ「內務卿」及「大藏卿」ニ報告スヘシ(十七年第二十九號布)
- 地方稅ヲ以テ支辨スヘキ事件數年ヲ期シテ施行スルモノハ初年ニ於テ其年期間各年度ノ經費豫算ヲ定メ府縣會ノ議決ヲ取リ府知事「縣令」ヨリ「內務卿」ニ具狀シ認可ヲ得テ其年期間之ヲ施行スルコトヲ得(十五年第六十九號布)

府縣制第九十六條及第九十七條

十五年第二號布告ニ依リ及ヒ制限ノ四字ヲ消滅

二十九年法律第六十號ニ依リ及ヒ制限ノ四字ヲ消滅

第五條 非常ノ費用ハ豫算ニ立ツルヲ得サル天災時變ノ費用別ニ賦課スルヲ得ルト雖モ其

府縣會ノ議決ヲ取リ「內務卿」及「大藏卿」ニ報告スヘシ（十四年第五號布告ヲ以テ報告スヘシ）

前年度經費決算ノ場合ニ於テ已ムヲ得サル事故アリテ費目中心不足ヲ生スルモノアルトキ

ハ府知事「縣令」ハ府縣會ノ議決ヲ取リ其補充費ヲ徵收スルコトヲ得（十五年第十九號布告）

第六條 地方稅徵收ノ收期ハ府知事「縣令」適宜ニ之ヲ定ムヘシ

第七條 府知事「縣令」ハ一週年度間ノ出納ヲ計查シ精算帳及計表ヲ製シ翌年通常會議ノ初

メニ於テ之ヲ府縣會ニ報告シ然ル後「內務卿」及「大藏卿」ニ報告スヘシ（十四年第五號布告）

第八條 （十四年第五號布告）

第九條 島嶼ノ地方稅ニ係ル經費ハ府縣會ノ決議ヲ經テ府知事「縣令」ヨリ「內務卿」ニ具狀シ

其裁定ヲ得テ本屬府縣ノ經費ト之ヲ分別スルコトヲ得

第十條 （十三年第二十六號布告ヲ以テ追加）

○營業稅雜種稅規則 明治十三年四月 第十七號布告

明治十一年月十二 第三十九號布告地方稅中營業稅雜種稅ノ種類「及ヒ制限」左ノ通改正候

條此旨布告候事

第一條 營業稅ヲ課スヘキ種類左ノ如シ但國稅アルモノハ課稅ノ限ニアラス（十五年第三號布告）

工業

第二條 雜種稅ヲ課スヘキ種類左ノ如シ（十五年第三號布告）

料理屋待合茶屋遊船宿芝居茶屋飲食店ノ類

湯屋

理髮人

傭人受宿

遊藝師匠遊藝稼人相撲俳優幫間藝妓ノ類

市場

演劇其他興行遊覽所

遊技場（玉突大弓揚弓射的吹矢ノ類）

人寄席

船（解漁船川船及五馬車人力車荷積馬車荷積大七）

（二十九年法律第六十號ニ依リ但書消滅）

水車

乘馬

屠畜

漁業採藻ノ類

但漁業稅採藻稅ハ各地從來ノ慣例ニ依リ之ヲ徵收スヘシ若シ其慣例ヲ改正シ又

十五年內務省第七號布告及十五年內務省第六號布告ニ依リ及ヒ制限ノ四字ヲ消滅

新稅ヲ賦課セントスルニ於テ府縣會ノ決議ヲ經テ府知事「縣令」ヨリ「內務大藏

第三條 (十五年第三號布) 告ヲ以テ刪除

第四條 府知事「縣令」ハ府縣會ノ決議ヲ以テ第一條第二條類目中ニ於テ賦課スル者ヲ
取捨スルコトヲ得

第五條 府知事「縣令」ハ其賦課スヘキ各業ノ盛衰ヲ視察シ府縣會ノ決議ヲ以テ各個ノ
稅額ヲ査定スヘシ (十五年第三號布告ヲ以テ決議ヲ
以テ下稅額云々ノ八字ヲ刪除)

第六條 (十五年第三號布) 告ヲ以テ刪除

第七條 (十五年第三號布) 告ヲ以テ刪除

第八條 第四條第五條ニ於テ確定シタル課目課額ハ府知事「縣令」ヨリ「內務大藏兩卿」ニ
報告スヘシ

第九條 第三條第二條課稅種類ノ外地方特別ノ課稅ヲ要スルモノハ府縣會ノ決議ヲ經
テ府知事「縣令」ヨリ「內務大藏兩卿」ニ具狀シ政府ノ裁可ヲ受クヘシ (十五年第三號布告
ヲ以テ第三條稅目
種類ノ四字トナス)

○府縣警察費ニ對シ國庫下渡金ノ割合 (明治二十一年八月
勅令第六十一號)

朕地方稅中警察費ニ對スル國庫下渡金改定ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム
明治十四年二月第十六號布告府縣警察費ニ對スル國庫下渡金ノ割合左ノ通改定ス

第一條 地方稅中警察費及警察廳舎建築修繕費ニ對スル國庫下渡金ノ割合ハ東京府ハ
其總高ノ拾分ノ四トシ其他ノ府縣(沖繩縣ヲ除ク)ハ六分ノ一トス

第二條 前條割合ノ外警察官吏並ニ之ニ準スヘキ傭内外國人ノ諸給與警視廳ノ廳費ハ
從前ノ通國庫ヨリ支給ス

第三條 本令ハ明治二十二年度ヨリ施行ス

○府縣委托金ヲ地方稅經濟ニ移ス (明治二十三年三月
勅令第六十六號)

朕府縣委托金ヲ地方稅經濟ニ移スノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 從來府縣廳ニ存在スル府縣委托金及之ニ屬スル財產ハ明治二十三年三月三十
一日ノ現況ヲ以テ其府縣ノ地方稅經濟ニ下付スヘシ

第二條 府縣委托金ニ關シ從前府縣知事ニ於テ契約シタルモノハ其契約ヲ繼續シ從前
府縣知事ヨリ發シタル命令ハ之ヲ履行スヘシ府縣會ノ議決ニ依ルモ內務大藏農商務
三大臣ノ認許ヲ經ルニ非サレハ之カ命令ヲ變更スルコトヲ得ス

第三條 元金ハ務メテ之ヲ保存スヘシ府縣會ノ議決ニ依ルモ內務大藏農商務三大臣ノ
認許ヲ經ルニ非サレハ之ヲ支消スルコトヲ得ス

第四條 元金ヨリ生スル利子ハ府縣會ノ議決ニ依リ公共ノ勸業費途ニ充用シ又ハ之ヲ
蓄積スルコトヲ得

第五條 府縣委托金中獻金又ハ寄附金等ヨリ成立ツモノニシテ當初使用ノ途ヲ指定シ

タルモノハ將來ト雖モ其使用ノ途ヲ變スルコトヲ得ス
第六條 府縣委托金ノ種類ハ大藏大臣之ヲ府縣ニ達スヘシ

○地方税ニ關スル寄附及ヒ雜收入ハ府縣會ノ議定ニ付ス明治二十年十一月勅令第五十六號
朕地方税ニ關スル寄附及雜收入ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 地方税ヲ以テ支辨スヘキ事業ニ關シ寄附スル金穀物件ハ府縣會ノ議決ヲ經テ寄附者ノ指定シタル費途又ハ費用ニ充ツヘシ

第二條 地方税ノ雜收入ハ他ノ收入豫算ト同シク府縣會ノ議定ニ付スヘシ

第三條 本令ハ明治三十一年度ヨリ施行ス

○集治監ニ入ルヘキ囚徒并其費用區分明治十四年三月第十七號布告

集治監ニ入ルヘキ囚徒并ニ其費用ノ區分當分ノ内左ノ通相定メ本年七月ヨリ施行候條此旨布告候事

第一條 集治監ニ入ルヘキ囚徒ハ刑期終身ノ者及ヒ國事犯刑期五年以上ノ者トス其費用府縣獄ニ拘留中ノ費用並ニ集治監ニ押送ノ費用トモハ國庫ヨリ支給スヘシ

第二條 府縣獄ニ入ルヘキ囚徒ニシテ集治監ニ在ル者ノ費用ハ其刑ヲ宣告セシ地方ノ地方税ヲ以テ支辨スヘシ

○沖繩縣及小笠原島地方費支辨法明治二十三年五月法律第三十七號

朕沖繩縣及小笠原島地方費ノ件ヲ裁可シ之ヲ公布セシム
沖繩縣及小笠原島ノ地方經濟ニ屬スル費用ハ其地方人民ノ負擔スルモノヲ除クノ外從前ノ通り國庫ヨリ之ヲ支辨ス

○府縣稅徵收法明治二十三年九月法律第八十八號

朕府縣稅徵收法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

府縣稅徵收法

第一條 市町村ハ其市町村内ノ府縣稅ヲ徵收シ之ヲ府縣ニ納付スルノ義務アルモノトス
地租割外ノ府縣稅ニ對シテハ其徵收金額ノ百分ノ四ヲ徵收費用トシテ其市町村ニ交付スヘシ但東京市京都市大阪市ハ此限ニ在ラス

第二條 市町村ハ過誤怠慢ニ依リ其徵收金ヲ亡失シタルトキハ之ヲ辨償スルノ責ニ任スヘシ

第三條 市町村ハ避クヘカラサル變災ニ罹リ其徵收金ヲ亡失シタルトキハ其責任免除ヲ府縣知事ニ訴願スルコトヲ得

第四條 府縣知事ハ前條ノ訴願ヲ受ルトキハ府縣參事會ノ議決ヲ經テ責任ヲ免除スルコト

第五條 府縣稅ヲ徵收スルモキハ府縣知事又ハ其委任ヲ受ケタル命令者ハ市町村ニ對シ徵稅令書ヲ發シ市町村長ハ徵稅令書ニ依リ徵稅傳令書ヲ調製シ之ヲ各納稅人ニ交付スルモ
シトス

第六條 市長ニ於テ收入命令ノ委任ヲ受ケタル場合ニ於テハ徵稅令書ヲ直ニ各納稅人ニ
交付スルコトヲ得

第七條 隨時徵收ノ府縣稅ハ府縣知事又ハ委任ヲ受ケタル命令者ニ於テ直ニ各納稅人ニ
徵稅令書ヲ發スルコトヲ得

第八條 徵稅傳令書ヲ受ケタル各納稅人及徵稅令書ヲ受ケタル市ノ各納稅人ハ税金ヲ市町
村ノ收入役ニ拂込ミ其領收證書ヲ得テ納稅ノ義務ヲ了ルモノトス(二十八法律第三十一號ヲ以テ條中ヲ刪除ス)
市町村ハ其徵收シタル税金ヲ府縣出納吏ニ納付シ其領收證書ヲ得テ義務ヲ了ルモノトス
第七條ニ依ル各納稅人ハ税金ヲ府縣出納吏ニ納付シ其領收證書ヲ得テ納稅ノ義務ヲ了ル
モノトス

市町村長ハ納期限ヲ過キ税金ヲ完納セサル者アルトキハ其滯納ノ稅目金額及滯納人ノ住
所氏名ヲ記載シ之ヲ府縣出納吏ニ報告スヘシ(二十八法律第三十一號ヲ以テ本項追加)

第九條 納稅人他ノ負債ニ依リ強制執行ヲ受ケ又ハ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキ其既ニ徵稅
令書ヲ發シタルモノアルトキハ國稅徵收法第十四條第十五條ノ例ニ依リ國稅ニ次テ府縣
稅ヲ徵收スヘシ(二十八法律第三十一號ヲ以テ條中ヲ改正ス)

國稅徵收法
二十八法律第三十一號
ヲ改正ス

第十條 國稅若クハ市町村稅ヲ滯納シタル爲メ滯納者ノ財産ヲ賣却シタル場合ニ於テ既ニ
徵稅令書ヲ發シタルモノアルトキハ市町村稅ニ先ケテ府縣稅ヲ徵收スヘシ

第十一條 府縣稅納稅義務ノ期滿免除ハ國稅ノ例ニ依ル

第十二條 町村制ヲ施行セサル地方ニ於テハ此法律ニ依リ町村ノ爲スヘキ職務ハ戶長ニ於
テ之ヲ行フヘシ

第十三條 此法律ニ關スル細則ハ府縣會ノ決議ヲ經テ府縣知事之ヲ定ムヘシ

第十四條 府縣制施行ニ至ル迄ノ間ハ此法律ハ地方稅ノ徵收ニ適用ス

第十五條 此法律ハ明治二十四年度所屬ノ徵稅ヨリ之ヲ施行ス

但第十一條ノ規定ハ此ノ法律施行以前ノ徵稅ニモ適用ス(二十八法律第三十一號ヲ以テ但書追加)

○ 地方稅經濟ニ於テ臨時土木費ノ爲ニ起債及地租制限外賦課明治二十九年三月法律第六十二號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル地方稅經濟ニ於テ臨時土木費ノ爲ニ起債及地租制限外賦課ノ件
ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 府縣制ヲ施行セサル府縣ニ於テ臨時土木費ヲ要シ地方稅ノ負擔ニ堪ヘ難キ場合ニ
於テ府縣知事ハ府縣會ノ議決ヲ取り内務大臣大藏大臣ノ認可ヲ得テ三十箇年以内ノ償還期
限ヲ定メ公債ヲ起シ又ハ借入金ヲ爲スコトヲ得但シ償還ノ初期ハ三年以内トスヘシ

第二條 府縣制ヲ施行セサル府縣ニ於テ臨時土木費ヲ要スル場合ニ於テ府縣知事必要ナリ
ト認ムルトキハ府縣會ノ議決ヲ取り内務大臣大藏大臣ノ認可ヲ得テ地租三分一ヲ超過ス
ル地方稅ヲ土地ニ賦課スルコトヲ得

第三條 第一條ノ借入金ヲ爲スニ當リ府縣會ノ議決ニ依リ内務大臣大藏大臣ノ認可ヲ得テ其ノ府縣ノ備荒儲蓄金ヨリ其ノ年度初現在高ノ三分一マテ借入ルルコトヲ得但シ本條ノ借入金ニ對シテモ相當ノ利息ヲ拂フヘキモノトス

前項ノ場合ニ於テ臨時急施ヲ要シ府縣知事ニ於テ府縣會ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルトキハ常置委員ヲシテ府縣會ニ代テ議決ヲ爲サシムルコトヲ得常置委員ハ其ノ議決ヲ府縣會ニ報告スヘシ

第四條 第一條ノ認可ヲ得ムトスルトキハ府縣會ノ議決ヲ經タル公債募集ノ方法又ハ借入ノ方法、利息ノ定率及償還ノ方法ヲモ併セテ内務大臣大藏大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第五條 此ノ法律ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

第六條 明治二十三年法律第三號及法律第七十四號ハ此ノ法律施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

○備荒儲蓄法 明治三十三年六月三十一號布告

沿革畧記 明治元年六月人民ノ兵燹洪水ニ罹ル者ノ救助方法ヲ示シ共事務ヲ府縣ニ擔任セシム

●二年府縣施政順序ヲ定メ凶荒豫防窮民救助ノ方法ヲ示ス

○同年七月府縣奉職規則ヲ定メ凶年飢饉ノ慮ヲナシ豫メ民患賑濟ノ備ヲ設ケシム

○同年十二月水火災ニ罹リシ者救助日數及給與米額ヲ定ム

●三年二月民政部ヨリ夫食糧類類農具代等貸下方ヲ達ス

○同年五月民政部ヨリ火災ニ罹ル者救恤處分方ヲ達ス

○同年六月民政部達ヲ以テ貯蓄ノ穀物窮民貸與日數及男女一日ノ給與額ヲ定メ年賦返辨方ヲ届出サシム

●四年六月夫食糧類其他正米貸下ヲ止メ石代渡トス

○同年十一月縣治條例ヲ頒布シ窮民一時救助規則ヲ定ム

●五年五月窮民一時救別規則ヲ改正ス

●七年十二月第百六十二號達ヲ以テ恤救規則ヲ定ム

●八年四月第四十九號

達ヲ以テ惡病流行ノ節貧民救助概則ヲ定ム

○同年七月内務省乙第八十五號達ヲ以テ七年第百六十二號達窮民恤救規則ノ申請調査手續ヲ定ム

○同年七月第百二十二號達ヲ以テ縣治條例中窮民一時救助規則ヲ廢シ更ニ窮民一時救助規則ヲ定ム

●十年九月第百六十二號布告ヲ以テ凶歲租稅延納規則ヲ制定ス

●十三年六月第三十一號布告ヲ以テ前キニ定ムル所ノ救助延納ノ二規則ヲ廢止シ更ニ備荒儲蓄法ヲ制定ス

備荒儲蓄法別紙ノ通相定來ル三十三年度(明治十四年)ヨリ施行候條明治八年七月第百廿二號達窮民一時救助規則及同十年九月第百六十二號布告凶歲租稅延納規則ハ右施行ノ期日ヨリ廢止トス此旨布告候事

(別紙)

備荒儲蓄法

第一條 備荒儲蓄金ハ非常ノ凶荒不慮ノ災害ニ罹リタル窮民ニ食料小屋掛料農具料種穀料ヲ給シ又罹災ノ爲メ地租國稅ノ部分ニ限ルヲ納ムル能ハサル者ノ租額ヲ補助シ或ハ貸與スルモノトス

第二條 備荒儲蓄金ヲ分ツテ中央儲蓄金府縣儲蓄金ノ二トス(二十三年法律第五號ヲ以テ改正)

中央儲蓄金ハ明治二十二年度迄ノ中央儲蓄金及ヒ之ヨリ生スル利殖金ヲ以テ成立スルモノトス(二十三年法律第五號ヲ以テ本項追加)

府縣儲蓄金ハ明治二十二年度迄ノ府縣儲蓄金及ヒ之ヨリ生スル利殖金ヲ以テ成立スルモノトス(二十三年法律第五號ヲ以テ本項追加)

第三條 中央儲蓄金ハ國庫ニ備置キ大藏大臣之ヲ管理シ府縣儲蓄金ノ補助ニ充ツヘキモノトス

トス(二十三年法律第
五號ヲ以テ改正)

第四條 府縣儲蓄金ノ管守支給及ヒ利殖ノ方法ハ府縣知事之ヲ府縣會ニ付シ其議決ヲ取り
内務大藏兩大臣ニ具狀シ其許可ヲ得テ之ヲ施行スヘシ(二十三年法律第
五號ヲ以テ改正)

第五條 (二十三年法律第
五號ヲ以テ削除)

第六條 府縣會ニ於テ議決スル儲蓄金支給ノ方法ハ左ノ制限ヲ超ユヘカラス

第一 食料ヲ給スルハ罹災ノ爲メ自ラ生存スル能ハサル者ニ限ル其日數ハ三十日以内
トス又同上ノ窮民ニ小屋掛料ヲ給スルハ一戸拾圓以内農具料種穀料ヲ給スルハ一戸
貳拾圓以内トス

第二 地租ヲ補助及ヒ貸與スルハ罹災ノ爲メ土地家屋ヲ賣却スルニアラサレハ地租ヲ
納ムル能ハサル者ニ限ル

第七條 各府縣窮民ノ救助地租ノ補助及ヒ貸與ノ金額府縣ノ儲蓄金百分ノ五以上ヲ供用支
出スルトキハ府知事「縣令」ノ具申ニ依リ「内務大藏兩卿」ノ協議ヲ以テ中央儲蓄金ヨリ補助
スヘシ(二十三年法律第五號ヲ以テ三
分二トアルヲ百分ノ五ト改ム)

第八條 従前人民公儲ノ儲蓄金アル府縣郡區町村ハ之ヲ以テ今般施行スル所ノ備荒儲蓄金
ニ補充スルコトヲ得

第九條 各府縣内儲蓄金ノ出納ハ「大藏卿」歳次或ハ臨時ニ之ヲ検査スヘシ

第十條 府縣知事ハ府縣儲蓄金ノ出納決算ヲ翌年度通常府縣會ノ初メニ於テ府縣會ニ報告
シ仍ホ内務大藏兩大臣ニ報告スヘシ(二十三年法律第
五號ヲ以テ改正)

大藏大臣ハ每年中央及ヒ府縣儲蓄金ノ出納決算ノ要領ヲ告示スヘシ(二十三年法律第五
號ヲ以テ本項追加)

第十一條 此方法ハ二十年間施行スルモノトス滿期ノ後ニ至リ各府縣ニ存在スル儲蓄金
ハ府縣會ノ議決ヲ以テ其保存方法ヲ定ムヘシ

附則(二十三年法律第五
號ヲ以テ本則追加)

本法改正ノ爲メ府縣儲蓄金明治二十三年度内ニ於テ施行スヘキ利殖ノ方法ヲ定メ及ヒ收入
豫算又ハ管守支給ノ方法ニ改正ヲ要スルトキハ府縣知事ハ常置委員會ニ付シ之ヲ議決セシ
ムルコトヲ得

○米穀供給ノ爲メ中央備荒儲蓄金運用方
明治二十三年四月
法律第三十三號

朕米穀供給ノ爲メ中央備荒儲蓄金運用ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

政府ハ國內米穀供給ノ爲メ必要アルトキハ中央備荒儲蓄金ヲ以テ米穀購入ノ資金ニ運
用スルコトヲ得此場合ニ於ケル損益ハ中央備荒儲蓄金ノ負擔トス

○地方税及備荒儲蓄金滞納者處分
明治二十二年十二月
法律第三十三號

朕地方税及備荒儲蓄金滞納者處分ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

地方税及備荒儲蓄金ヲ滞納スル者ハ國稅滞納處分法ニ依リ之ヲ徵收スヘシ但備荒儲蓄
金ヨリ給與補助若クハ貸與ヲ受ル者ハ備荒儲蓄金ヲ免除スヘシ

明治十三年十一月第五十號布告ハ廢止ス

明治三十三年十一月二十七日勸業省令第一〇五號

○條與前條同ノ旨ニ從テ之ヲ改メテ之ヲ公布ス

○國庫ヨリ補助スル公共團體ノ事業監督ニ關スル規程 明治三十年四月 法律第三十七號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル國庫ヨリ補助スル公共團體ノ事業ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 府縣郡市區町村其ノ他公共團體ノ事業ニシテ國庫ヨリ其ノ費用ヲ補助スルモノニ關シ必要アリト認ムルトキハ 主務大臣ハ其ノ事業ノ設計施行管理並經費收支ノ方法等ニ付期間ヲ指定シテ之カ變更ヲ命シ若シ命ニ從ハサルトキハ直ニ之ヲ變更スルコトヲ得

主務大臣ハ必要アリト認ムルトキハ前項ノ事業ノ前部若クハ一部ヲ直接施行スルコトヲ得

第二條 前條ノ事業ニ關シ經費ノ負擔ヲ爲シ又ハ經費ノ變更ヲ爲スヘキ場合ニ於テ主務大臣ノ指定タル期間内ニ之ヲ爲ササルトキハ主務大臣ハ直ニ豫算ヲ定メ又ハ豫算ヲ追加シ若クハ更正シ必要ナル費用ヲ支辨セシムルコトヲ得

第三條 此ノ法律ニ規定シタル主務大臣ノ職權ハ其ノ委任ヲ受ケタル地方長官ナシテ之ヲ執行セシムルコトヲ得

第四條 府縣郡市區町村其ノ他公共團體ノ事業ニシテ國ノ事業ト關聯スル場合ニ於テハ此ノ法律ノ規程ヲ準用スルコトヲ得

第五條 此ノ法律ヲ施行スル爲ニ必要ナル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

○第八類 度量衡貨幣

○度量衡法 明治二十四年三月 法律第三號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル度量衡法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

度量衡法

第一條 度量ハ尺、衡ハ貫ヲ以テ基本トス

第二條 度量衡ノ原器ハ白金、イリヂウム、合金製ノ棒及分銅トス其ノ棒ノ面ニ記シタル線間ノ攝氏〇、一五度ニ於ケル長サ二十三分ノ十ヲ尺トシ分銅ノ質量四分ノ十五ヲ貫トス

第三條 度量衡ノ名稱命位ヲ定ムルコト左ノ如シ

度

毛尺ノ萬分ノ一

厘尺ノ千分ノ一

分尺ノ百分ノ一

寸尺ノ十分ノ一

尺 三百六十分ノ一

丈 十尺

間六尺

町三百六十尺六十間

里一萬二千九百六十尺三十六町

地積

勺歩ノ百分ノ一

合歩ノ十分ノ一

歩或ハ坪六尺平方

畝三十歩

段三百歩

町三千歩

量

勺升ノ百分ノ一

合升ノ十分ノ一

升六萬四千八百二十七立方分

斗十升

石百升

衡

毛貫ノ百萬分ノ一

匁貫ノ十萬分ノ一

分貫ノ萬分ノ一

匁貫ノ千分ノ一

貫

斤百六十匁

第四條 從來慣用ノ鯨尺ハ布帛ヲ度ルトキニ限り之ヲ用井ルコトヲ得

鯨尺一尺ハ一尺二寸五分トシ其ノ十倍ヲ鯨尺一丈、十分ノ一ヲ鯨尺一寸、百分ノ一ヲ鯨尺一分トス

第五條 「メートル」法度量衡ハ左ニ掲クル比較ニ依リ之ヲ適法ノモノトシ本條以下ノ規定ヲ適用ス

度

毛

厘

分

寸

尺

丈

間

「ミリメートル」

「センチメートル」

「デシメートル」

「メートル」

「デカメートル」

「ヘクトメートル」

「キロメートル」

〇、〇〇〇〇〇〇

〇、〇〇〇〇〇〇

〇、〇〇〇〇〇〇

〇、〇〇〇〇〇〇

〇、〇〇〇〇〇〇

〇、〇〇〇〇〇〇

〇、〇〇〇〇〇〇

町	〔一〇九、〇九〇九一 〔二一分ノ一千二百〕	〔センチメートル〕	〇、〇〇〇二五〇
里	〔三九二七、二七二七三 〔十一分ノ四萬三千三百〕	〔メートル〕	〇、三〇二五〇〇
地積	〔一〇〇〇三三 〔三十分ノ三十五分ノ一〕	〔センチメートル〕	三〇、二五〇〇〇〇
合	〔三〇〇三三 〔三十分ノ三十五分ノ一〕	〔メートル〕	三〇、二五〇〇〇〇
勺	〔三〇〇三三 〔三十分ノ三十五分ノ一〕	〔センチメートル〕	三〇、二五〇〇〇〇
歩	〔三〇〇三三 〔三十分ノ三十五分ノ一〕	〔メートル〕	三〇、二五〇〇〇〇
畝	〔三〇〇三三 〔三十分ノ三十五分ノ一〕	〔メートル〕	三〇、二五〇〇〇〇
段	〔三〇〇三三 〔三十分ノ三十五分ノ一〕	〔メートル〕	三〇、二五〇〇〇〇
町	〔三〇〇三三 〔三十分ノ三十五分ノ一〕	〔メートル〕	三〇、二五〇〇〇〇
量	〔三〇〇三三 〔三十分ノ三十五分ノ一〕	〔メートル〕	三〇、二五〇〇〇〇
勺	〔三〇〇三三 〔三十分ノ三十五分ノ一〕	〔センチメートル〕	三〇、二五〇〇〇〇
合	〔三〇〇三三 〔三十分ノ三十五分ノ一〕	〔センチメートル〕	三〇、二五〇〇〇〇
升	〔三〇〇三三 〔三十分ノ三十五分ノ一〕	〔センチメートル〕	三〇、二五〇〇〇〇
斗	〔三〇〇三三 〔三十分ノ三十五分ノ一〕	〔センチメートル〕	三〇、二五〇〇〇〇
石	〔三〇〇三三 〔三十分ノ三十五分ノ一〕	〔センチメートル〕	三〇、二五〇〇〇〇
衡	〔三〇〇三三 〔三十分ノ三十五分ノ一〕	〔センチメートル〕	三〇、二五〇〇〇〇
毛	〔三〇〇三三 〔三十分ノ三十五分ノ一〕	〔センチメートル〕	三〇、二五〇〇〇〇
厘	〔三〇〇三三 〔三十分ノ三十五分ノ一〕	〔センチメートル〕	三〇、二五〇〇〇〇

第六條 度量衡ノ原器ハ農商務大臣之ヲ保管ス
農商務大臣ハ度量衡ノ原器ニ依リ副原器二組ヲ製作セシメ原器ノ代用ニ供ス
副原器ノ一組ハ農商務大臣之ヲ保管シ他ノ一組ハ文部大臣之ヲ保管ス

第七條 農商務大臣ハ副原器ニ依リ地方原器ヲ製作セシムヘシ
地方原器ハ地方長官之ヲ保管シ度量衡器檢定ノ標準ニ供スルモノトス

第八條 度量衡器ヲ製作シ修覆シ若ハ販賣セント欲スル者ハ地方長官ヲ經由シ農商務大臣ニ願出免許ヲ受クヘシ
製作ノ免許ヲ得タル者ハ修覆及販賣ヲナスコトヲ得
販賣ノ免許ヲ得タル者ハ桿秤ノ取緒及錘絲ニシテ金屬ニアラサルモノニ限り修覆ヲ爲スコトヲ得(二十六法律第三號ヲ以テ本項追加)

第九條 度量衡器ヲ製作シ修覆シ若ハ輸入シテ販賣シ又ハ營業ノ目的ニ使用スル者ハ豫メ其ノ檢定ヲ受クヘシ
營業ノ目的ニ使用スル度量衡器ハ前項檢定ノ外之ヲ修覆シタルトキ及定期間ニ於テ檢定ヲ受クヘシ
製作者、修覆者及販賣者桿秤ノ取緒及錘絲ニシテ金屬ニアラサルモノ、修覆ヲ爲シタル

下キハ其ノ檢定ヲ受クルコトヲ要セス(二十六年法律第三號ヲ以テ本項追加)

官廳、公署、官立、公立ノ諸建設場又ハ貧院、病院其ノ他之ニ類スル建設場ニ於テ賣買、授受及證明ノ爲ニ使用スル度量衡器ハ營業ノ目的ニ使用スルモノニ準ス

第十條 度量衡器ノ種類、形狀、物質、檢定ノ定期及公差、檢定スヘキ目盛及分銅ノ最小定限ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十一條 度量衡器ノ檢定及取締ハ地方長官之ヲ管理ス

地方長官ハ市長、町長ヲシテ其ノ市町村内ニ於ケル度量衡器ノ取締ヲ行ハシメ及其ノ檢定ニ關スル事務ヲ補助セシムルコトヲ得

第十二條 度量衡器ノ製作者、修覆者、販賣者及使用者ハ取締ノ爲ニ行フ當該吏員ノ臨檢ヲ拒ムコトヲ得ス但シ吏員ハ主任タルノ證票ヲ携帯シテ之ヲ示スヘシ

第十三條 度量衡器ノ製作、修覆及販賣ノ免許ヲ受クル者ハ免許料ヲ、檢定ヲ受クル者ハ檢定料ヲ納ムヘシ

免許料及檢定料ノ金額ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十四條 度量衡器ノ製作者、修覆者若ハ販賣者ニシテ度量衡ニ關スル法律命令ニ違背シタルトキハ農商務大臣ハ其ノ營業免許ヲ取消スコトヲ得

第十五條 免許ヲ受ケスシテ度量衡器ヲ製作シ若ハ修覆シテ販賣シタル者ハ二十圓以上三百圓以下ノ罰金ニ處ス

免許ヲ受ケスシテ度量衡器ヲ販賣シ又ハ檢定ヲ受ケサル度量衡器ヲ販賣シ若ハ之ヲ營業ノ目的ニ使用シ及吏員ノ臨檢ヲ拒ミタル者ハ十圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス

差狂アル度量衡器ナルコトヲ知テ之ヲ販賣シ又ハ營業ノ目的ニ使用シタル者亦前項ニ同シ

第十六條 本法施行ノ細則ハ農商務大臣之ヲ定ム

附則

第十七條 本法ハ明治二十六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

第十八條 度量衡器ノ製作ニ限リ本法施行前六箇月以内ニ之ヲ免許スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ本法中製作ニ關スル條項ハ之ヲ適用ス

第十九條 從來度量衡製作者及賣捌ノ免許ヲ受ケタル者ハ更ニ免許ヲ受クルコトヲ要セス本法ノ規定ニ從ヒ其ノ營業ヲ繼續スルコトヲ得

第二十條 從來ノ度量衡器ハ本法施行ノ日ヨリ七箇年以内ニ本法ノ規定ニ依リ其ノ檢定ヲ受クヘシ檢定ヲ經サルモノハ其期限ヲ過クル後之ヲ販賣シ若ハ營業ノ目的ニ使用スルコトヲ得ス

第二十一條 從來ノ度量衡器ニシテ修覆シタルモノ、檢定ハ本法施行ノ日ヨリ七箇年ヲ限リ從來ノ檢査規則ニ依ル

第二十二條 明治八年太政官第三百二十五號達度量衡取締條例並檢査規則同九年第十七號布告度量衡改定規則及西洋形權衡ニ係ル從來ノ法令ハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス但シ度量衡取締條例附屬檢査規則ハ前條ノ場合ニ限リ明治三十二年十二月三十一日マテ其ノ効力ヲ有ス

○度量衡器ノ制限其ノ製作修覆及販賣免許并檢定

明治三十年四月 勅令第百十六號

沿革略記

明治二十四年八月勅令第百七十七號ヲ以テ度量衡器ノ制限製作修覆及販賣免許并檢定規則ヲ制定ス●三十年四月勅令第百十六號ヲ以テ前則ヲ廢止シ

更ニ度量衡器ノ制限其ノ製作修覆及販賣免許并檢定方ヲ定ム

朕度量衡器ノ制限其ノ製作修覆及販賣ノ免許並檢定ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 度量衡器ノ種類形狀及物質ヲ定ムルコト左ノ如シ

度量器	形狀		物質		種類	
	形狀	物質	種類	類		
直形	直形	金屬、象牙、骨、竹、木	直尺	十二尺以下	四「メートル」以下	
			曲尺	三尺以下	長枝「メートル」以下	
直角形	金屬	金屬、象牙、骨、竹、木	墨尺	十五尺以下	五「メートル」以下	
			墨尺	三尺以下	五「メートル」以下	
連接直形	金屬、象牙、骨、竹、木	金屬、象牙、骨、竹、木	卷尺	百五十尺以下	五十「メートル」以下	
			卷尺	六尺以下	五「メートル」	
細帶狀	金屬、草、麻布	金屬、草、麻布	卷尺	百五十尺以下	五十「メートル」以下	
			卷尺	六尺以下	五「メートル」	
鐘狀	金屬	金屬	鐘尺	三十尺	十「メートル」	
			鐘尺	六十尺	二十「メートル」	

形狀	物質	種類	法容		積
			法	容	
圓	金	一 勺	七・四五	六四八・二七	一八・五
		二 勺	九・三八	一一九六・五四	二二・四
		五 勺	一二・七三	三三四一・三五	三二・七
		一 合	一六・〇四	六四八二・七〇	三九・九
		二 合	二〇・二一	一二九六・四〇	五〇・三
		二合五勺	二一・七七	一六二〇・六七五	五「デシリットル」
		五 合	二七・四三	三三四一・三五〇	八六・〇
		一 升	三四・五六	六四八二・七〇〇	一〇八・四
		二 升	五四・八六	一二九六・五四〇〇	一八五・三
		五 升	七四・四五	三三四一・三五〇〇	二三三・五
屬	鐵	一 斗	九三・八〇	六四八二・七〇〇〇	二九四・二
		五 勺	一六・〇四	三三四一・三五	五〇・三
		一 合	二〇・二一	六四八二・七〇	六三・四
		二 合	二五・四六	一二九六・五四〇	八六・〇
		三合五勺	二七・四三	一六二〇・六七五	一〇八・四
		五 合	三三・五〇	三三四一・三五〇	一三六・六
		一 升	四三・五四	六四八二・七〇〇〇	一八五・三
		二 升	五四・八六	一二九六・五四〇〇	二二四・二
		五 升	七四・四五	三三四一・三五〇〇	二九四・二
		葉	葉	五 勺	二六・〇四
二 升	四三・五四			六四八二・七〇〇〇	一三六・六
五合五勺	三三・五〇			三三四一・三五〇	一〇八・四
三 合	二七・四三			一六二〇・六七五	八六・〇
一 合	二〇・二一			六四八二・七〇	六三・四
二 合	二五・四六			一二九六・五四〇	八六・〇
三合五勺	二七・四三			一六二〇・六七五	一〇八・四
五 合	三三・五〇			三三四一・三五〇	一三六・六
一 升	四三・五四			六四八二・七〇〇〇	一八五・三
二 升	五四・八六			一二九六・五四〇〇	二二四・二

度量衡器ノ制限製作修覆及販賣免許并檢定規則

形	板状	若ハ	線状	秤		種	類
				五貫	十「キログラム」		
		同		一毛	二「ミリグラム」	天	秤
				一厘	二「ミリグラム」	天	秤
				二厘	二「ミリグラム」	天	秤
				五厘	二「ミリグラム」	天	秤
				一分	二「ミリグラム」	天	秤
				二分	二「ミリグラム」	天	秤
					五「センチグラム」	天	秤
					五「センチグラム」	天	秤
					五「センチグラム」	天	秤

第二條 營業ノ目的ニ使用スル度量衡器ハ明治三十二年ニ之ヲ檢定シ爾後五年目毎ニ之ヲ檢定ス

第三條 度量衡器ノ公差ヲ定ムルコト左ノ如シ
但シ分銅ハ内減ヲ許サス

度量衡器ノ公差		金屬製度量器	
全	目	全	目
一尺未滿	〇・五〇	五「デシメートル」未滿	〇・二
一尺以上	〇・七五	五「デシメートル」以上	〇・三
二尺未滿	〇・七五	一「メートル」未滿	〇・三
二尺以上	一・五〇	一「メートル」以上	〇・四
五尺未滿	一・五〇		

竹、木、骨、象牙製度量器		草、麻布製度量器	
全	目	全	目
一尺未滿	〇・五	五「デシメートル」未滿	〇・三
一尺以上	〇・八	五「デシメートル」以上	〇・五
二尺未滿	一・五	一「メートル」未滿	〇・五
二尺以上	二・五	一「メートル」以上	一・五
五尺未滿	二・五		
五尺以上	五・〇		
十尺未滿	二・五		
十尺以上	五・〇		
十五尺未滿	二・五		
十五尺以上	五・〇		
二十尺未滿	二・五		
二十尺以上	五・〇		
三十尺未滿	二・五		
三十尺以上	五・〇		
四十尺未滿	二・五		
四十尺以上	五・〇		
五十尺未滿	二・五		
五十尺以上	五・〇		
六十尺未滿	二・五		
六十尺以上	五・〇		
七十尺未滿	二・五		
七十尺以上	五・〇		
八十尺未滿	二・五		
八十尺以上	五・〇		
九十尺未滿	二・五		
九十尺以上	五・〇		
一丈未滿	二・五		
一丈以上	五・〇		
一丈二尺未滿	二・五		
一丈二尺以上	五・〇		
一丈四尺未滿	二・五		
一丈四尺以上	五・〇		
一丈六尺未滿	二・五		
一丈六尺以上	五・〇		
一丈八尺未滿	二・五		
一丈八尺以上	五・〇		
二丈未滿	二・五		
二丈以上	五・〇		
二丈二尺未滿	二・五		
二丈二尺以上	五・〇		
二丈四尺未滿	二・五		
二丈四尺以上	五・〇		
二丈六尺未滿	二・五		
二丈六尺以上	五・〇		
二丈八尺未滿	二・五		
二丈八尺以上	五・〇		
三丈未滿	二・五		
三丈以上	五・〇		
三丈二尺未滿	二・五		
三丈二尺以上	五・〇		
三丈四尺未滿	二・五		
三丈四尺以上	五・〇		
三丈六尺未滿	二・五		
三丈六尺以上	五・〇		
三丈八尺未滿	二・五		
三丈八尺以上	五・〇		
四丈未滿	二・五		
四丈以上	五・〇		
四丈二尺未滿	二・五		
四丈二尺以上	五・〇		
四丈四尺未滿	二・五		
四丈四尺以上	五・〇		
四丈六尺未滿	二・五		
四丈六尺以上	五・〇		
四丈八尺未滿	二・五		
四丈八尺以上	五・〇		
五丈未滿	二・五		
五丈以上	五・〇		
五丈二尺未滿	二・五		
五丈二尺以上	五・〇		
五丈四尺未滿	二・五		
五丈四尺以上	五・〇		
五丈六尺未滿	二・五		
五丈六尺以上	五・〇		
五丈八尺未滿	二・五		
五丈八尺以上	五・〇		
六丈未滿	二・五		
六丈以上	五・〇		
六丈二尺未滿	二・五		
六丈二尺以上	五・〇		
六丈四尺未滿	二・五		
六丈四尺以上	五・〇		
六丈六尺未滿	二・五		
六丈六尺以上	五・〇		
六丈八尺未滿	二・五		
六丈八尺以上	五・〇		
七丈未滿	二・五		
七丈以上	五・〇		
七丈二尺未滿	二・五		
七丈二尺以上	五・〇		
七丈四尺未滿	二・五		
七丈四尺以上	五・〇		
七丈六尺未滿	二・五		
七丈六尺以上	五・〇		
七丈八尺未滿	二・五		
七丈八尺以上	五・〇		
八丈未滿	二・五		
八丈以上	五・〇		
八丈二尺未滿	二・五		
八丈二尺以上	五・〇		
八丈四尺未滿	二・五		
八丈四尺以上	五・〇		
八丈六尺未滿	二・五		
八丈六尺以上	五・〇		
八丈八尺未滿	二・五		
八丈八尺以上	五・〇		
九丈未滿	二・五		
九丈以上	五・〇		
九丈二尺未滿	二・五		
九丈二尺以上	五・〇		
九丈四尺未滿	二・五		
九丈四尺以上	五・〇		
九丈六尺未滿	二・五		
九丈六尺以上	五・〇		
九丈八尺未滿	二・五		
九丈八尺以上	五・〇		
十丈未滿	二・五		
十丈以上	五・〇		

度量衡品ノ制限製作修復及販賣免許并檢定規則

十尺以下	二五〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇
十二尺以下	三〇〇	二五	二五	二五	二五	二五	二五
十八尺以下	四〇〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇
三十尺以下	六〇〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇
六十尺以下	一一五〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
六十尺以下	一二〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
九十尺以下	一六〇〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇
百尺以下	一八〇〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇
百二十尺以下	二四〇〇	二四〇	二四〇	二四〇	二四〇	二四〇	二四〇
百五十尺以下	三〇〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇
鯨尺三尺以下	一〇〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
鯨尺六尺以下	二〇〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇

斗概ノ長サ(中及小ノモノヲ除ク)及徑	二升以上	〇・二	〇・二
衡器ノ公差	二「リットル」以下	〇・三	〇・三
	五「リットル」以上	〇・八	〇・八
分銅五分	〇・〇〇五	〇・〇〇五	〇・〇〇五
	〇・〇一〇	〇・〇一〇	〇・〇一〇
分銅一匁以上	〇・〇一〇	〇・〇一〇	〇・〇一〇
	〇・〇二〇	〇・〇二〇	〇・〇二〇
分銅十匁又ハ	全重ノ千分ノ一	全重ノ千分ノ一	全重ノ千分ノ一
	全重ノ百分ノ一	全重ノ百分ノ一	全重ノ百分ノ一
分銅五分又ハ	全重ノ百分ノ一	全重ノ百分ノ一	全重ノ百分ノ一
	全重ノ百分ノ一	全重ノ百分ノ一	全重ノ百分ノ一
目盛	一度目ノ二分ノ一ニ相當スル重サ	一度目ノ二分ノ一ニ相當スル重サ	一度目ノ二分ノ一ニ相當スル重サ

第四條 檢定スヘキ度器、玻璃製量器ノ目盛及分銅最小定限ヲ定ムルコト左ノ如シ

- 五厘 (一尺以下ノ度器)
- 一分 (十尺未滿ノ度器)
- 一寸 (十尺以上ノ度器)
- 鯨尺一分 (各種鯨尺度器)
- 一「ミリメートル」 (一「メートル」以下ノ度器)
- 五「ミリメートル」 (五「メートル」未滿ノ度器)

度量衡器ノ制限製作修履及販賣免許并檢定規則

五「センチメートル」 (五「メートル」以上ノ度量器)

玻璃製量器ノ目盛

全量ノ十分ノ一

分銅

一厘

一「センチグラム」

第五條 度量衡器ノ製作、修覆又ハ販賣ノ免許年限ハ十五箇年トス

第六條 度量衡器ノ製作、修覆又ハ販賣ヲ願出ル者ハ其ノ願書ニ左ノ事項ヲ詳記シタル營業ノ設計書ヲ添ヘ地方長官ヲ經由シ農商務大臣ニ差出スヘシ

製作、修覆ヲ願出ル者

一 製作場、修覆場ノ位置及構造

二 製作、修覆セントスル度量衡器ノ種類、形狀及物質

三 資本金

四 製作、修覆ニ使用スヘキ技師、職工ノ員數及其ノ職業別竝ニ諸器械ノ種類

販賣ヲ願出ル者及製作者ニシテ販賣ヲ兼ヌル者

一 販賣所ノ位置及構造

二 販賣セントスル度量衡器ノ種類、形狀及物質

三 資本金

農商務大臣前項營業ノ設計ヲ不適當ト認ムルトキハ其ノ願書ヲ却下スヘシ

第七條 度量衡器ノ製作、修覆又ハ販賣ノ免許ヲ受ケタル者其ノ營業ノ設計ヲ變更セントスルトキハ地方長官ヲ經由シ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第八條 度量衡器ノ製作、修覆又ハ販賣ノ免許ヲ受クル者ハ左ノ免許料ヲ納ムヘシ

度量器、量器又ハ衡器ノ製作 金十五圓

度量器、量器又ハ衡器ノ修覆 金十二圓

度量器、量器又ハ衡器ノ販賣 金五圓

第九條 度量衡器ノ檢定ヲ受クル者ハ左ノ檢定料ヲ納ムヘシ

二段以上目盛シタル度量器ハ一段毎ニ其ノ檢定料ヲ納ムヘシ但シ曲リ尺ニシテ尺及「メートル」ヲ合セ盛ラサルモノハ此ノ限ニアラス

桿秤及臺秤ニシテ貫ト「キログラム」トテ併セ目盛シタルモノハ其ノ目盛毎ニ檢定料ヲ納ムヘシ

檢定料		
度量器		
竹、	一尺以下(一分目)	〇・五
	一尺以下(五厘目)	一〇
木、	三尺以下(二分目)	一〇
	十八尺以下	四〇

度量衡器ノ制限製作修覆及販賣免許并檢定規則

